

IV. 調査結果の分析

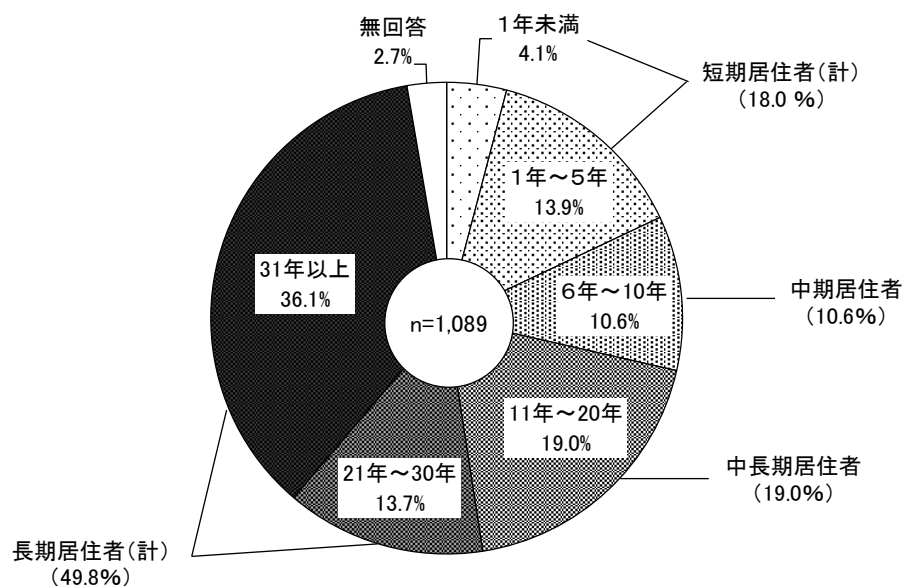
1 区の施策および評価について

(1) 居住年数

◇『長期居住者』が約5割

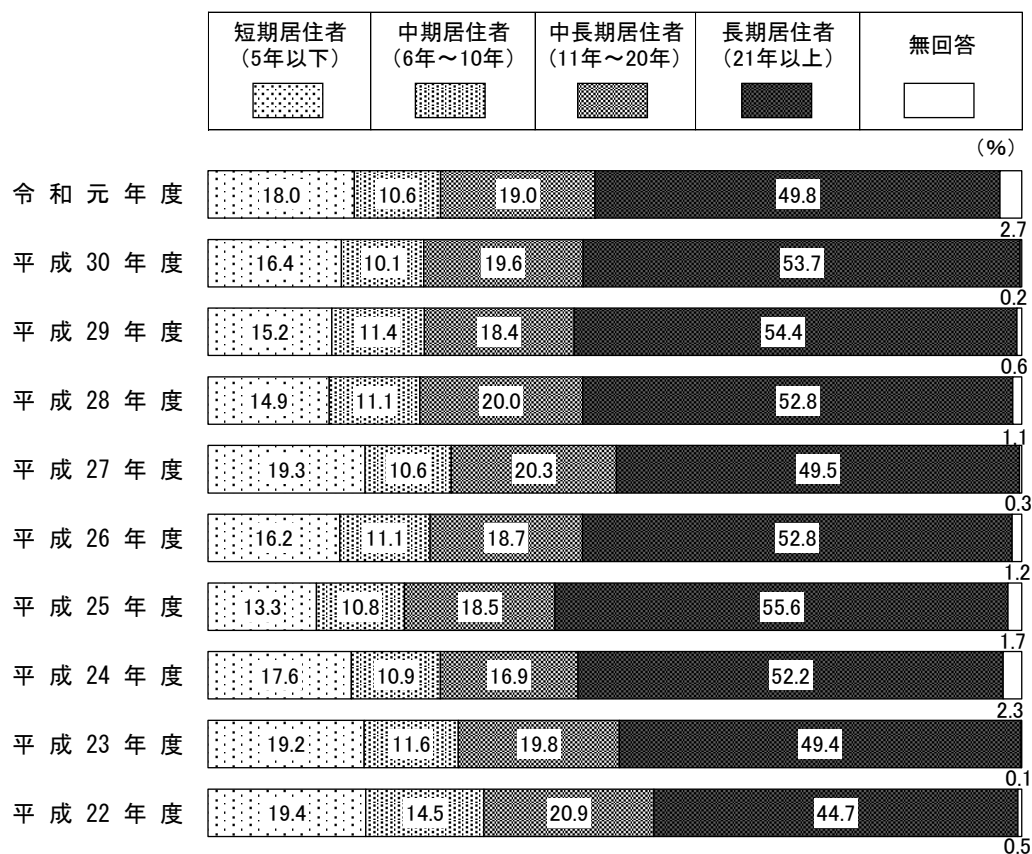
問1 あなたは、練馬区にお住まいになって何年になりますか。

図1-1-1 居住年数



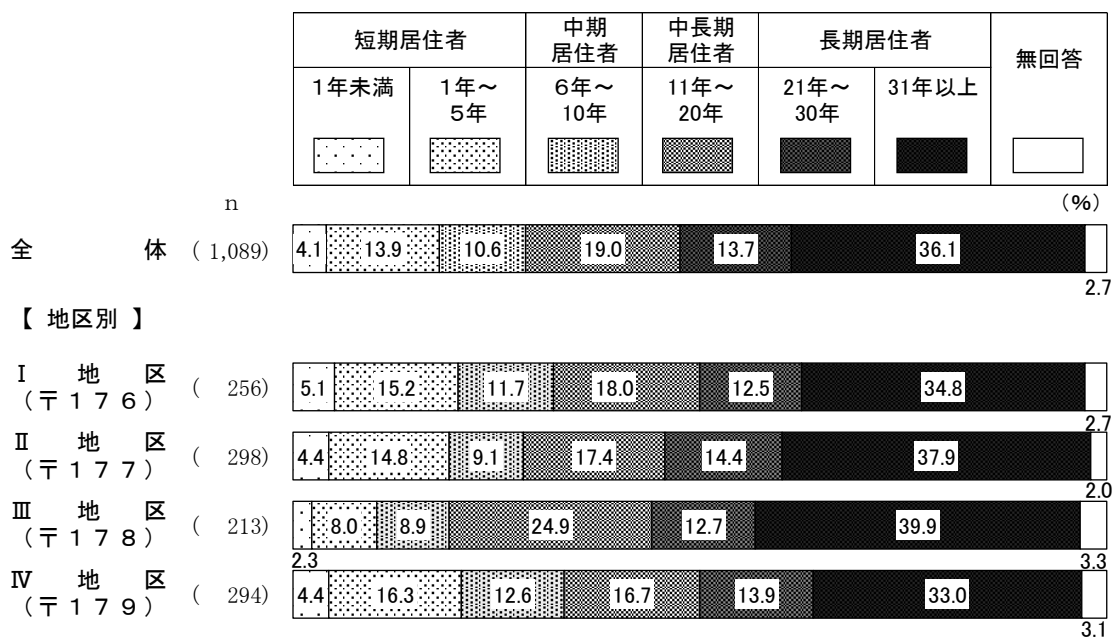
練馬区に住んで何年になるか聞いたところ、「31年以上」(36.1%)と「21年～30年」(13.7%)を合わせた『長期居住者』(49.8%)が約5割となっている。また、「11年～20年」の『中長期居住者』(19.0%)が約2割、「6年～10年」の『中期居住者』(10.6%)が約1割、「1年～5年」(13.9%)と「1年未満」(4.1%)を合わせた『短期居住者』(18.0%)が2割近くとなっている。(図1-1-1)

図 1-1-2 居住年数—過年度比較



過去の調査と比較すると、『長期居住者（21年以上）』は前回調査（平成30年度）から3.9ポイント減少しているが、過去9年と同様、最も多くなっている。（図1-1-2）

図 1-1-3 居住年数—地区別



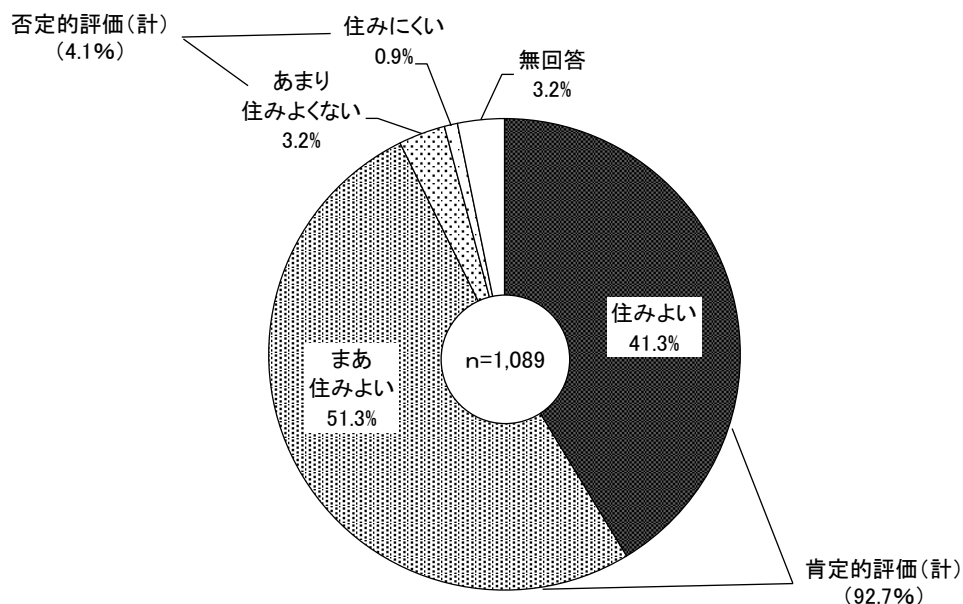
地区別にみると、『長期居住者（21年以上）』はIII地区（〒178）とII地区（〒177）で5割を超えている。『短期居住者（5年以下）』はI地区（〒176）とIV地区（〒179）で約2割となっている。（図1-1-3）

(2) 住みごち

◇『肯定的評価』が9割を超える

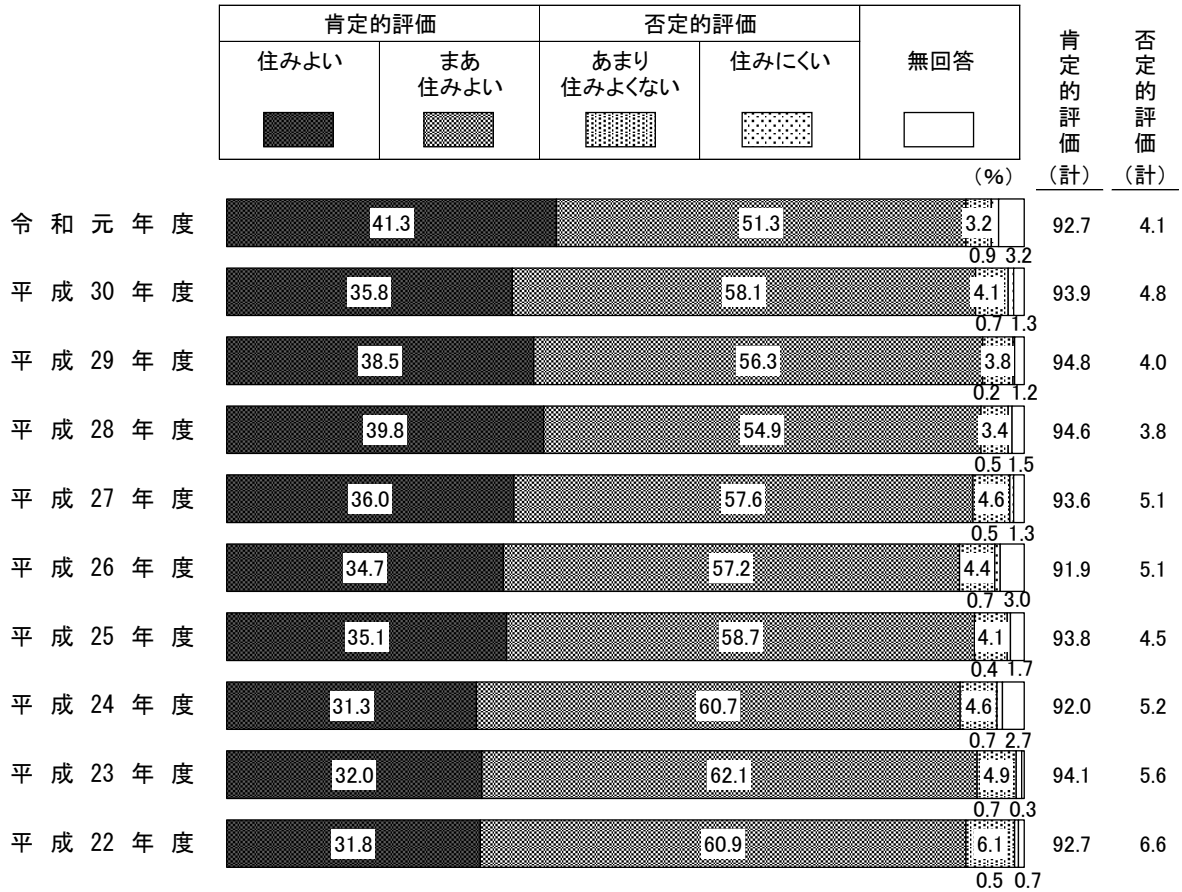
問2 あなたは、練馬区の住みごちをどう思いますか。

図1-2-1 住みごち



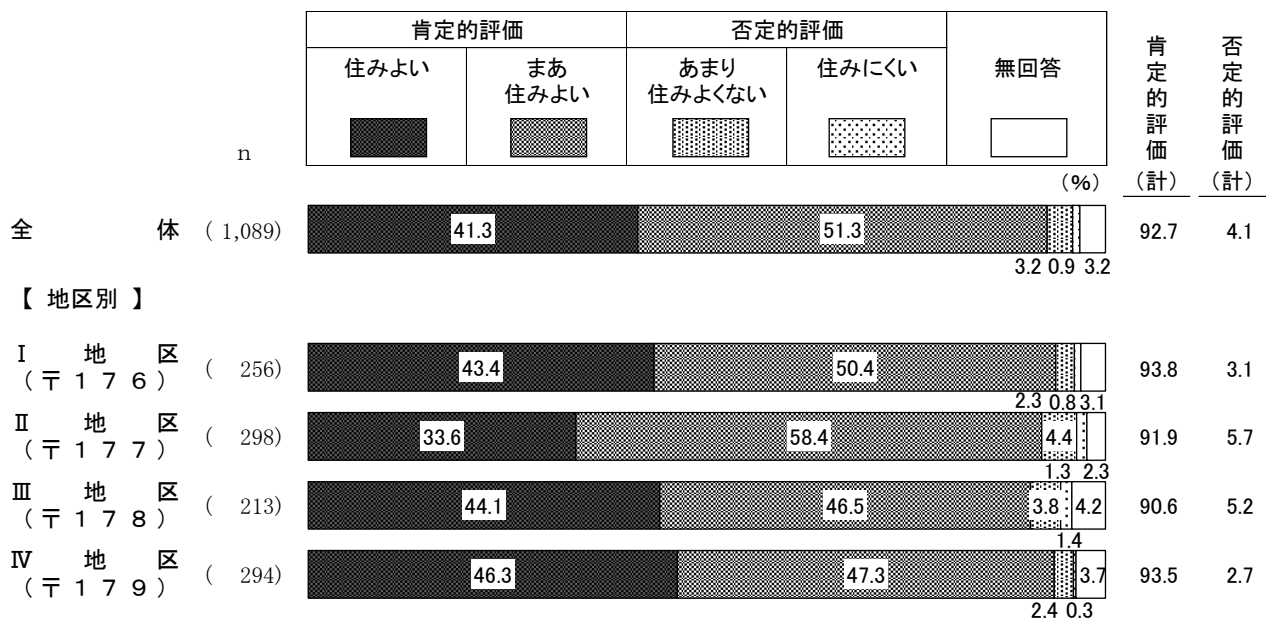
練馬区の住みごちを聞いたところ、「住みよい」(41.3%)が4割を超え、「まあ住みよい」(51.3%)が5割を超えており、この2つを合わせた『肯定的評価』(92.7%)が9割を超えている。一方、「あまり住みよくない」(3.2%)、「住みにくい」(0.9%)を合わせた『否定的評価』(4.1%)は1割を下回っている。(図1-2-1)

図1-2-2 住みごころ—過年度比較



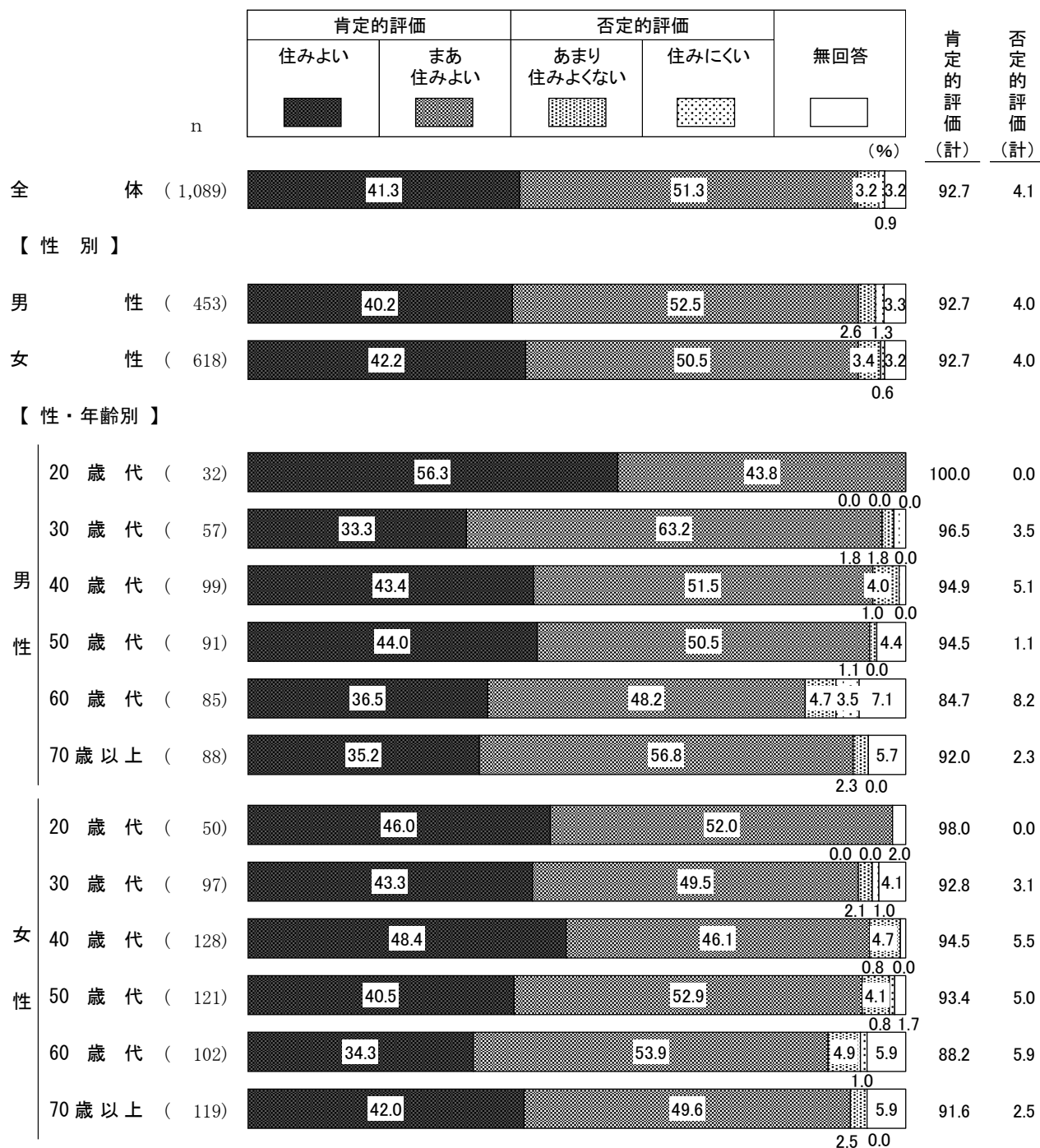
過去の調査と比較すると、『肯定的評価』は平成22年度以降いずれも9割台前半となっている。(図1-2-2)

図1-2-3 住みごころ—地区別



地区別にみると、『肯定的評価』はすべての地区で9割台前半となっている。(図1-2-3)

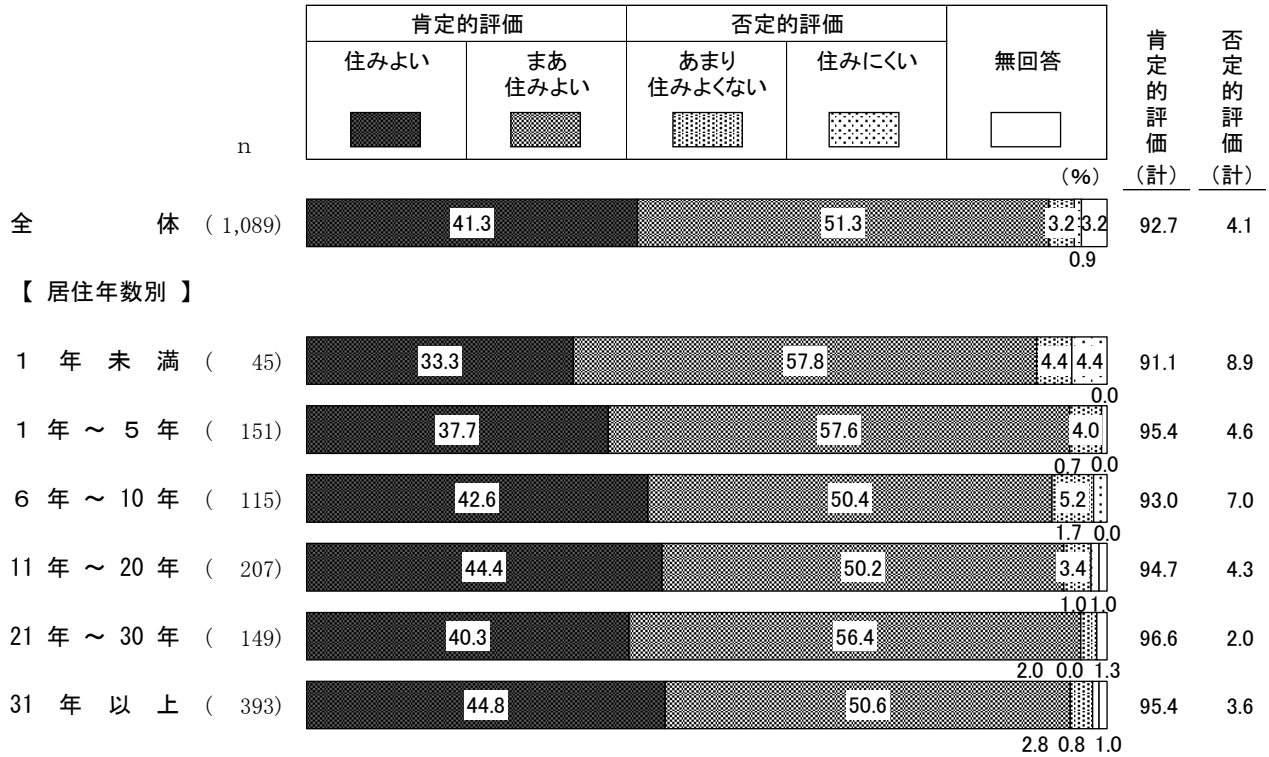
図1-2-4 住みごころ—性別／性・年齢別



性別にみると、男女ともに『肯定的評価』は9割台前半となっている。

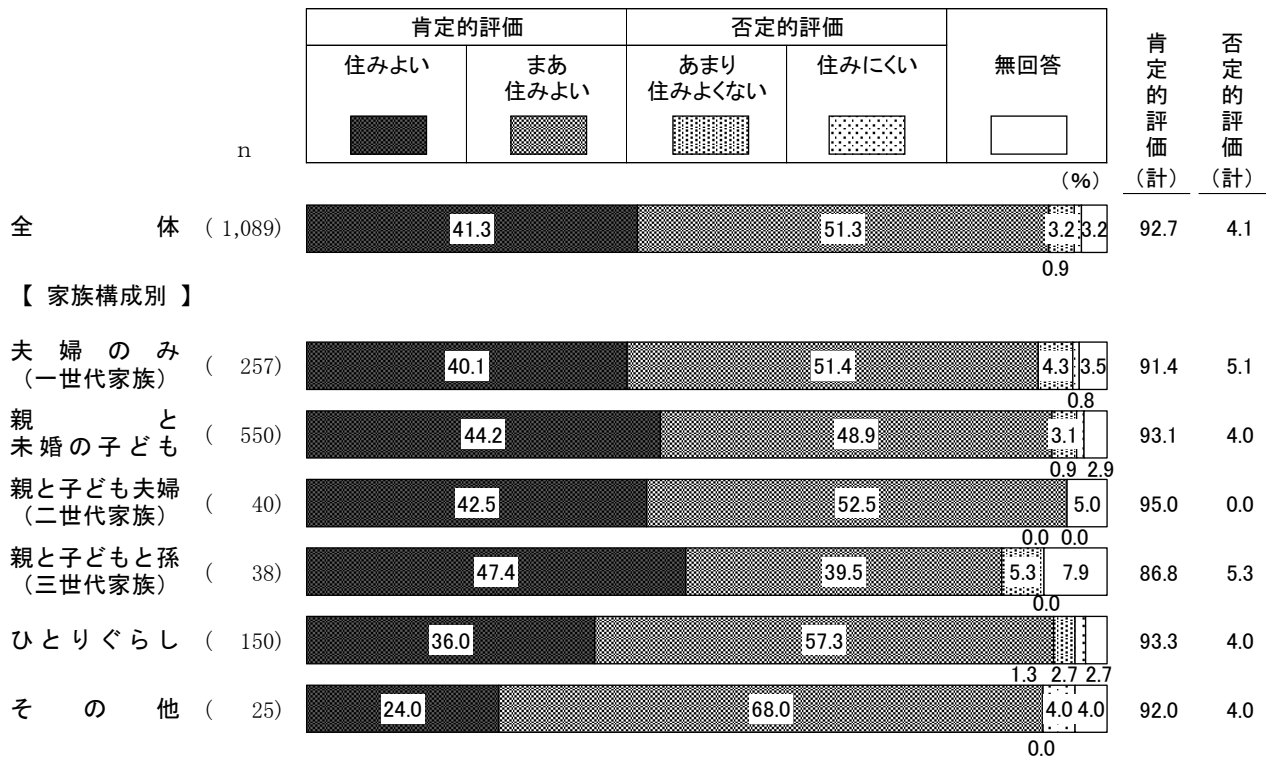
性・年齢別にみると、「住みよい」は男性20歳代で5割台半ばと多くなっている。『肯定的評価』は男性20歳代で10割、男性60歳代、女性60歳代で8割台となっているほかは、9割台となっている。(図1-2-4)

図 1-2-5 住みごち—居住年数別



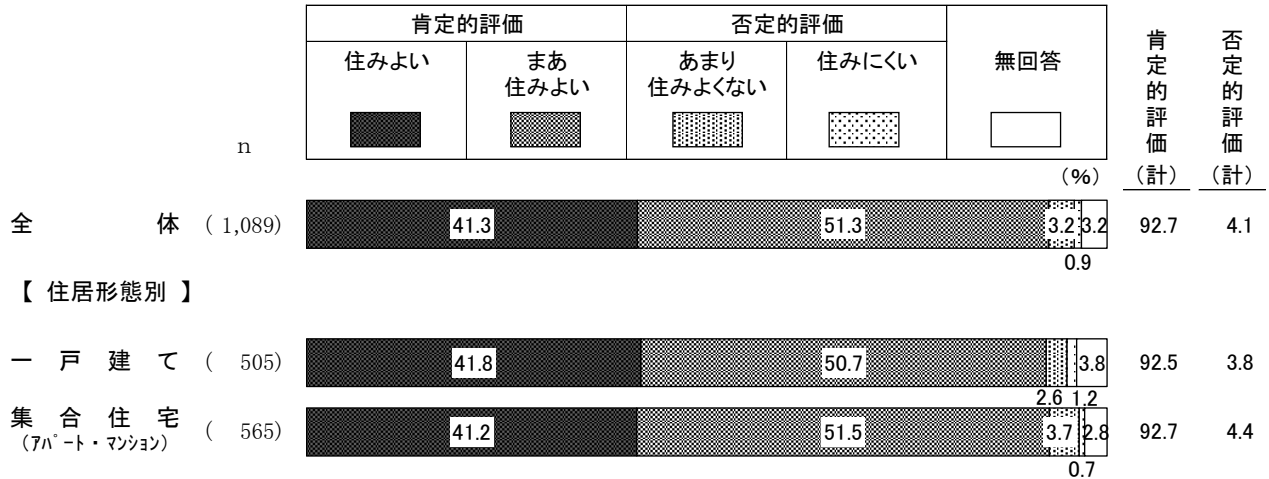
居住年数別にみると、『肯定的評価』はすべての居住年数で9割台となっている。
(図 1-2-5)

図 1-2-6 住みごち—家族構成別



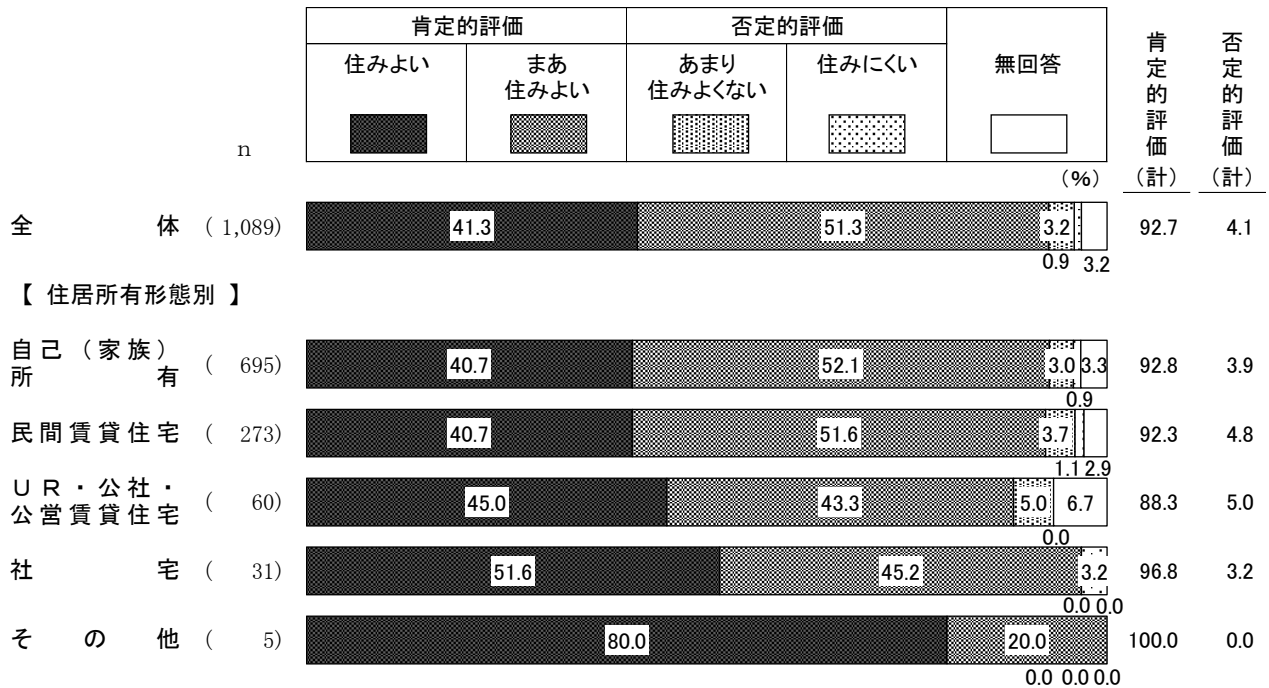
家族構成別にみると、『肯定的評価』は親と子どもと孫（三世世代家族）で8割台半ばとなっているほかは、いずれも9割台となっている。(図 1-2-6)

図1-2-7 住みごころ—住居形態別



住居形態別にみると、「住みよい」は一戸建て、集合住宅（アパート、マンション）ともに約4割を超えている。（図1-2-7）

図1-2-8 住みごころ—住居所有形態別



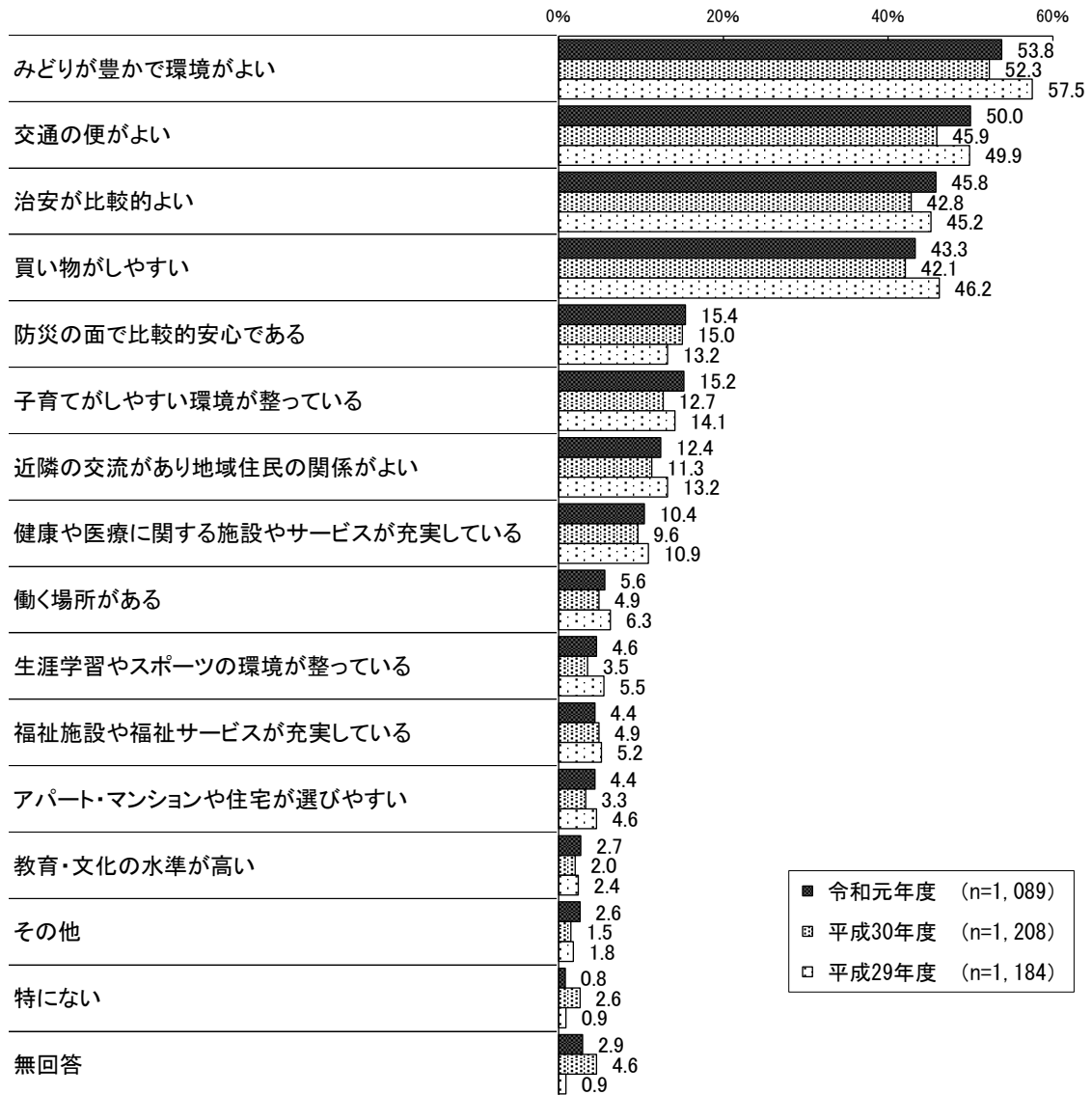
住居所有形態別にみると、『肯定的評価』はUR・公社・公営賃貸住宅で9割近くとなっているほかは、9割台となっている。（図1-2-8）

(3) 練馬区が住みよいと感じるところ

◇「みどりが豊かで環境がよい」が5割を超える

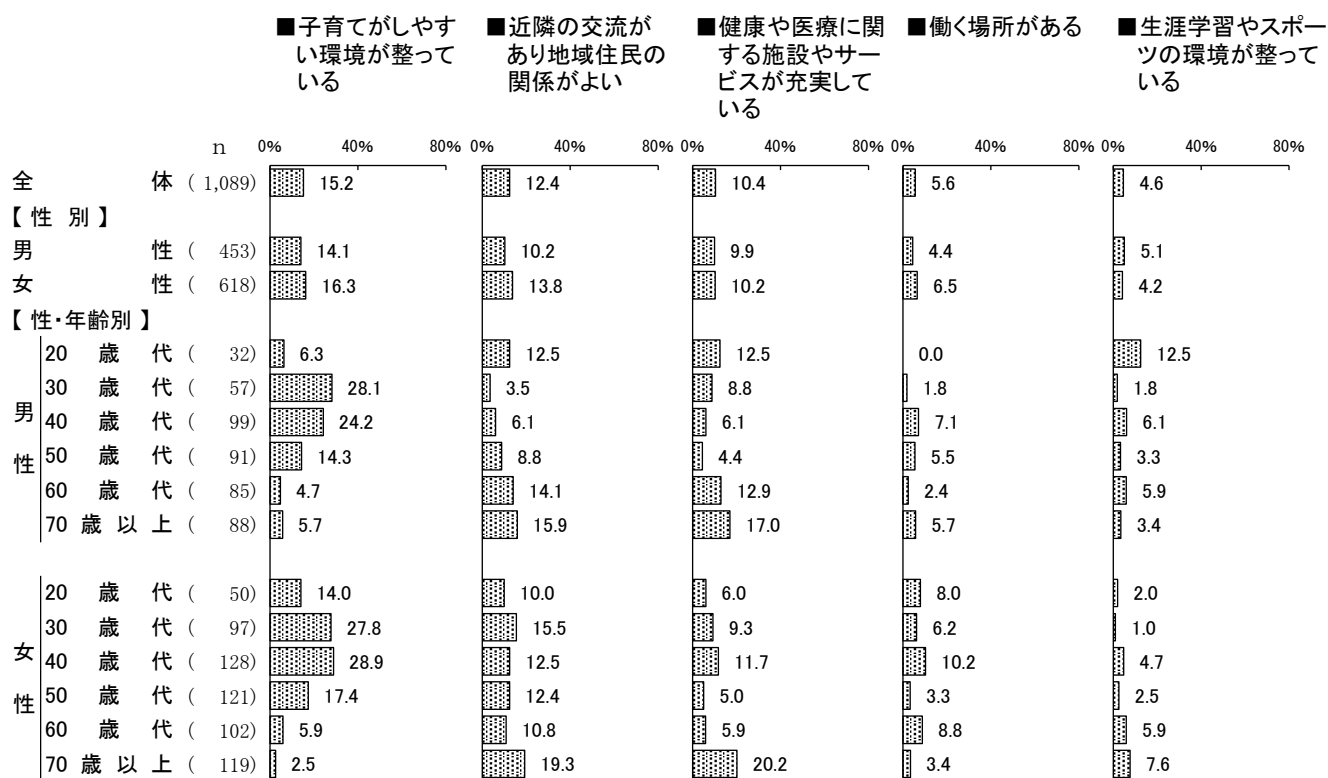
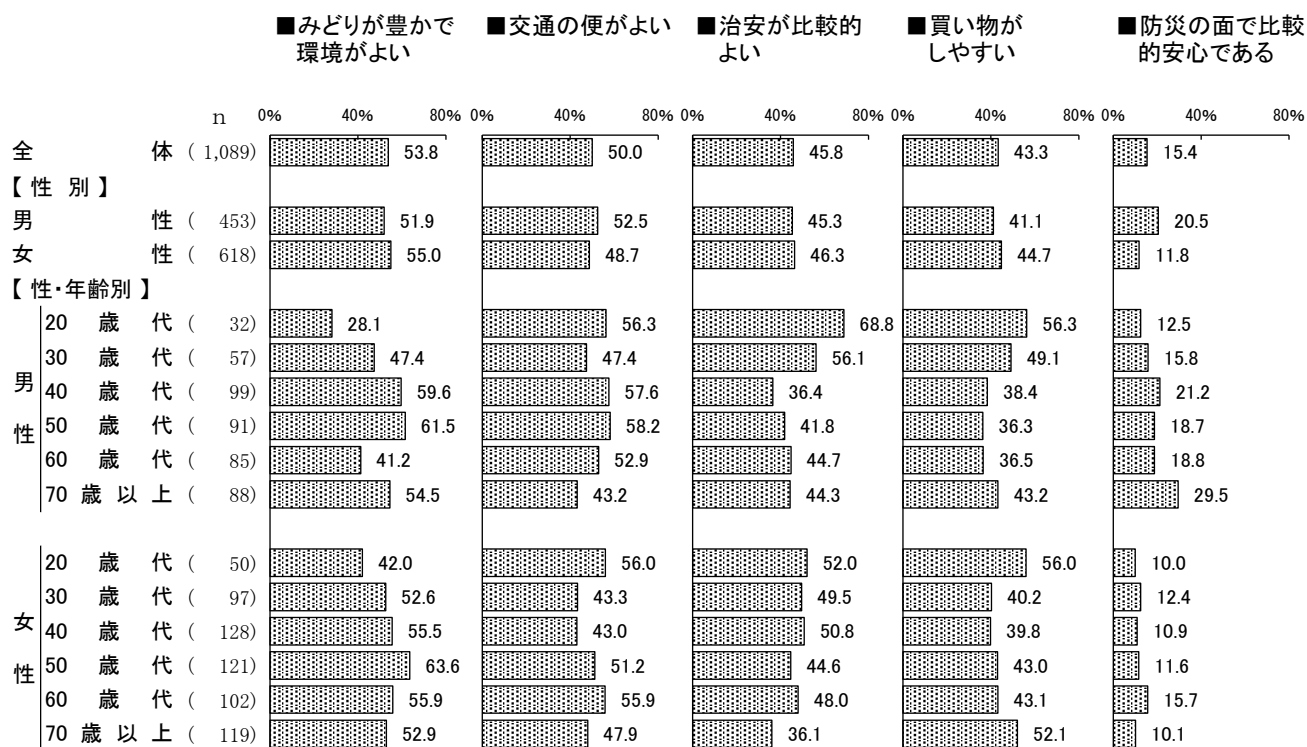
問3 あなたが、練馬区が住みよいと感じるところは、どんなところですか。
次の中から住みよいと感じることを選んでください。(〇は3つまで)

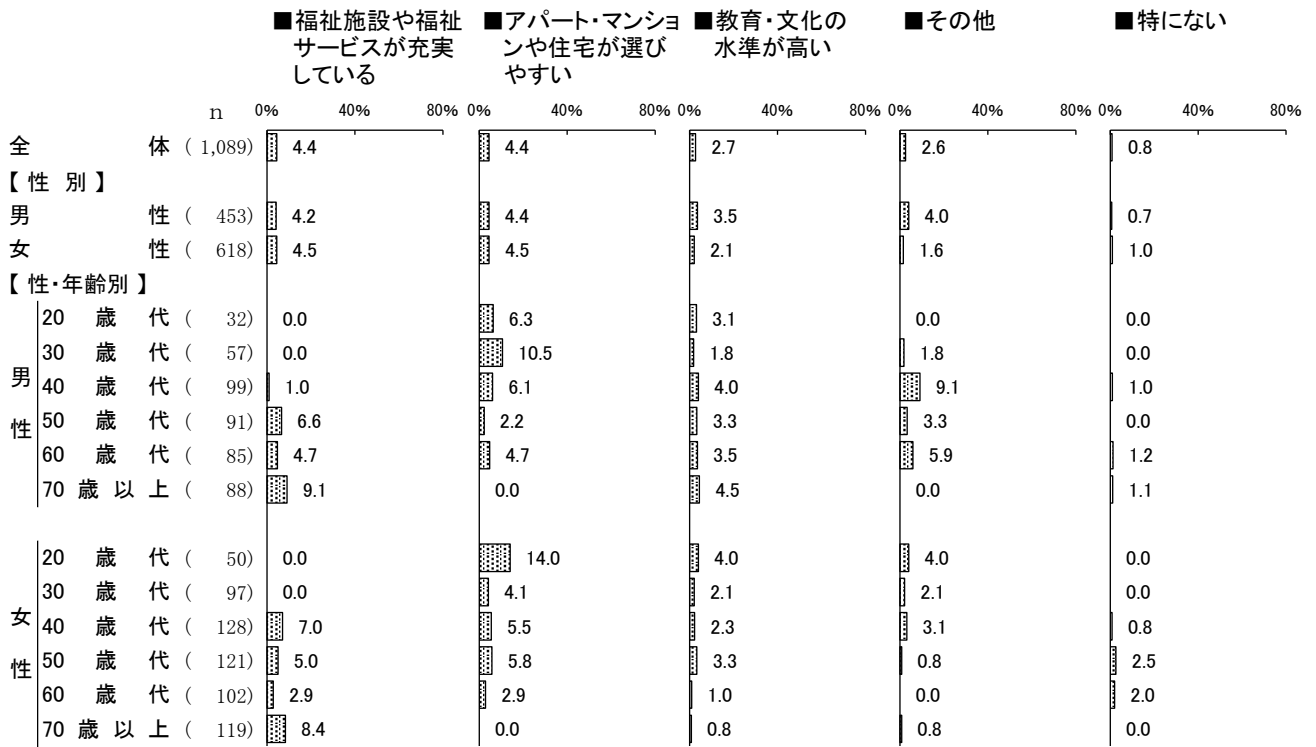
図1-3-1 練馬区が住みよいと感じるところ



練馬区が住みよいと感じるところを聞いたところ、「みどりが豊かで環境がよい」(53.8%)が5割を超えて最も多く、次いで「交通の便がよい」(50.0%)、「治安が比較的よい」(45.8%)、「買い物がしやすい」(43.3%)、「防災の面で比較的安心である」(15.4%)などの順となっている。(図1-3-1)

図1-3-2 練馬区が住みよいと感じるところ—性別／性・年齢別

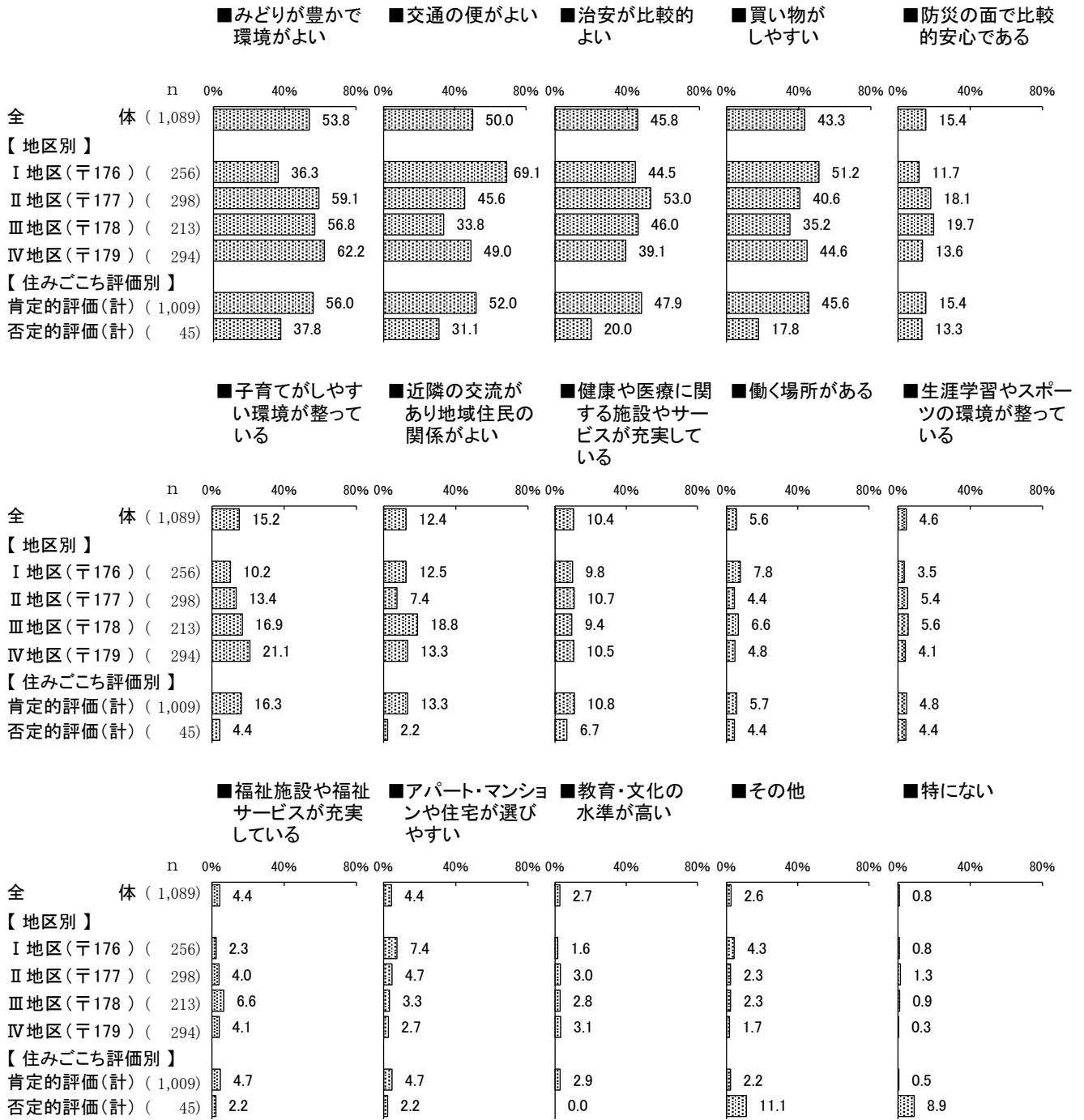




性別にみると、「防災の面で比較的安心である」は男性の方が8.7ポイント、「交通の便がよい」は男性の方が3.8ポイント高くなっている。「買い物がしやすい」、「近隣の交流があり地域住民の関係がよい」は女性の方が3.6ポイント高くなっている。

性別・年齢別にみると、「みどりが豊かで環境がよい」は男性50歳代、女性50歳代で6割を超えて多くなっている。「交通の便がよい」は男性40歳代・50歳代で6割近く、「治安が比較的よい」は男性20歳代で7割近く、「買い物がしやすい」は男性20歳代、女性20歳代で5割台半ばと多くなっている。(図1-3-2)

図 1-3-3 練馬区が住みよいと感じるところ—地区別／住みごち評価別



地区別にみると、「みどりが豊かで環境がよい」はIV地区（〒179）で6割を超え、「交通の便がよい」はI地区（〒176）で約7割と多くなっている。「治安が比較的よい」はII地区（〒177）で5割を超え、「買い物がしやすい」はI地区（〒176）で5割を超えている。

住みごち評価別にみると、「治安が比較的よい」で27.9ポイント、「買い物がしやすい」で27.8ポイント、「交通の便がよい」で20.9ポイント、「みどりが豊かで環境がよい」で18.2ポイントなど、ほぼすべての項目で『肯定的評価』が『否定的評価』より高くなっている。

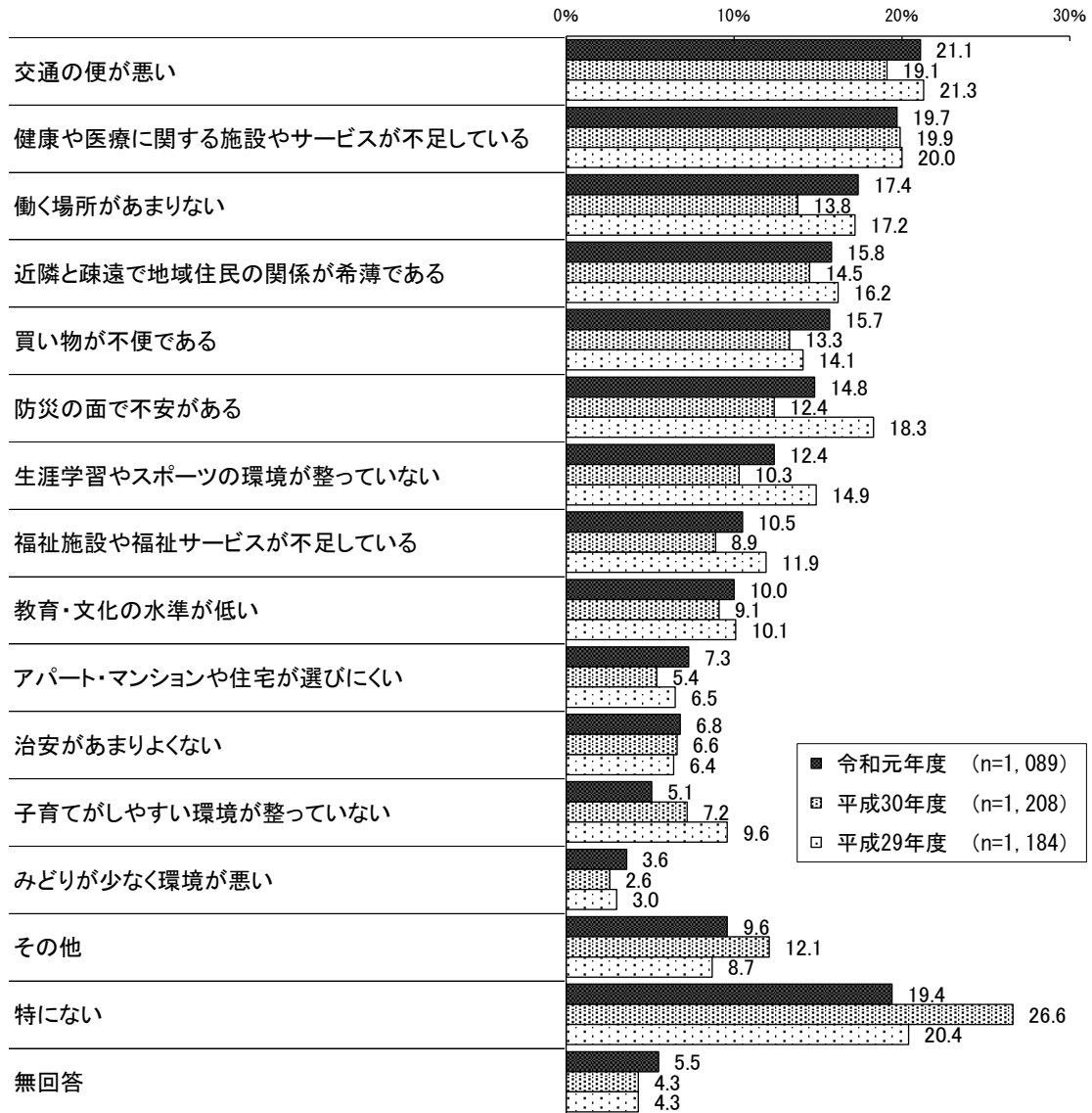
(図 1-3-3)

(4) 練馬区が住みにくいと感ずるところ

◇「交通の便が悪い」が2割を超える

問4 反対に、あなたが、練馬区が住みにくいと感ずるところは、どんなところですか。次の中から住みにくいと感ずることを選んでください。(〇は3つまで)

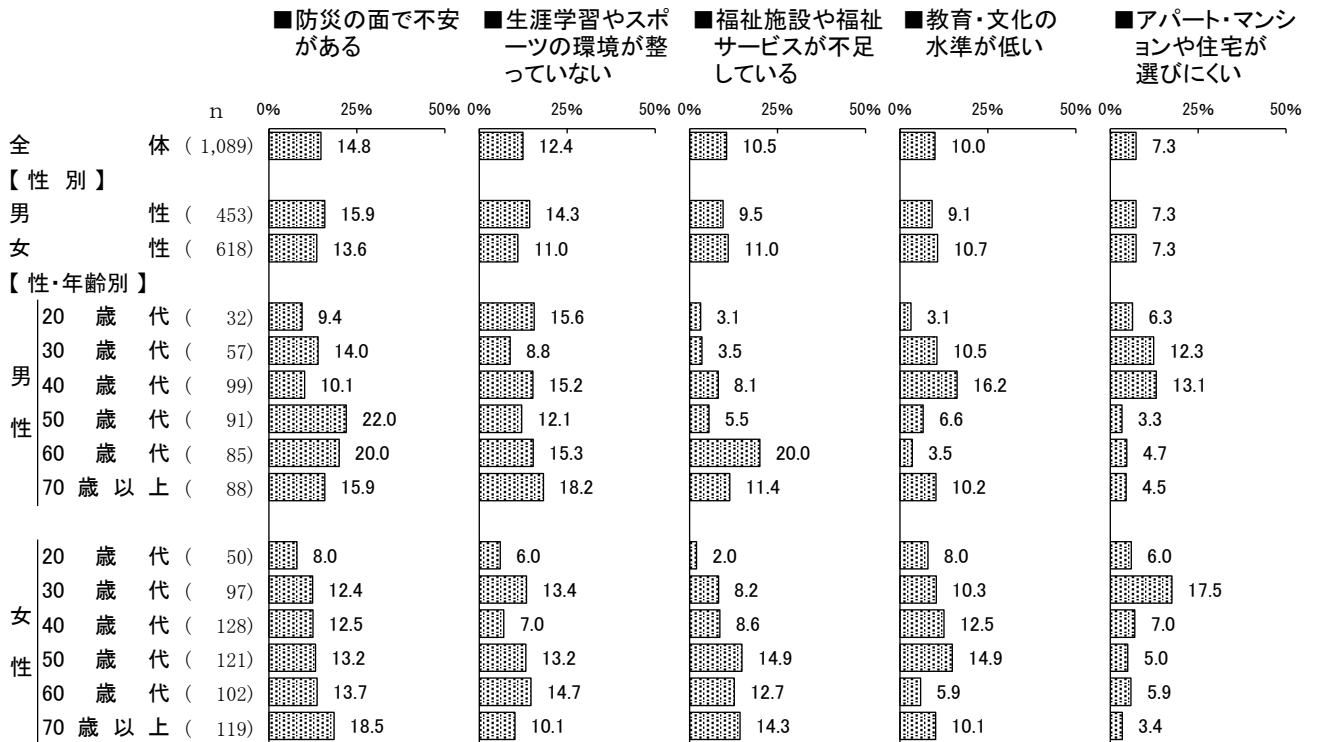
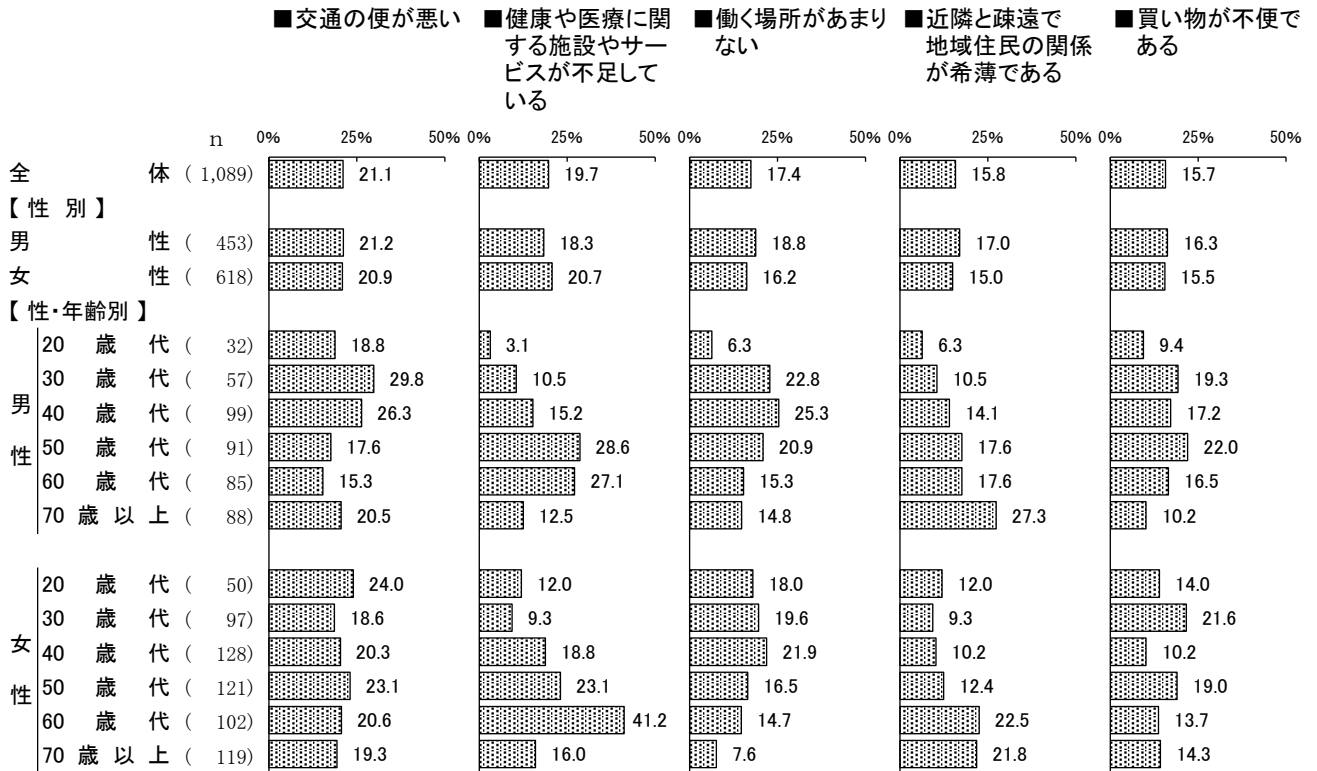
図1-4-1 練馬区が住みにくいと感ずるところ

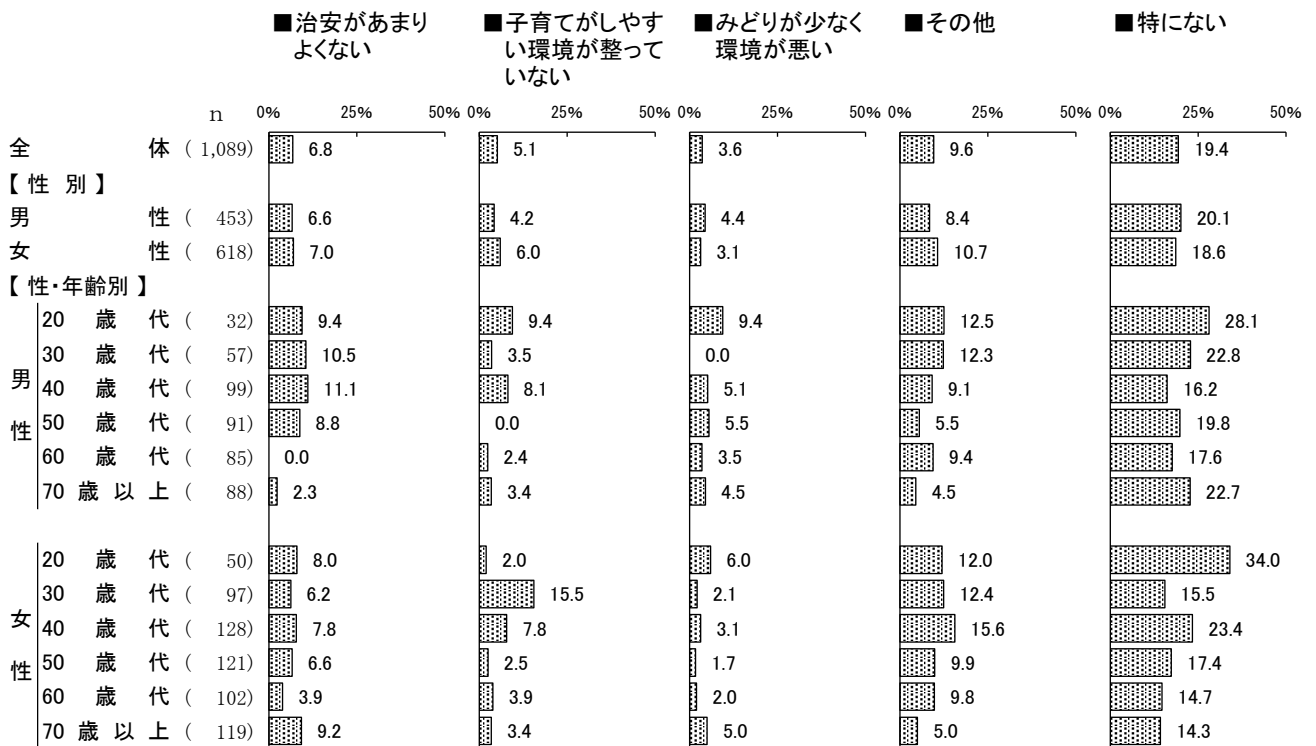


練馬区が住みにくいと感ずるところを聞いたところ、「交通の便が悪い」(21.1%)が2割を超えて最も多く、次いで「健康や医療に関する施設やサービスが不足している」(19.7%)、「働く場所があまりない」(17.4%)、「近隣と疎遠で地域住民の関係が希薄である」(15.8%)、「買い物に不便である」(15.7%)などの順となっている。

(図1-4-1)

図1-4-2 練馬区が住みにくいと感じるところ—性別／性・年齢別



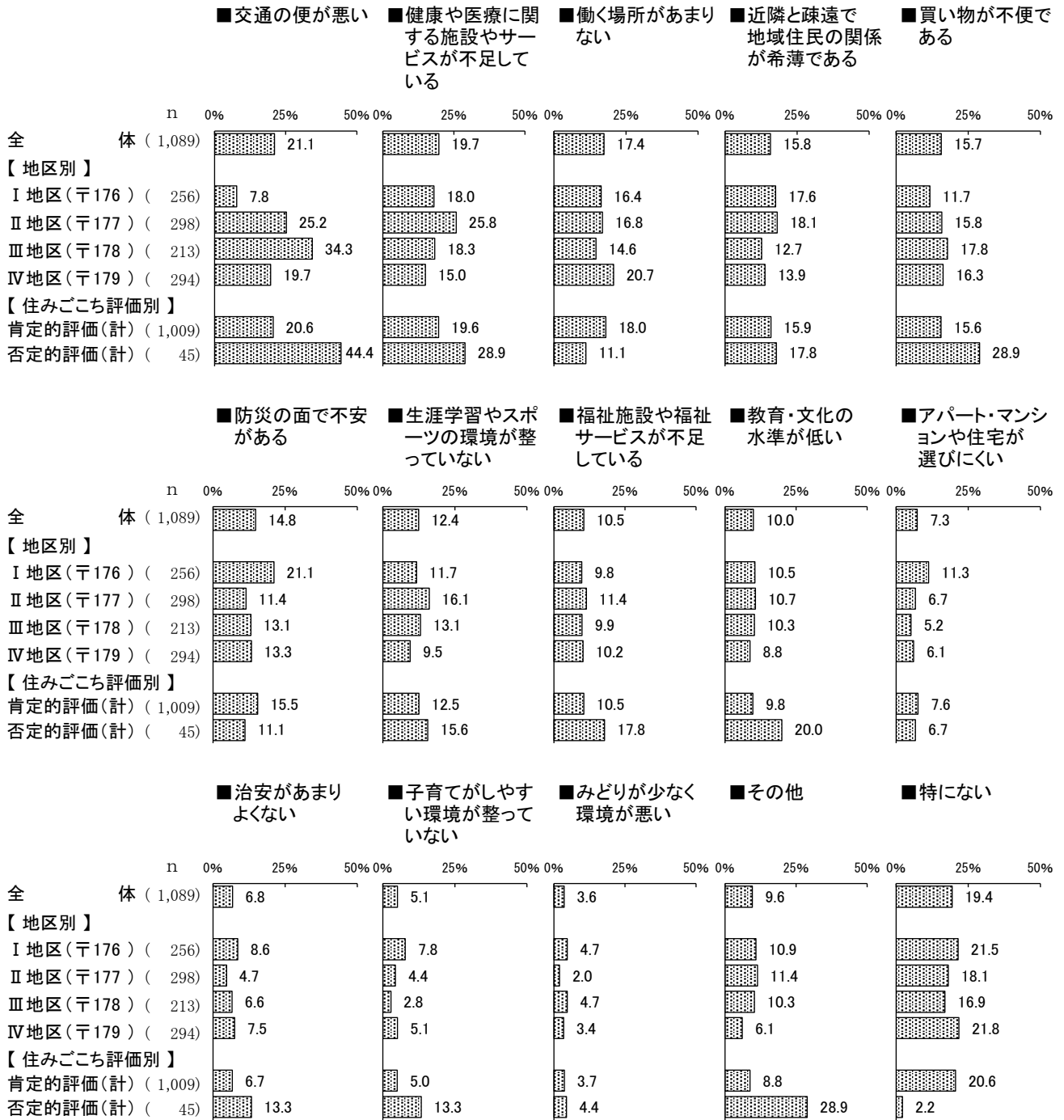


性別にみると、「生涯学習やスポーツの環境が整っていない」は男性の方が3.3ポイント、「働く場所があまりない」は男性の方が2.6ポイント、「健康や医療に関する施設やサービスが不足している」は女性の方が2.4ポイント、「防災の面で不安がある」は男性の方が2.3ポイント高くなっている。

性別・年齢別にみると、「交通の便が悪い」は男性30歳代で約3割、「健康や医療に関する施設やサービスが不足している」は女性60歳代で4割を超えて多くなっている。「近隣と疎遠で地域住民の関係が希薄である」は男女ともに概ね年代が上がるほど割合が多い傾向となっている。

(図1-4-2)

図1-4-3 練馬区が住みにくいと感ずるところ—地区別／住みごち評価別



地区別にみると、「交通の便が悪い」はIII地区(〒178)で3割台半ば、「健康や医療に関する施設やサービスが不足している」はII地区(〒177)で2割台半ば、「防災の面で不安がある」はI地区(〒176)で2割を超えて多くなっている。

住みごち評価別にみると、『否定的評価』は『肯定的評価』より「交通の便が悪い」で23.8ポイント、「買い物が不便である」で13.3ポイント、「教育・文化の水準が低い」で10.2ポイント、「健康や医療に関する施設やサービスが不足している」で9.3ポイント高くなっている。

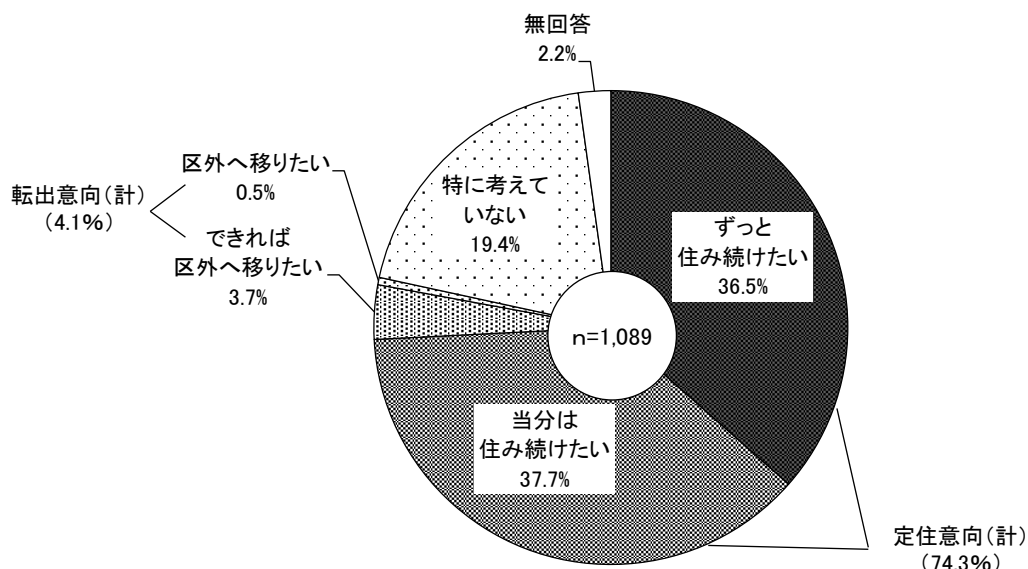
(図1-4-3)

(5) 定住意向

◇『定住意向』が7割台半ば

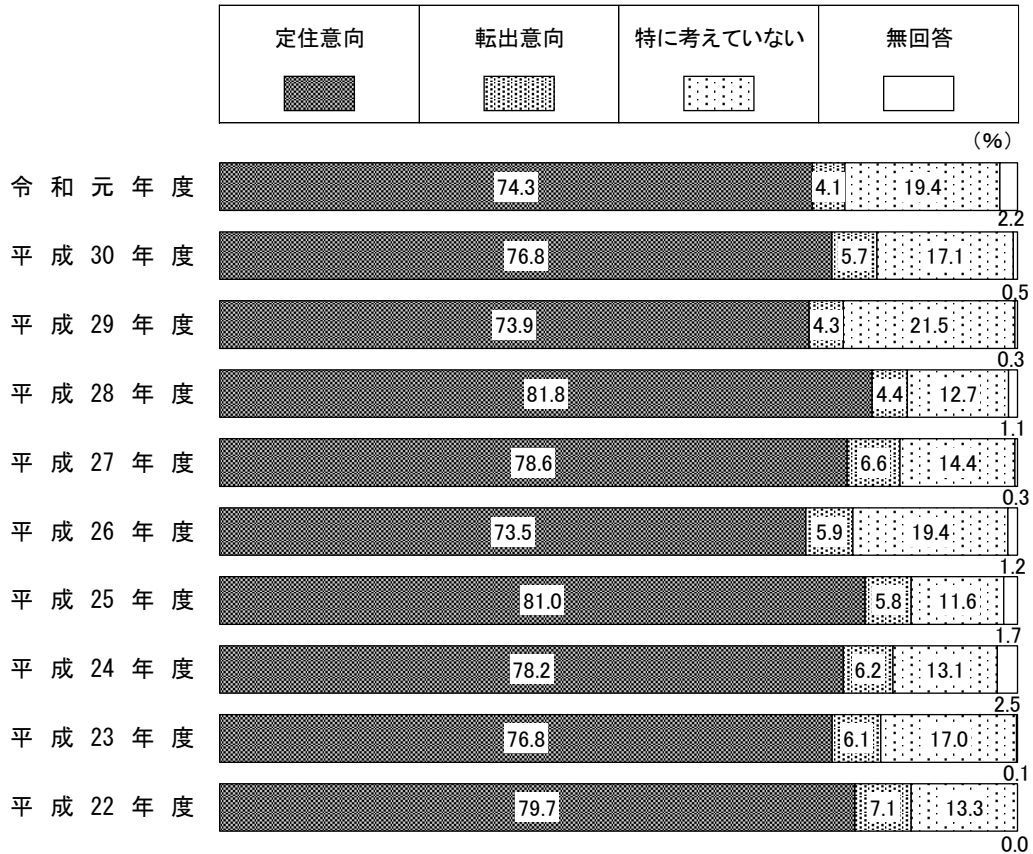
問5 あなたは、これからも引き続き練馬区に住みたいと思いますか。

図1-5-1 定住意向



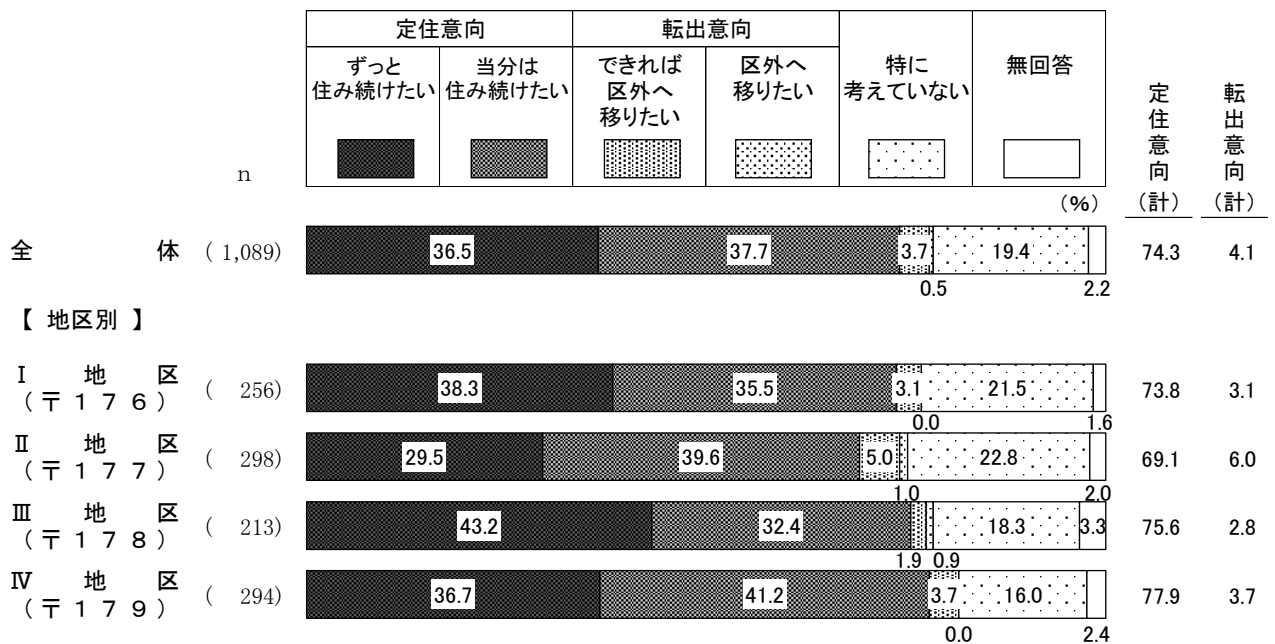
これからも引き続き練馬区に住みたいと思うか聞いたところ、「ずっと住みたい」(36.5%)と「当分は住みたい」(37.7%)を合わせた『定住意向』(74.3%)が7割台半ばとなっている。一方、「できれば区外へ移りたい」(3.7%)と「区外へ移りたい」(0.5%)を合わせた『転出意向』(4.1%)は1割を下回っている。(図1-5-1)

図 1-5-2 定住意向一過年度比較



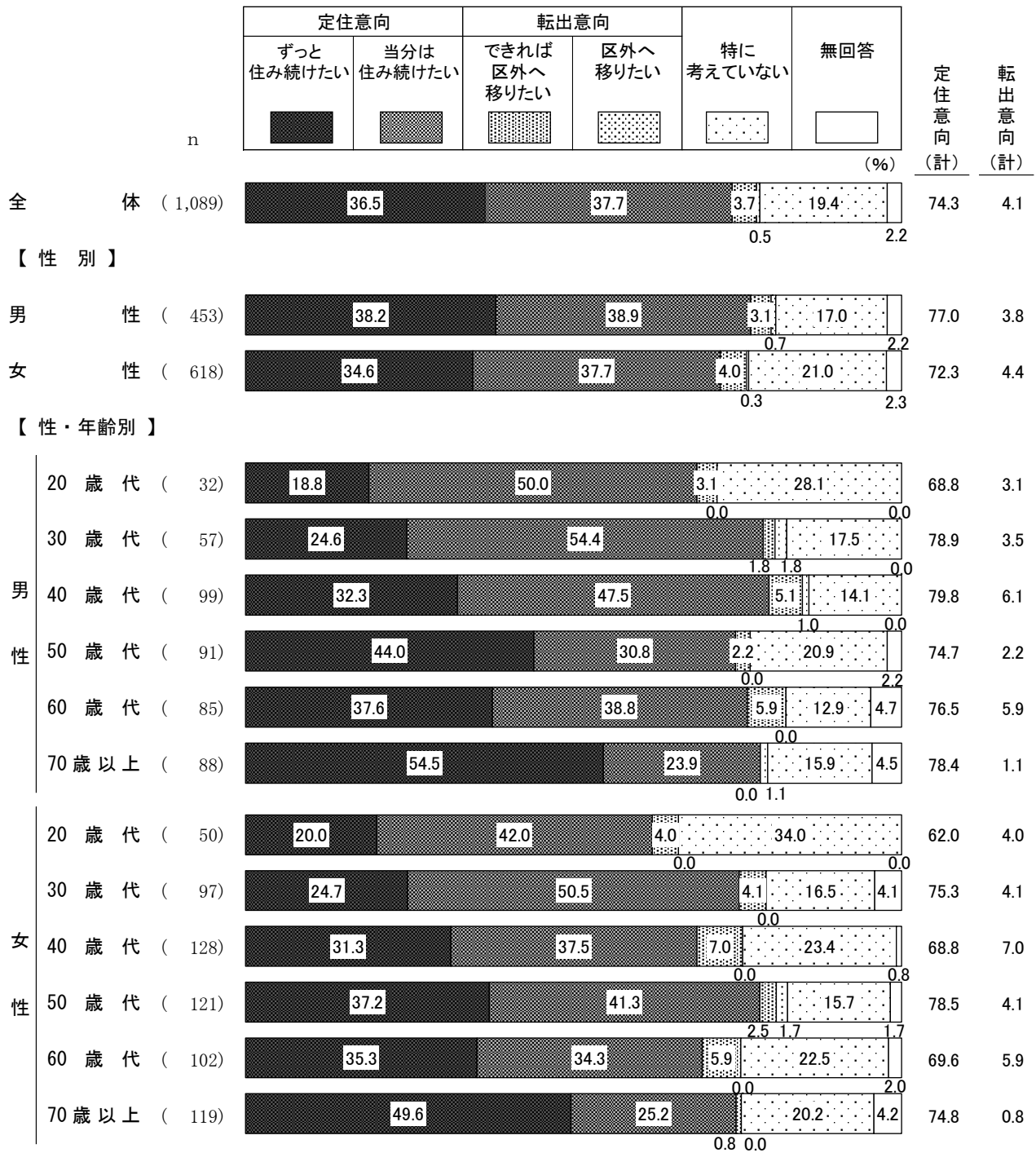
過去の調査と比較すると、『定住意向』は前回調査（平成30年度）より2.5ポイント減少している。（図1-5-2）

図 1-5-3 定住意向一地区別



地区別にみると、「ずっと住み続けたい」はIII地区（〒178）で4割を超えて多くなっている。（図1-5-3）

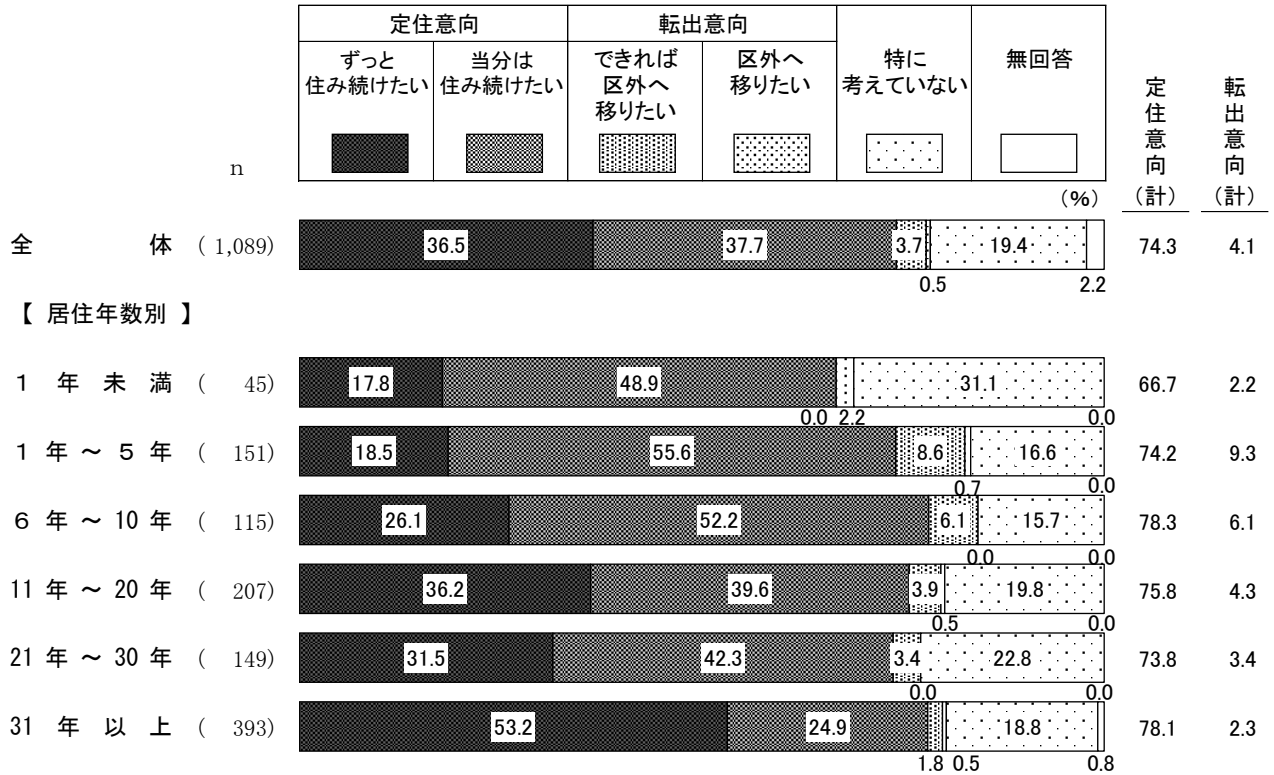
図 1-5-4 定住意向—性別／性・年齢別



性別にみると、『定住意向』は男性の方が4.7ポイント高く、8割近くとなっている。

性・年齢別にみると、「ずっと住み続けたい」は、男女ともに概ね年代が上がるほど割合が多い傾向となっており、男性70歳以上で5割台半ばと多くなっている。『定住意向』は男性30歳代・40歳代・70歳以上、女性50歳代で8割近くと多くなっている。(図1-5-4)

図 1-5-5 定住意向—居住年数別



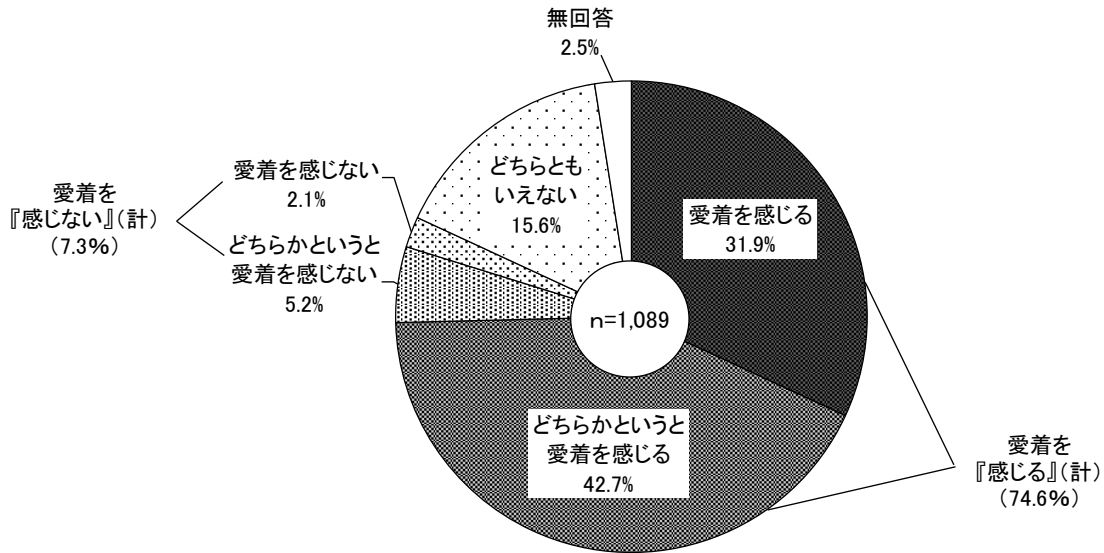
居住年数別にみると、「ずっと住み続けたい」は概ね居住年数が長くなるほど割合が多くなる傾向があり、31年以上居住している人で5割を超えて多くなっている。(図1-5-5)

(6) 練馬区への愛着

◇愛着を『感じる』が7割台半ば

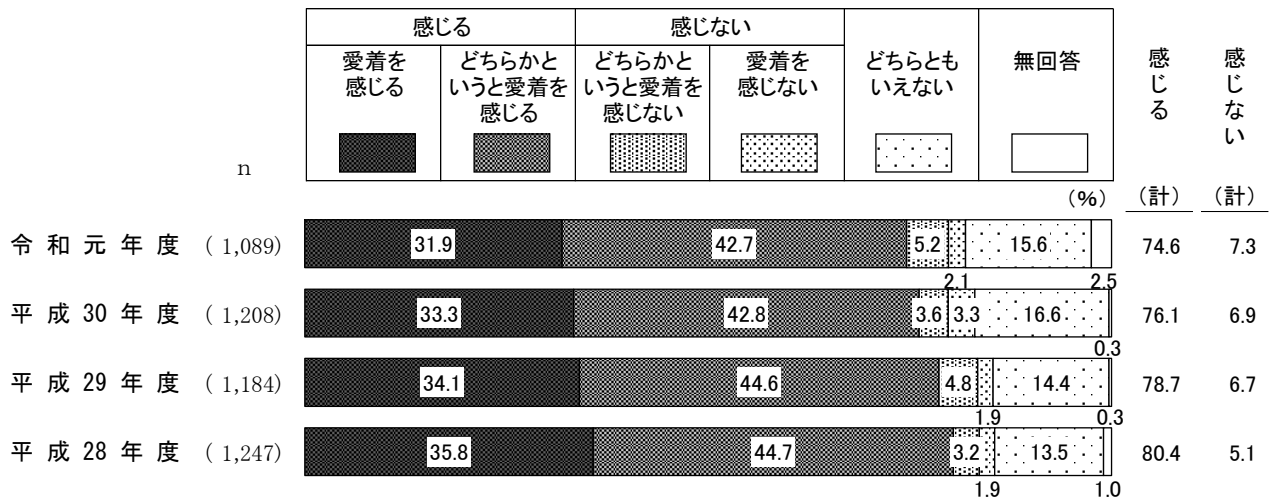
問6 あなたは、練馬区に愛着を感じますか。

図1-6-1 練馬区への愛着



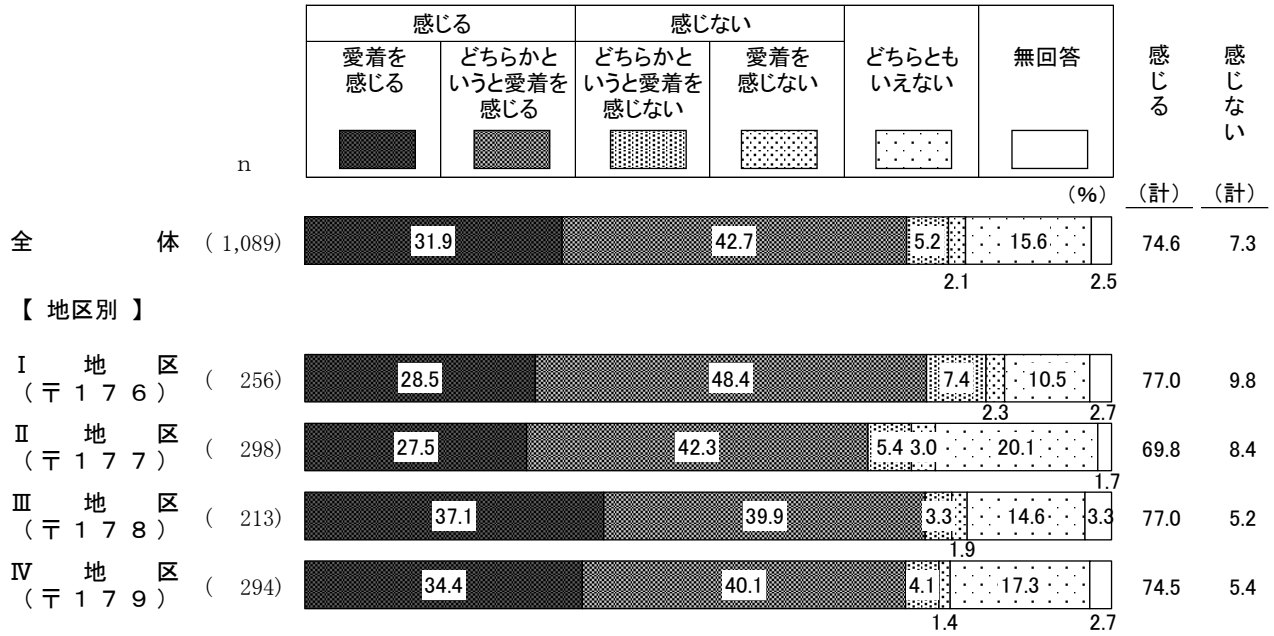
練馬区に愛着を感じるか聞いたところ、「愛着を感じる」(31.9%)と「どちらかというと感じる」(42.7%)を合わせた、愛着を『感じる』(74.6%)が7割台半ばとなっている。一方、「どちらかというと感じない」(5.2%)と「愛着を感じない」(2.1%)を合わせた、愛着を『感じない』(7.3%)は1割を下回っている。(図1-6-1)

図1-6-2 練馬区への愛着—過年度比較



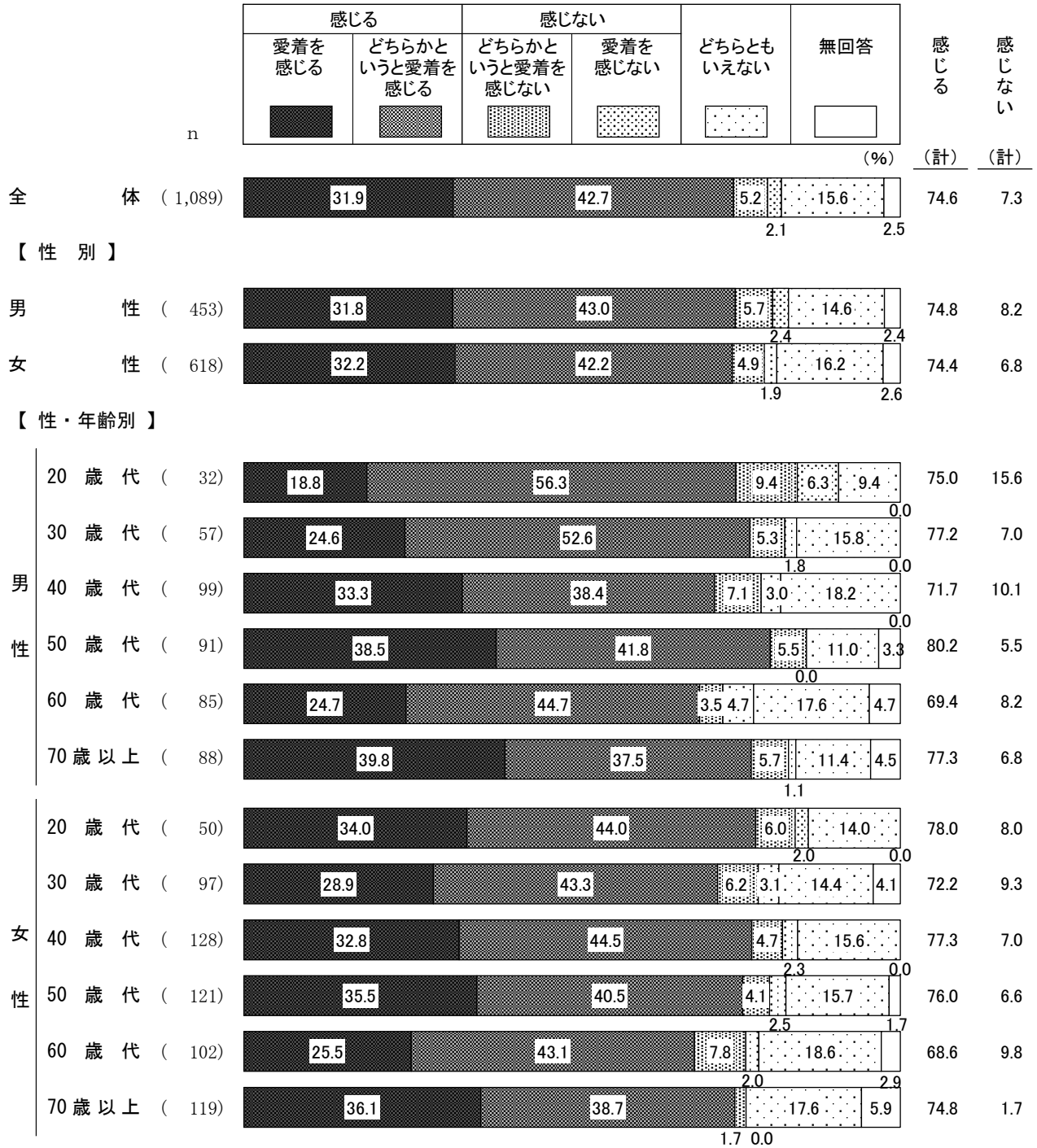
過去の調査と比較すると、愛着を『感じる』は前回調査(平成30年度)から1.5ポイント減少している。(図1-6-2)

図1-6-3 練馬区への愛着—地区別



地区別にみると、愛着を『感じる』はI地区（〒176）、III地区（〒178）で8割近くと多くなっている。（図1-6-3）

図 1-6-4 練馬区への愛着—性別／性・年齢別

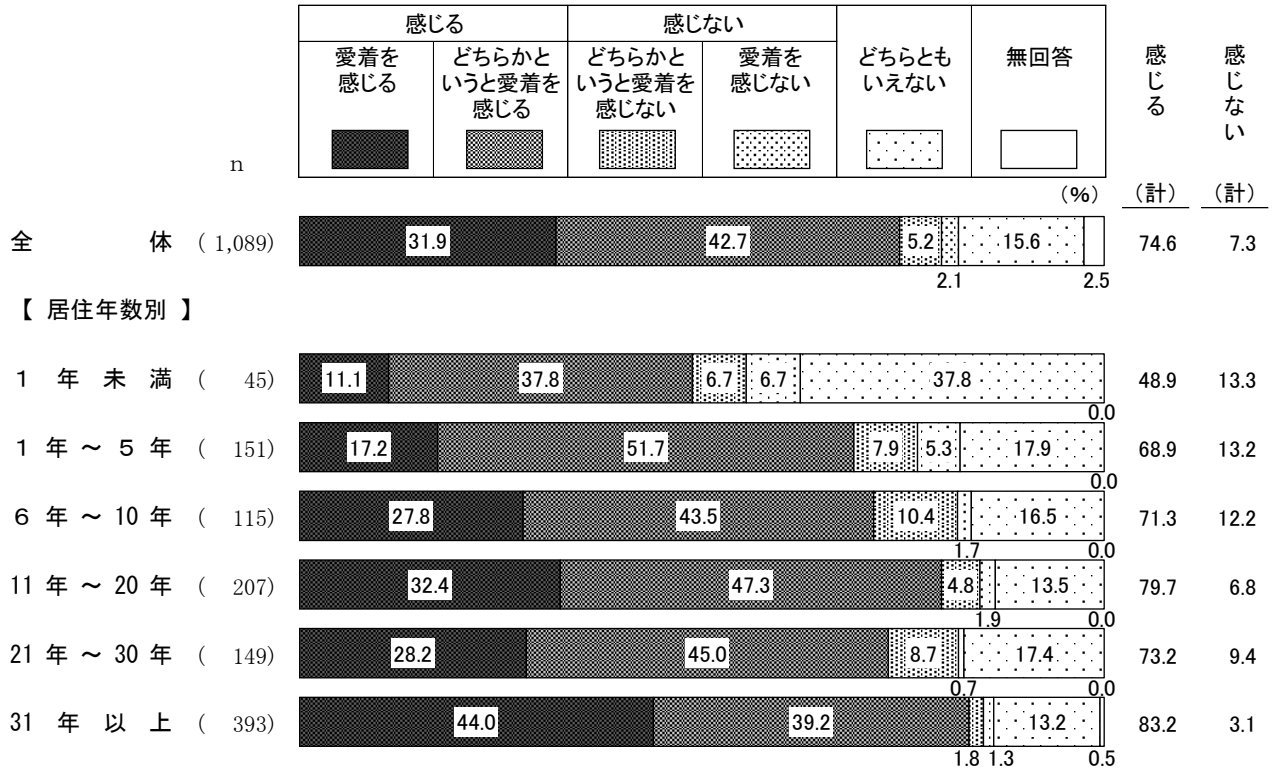


性別にみると、愛着を『感じる』は男女ともに7割台半ばとなっている。

性・年齢別にみると、愛着を『感じる』は男性50歳代で約8割と多くなっている。

(図 1-6-4)

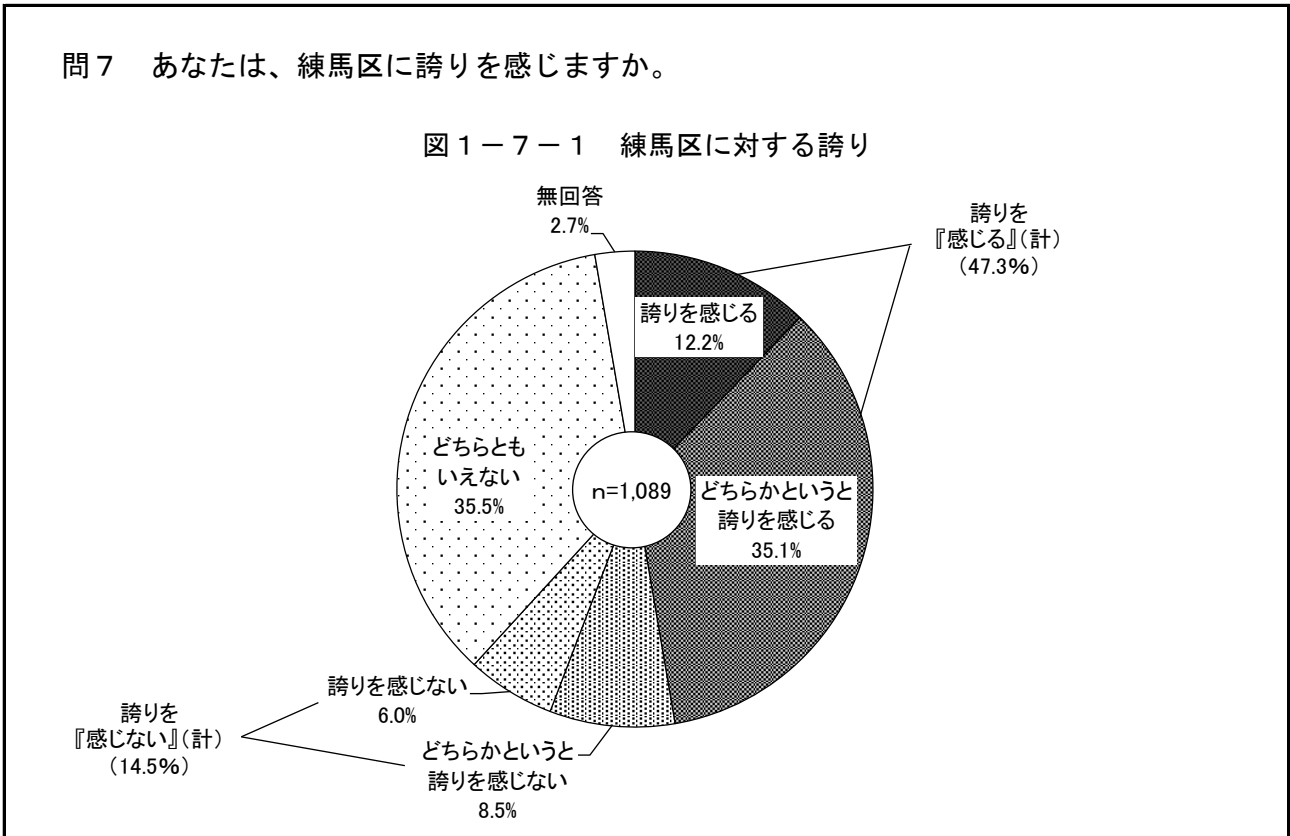
図 1-6-5 練馬区への愛着－居住年数別



居住年数別にみると、愛着を『感じる』は概ね居住年数が長くなるほど割合が多くなる傾向があり、31年以上居住している人で8割を超えて多くなっている。(図1-6-5)

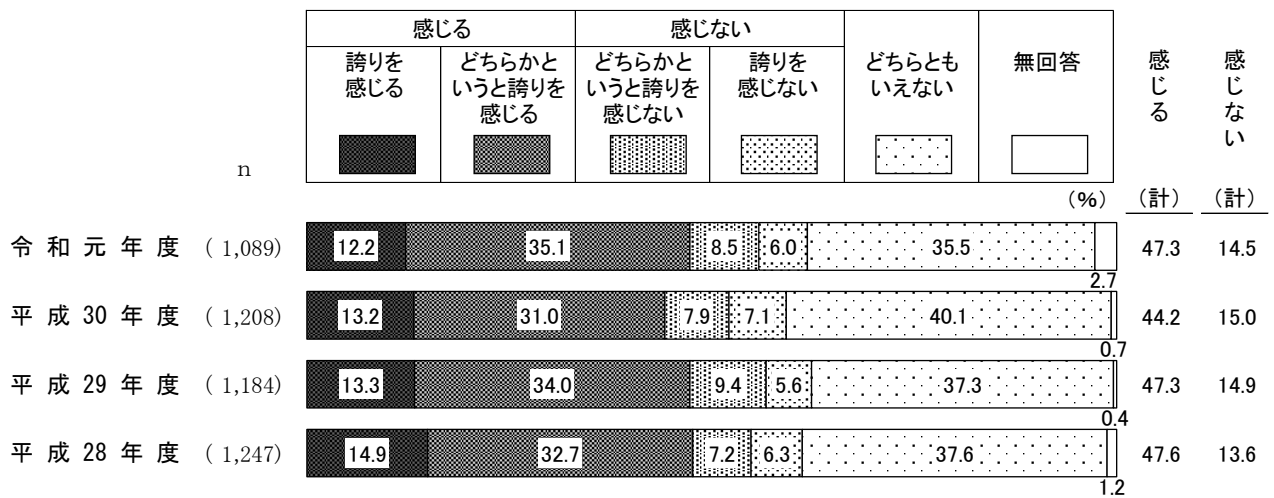
(7) 練馬区に対する誇り

◇誇りを『感じる』が5割近く



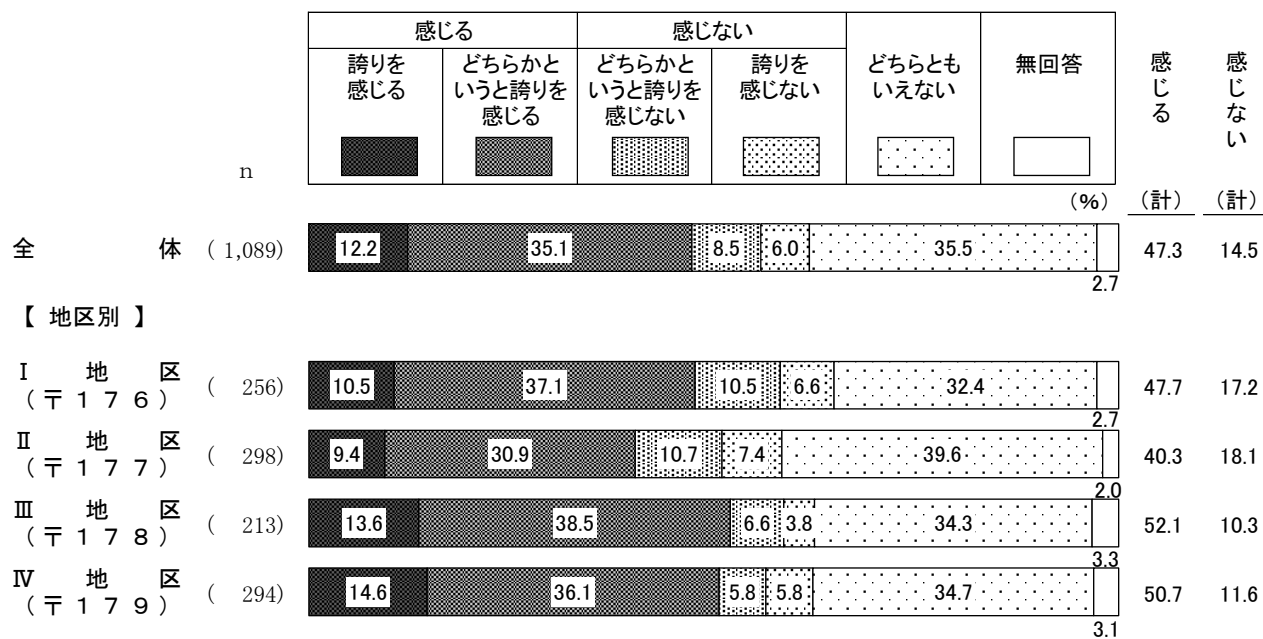
練馬区に誇りを感じるか聞いたところ、「誇りを感じる」(12.2%)と「どちらかというと誇りを感じる」(35.1%)を合わせた、誇りを『感じる』(47.3%)が5割近くとなっている。一方、「どちらかというと誇りを感じない」(8.5%)と「誇りを感じない」(6.0%)を合わせた、誇りを『感じない』(14.5%)は1割台半ばとなっている。(図1-7-1)

図1-7-2 練馬区に対する誇り—過年度比較



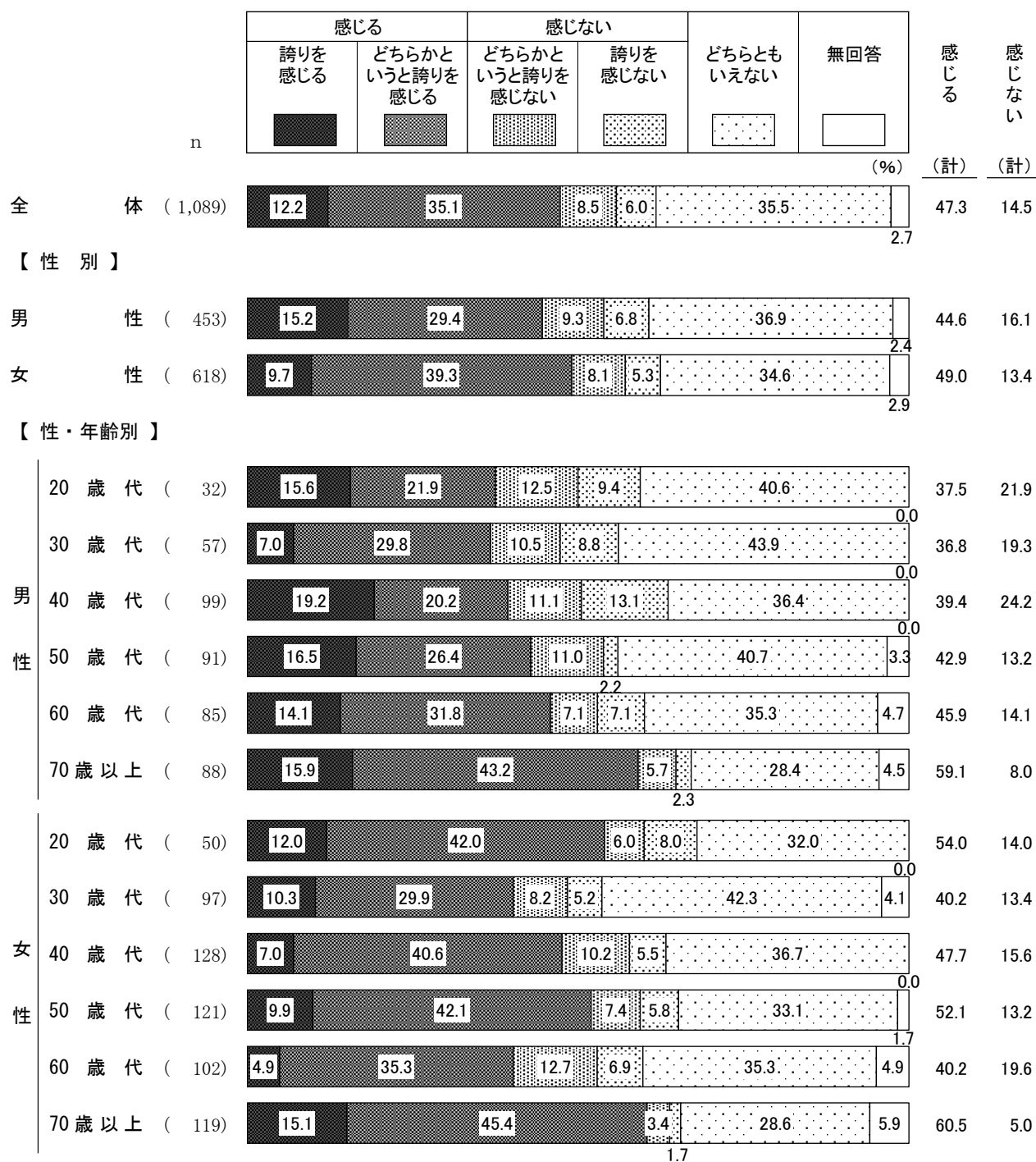
過去の調査と比較すると、誇りを『感じる』は前回調査(平成30年度)から3.1ポイント増加している。(図1-7-2)

図 1-7-3 練馬区に対する誇り—地区別



地区別にみると、誇りを『感じる』はⅢ地区（〒178）で5割を超え、Ⅳ地区（〒179）で約5割となっている。（図1-7-3）

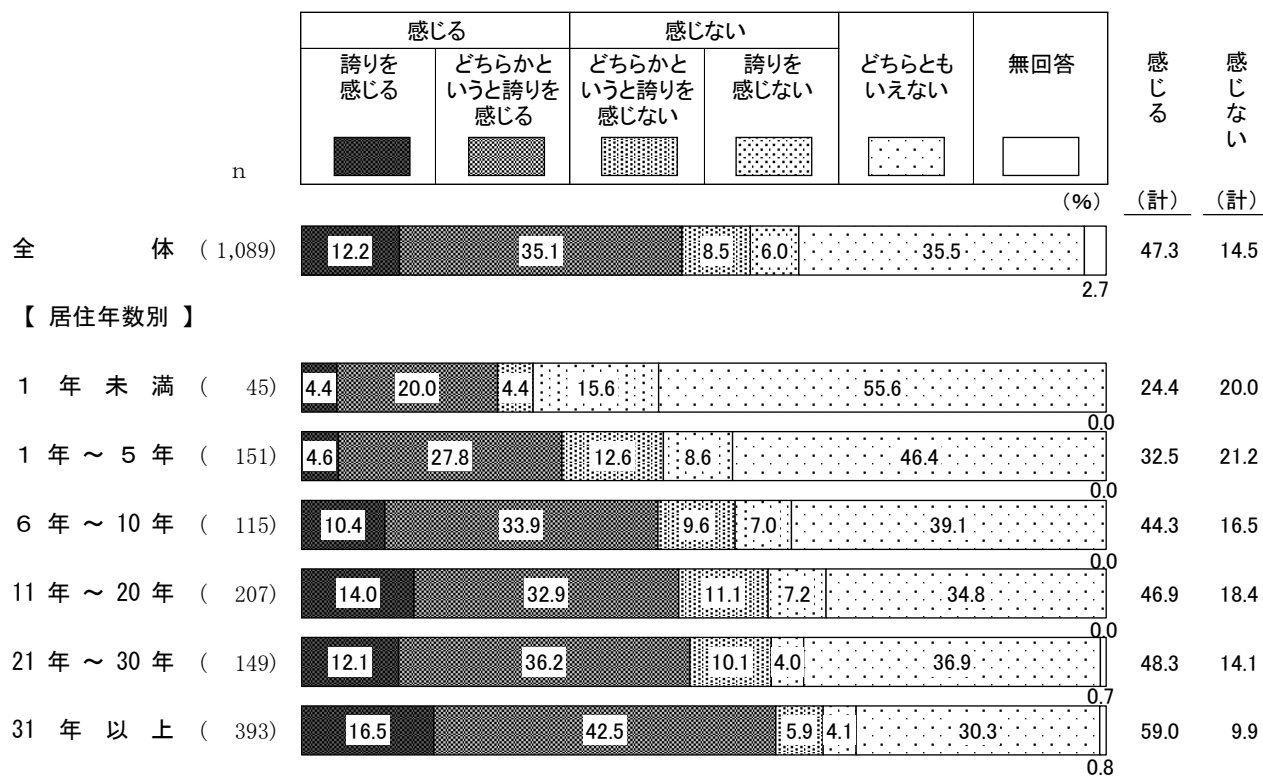
図1-7-4 練馬区に対する誇り—性別／性・年齢別



性別にみると、誇りを『感じる』は女性の方が4.4ポイント高く、5割近くとなっている。

性・年齢別にみると、誇りを『感じる』は男性70歳代、女性70歳以上で約6割、女性20歳代で5割台半ば、女性50歳代で5割を超えて多くなっている。一方、誇りを『感じない』は男性40歳代で2割台半ば、男性20歳代で2割を超えている。(図1-7-4)

図 1-7-5 練馬区に対する誇り—居住年数別



居住年数別にみると、誇りを『感じる』は概ね居住年数が長くなるほど割合が多くなる傾向があり、31年以上居住している人で約6割と多くなっている。(図1-7-5)

(8) 施策の満足度と必要性

◇満足度の高い施策は「みどりの保全と創出」が8割近く

◇必要性の高い施策は「交通安全対策」「医療環境の充実」「災害に強い安全なまちづくり」「学校教育」「子育て支援」が8割台半ば

問8 区は様々な施策を行っていますが、あなたは、次にあげる施策にどの程度満足していますか。

問11 これらの施策に関する今後の必要性について、どのように考えますか。

子ども・子育て	1 子育て支援 (保育所・学童クラブの充実、幼稚園の預かり保育、一時預かりや親子で交流できる場の拡充、子育ての相談をしやすい体制の整備など)
	2 学校教育 (学力の定着・向上、教員の質の向上、教育環境の整備、家庭や地域と連携した教育の推進、支援が必要な子どもたちへの取り組みの充実など)
	3 青少年の健全育成 (子ども向け講座・行事、社会環境の浄化活動、遊び場の確保、青少年館など)
福祉・医療・健康	4 高齢者福祉 (医療・介護等の連携による高齢者の生活支援、高齢者施設の整備、介護予防・介護サービスの充実など)
	5 障害者福祉 (生活状況に応じた地域生活支援の強化、家族支援、住まいの確保、就労支援など)
	6 医療環境の充実 (病床の確保、病院整備の促進、在宅療養ネットワークの構築など)
	7 地域福祉の推進 (地域における平常時の見守り、災害時の要援護者支援の充実、民生委員による福祉活動など)
	8 健康づくりの推進 (健康診査、がん検診、母子保健、健康相談、食育、感染症対策、精神保健など)
	9 生活の安定に向けた自立支援 (生活の相談や支援、生活保護など)
都市基盤整備	10 鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 (都営大江戸線の延伸、都市計画道路の整備、西武新宿線の立体化、公共交通空白地域の改善など)
	11 災害に強い安全なまちづくり (建築物の耐震化・不燃化、無電柱化、木造住宅密集地域の改善、都市型水害対策の強化など)
	12 地域防災力の向上、安全・安心な地域づくり (自主的な防災への取組支援、防犯・防火など)
	13 交通安全対策 (歩行者空間の確保、自転車対策など)
	14 駅周辺のまちづくり (駅へのアクセス道路、生活利便性の高い駅前空間、良好な景観の形成など)

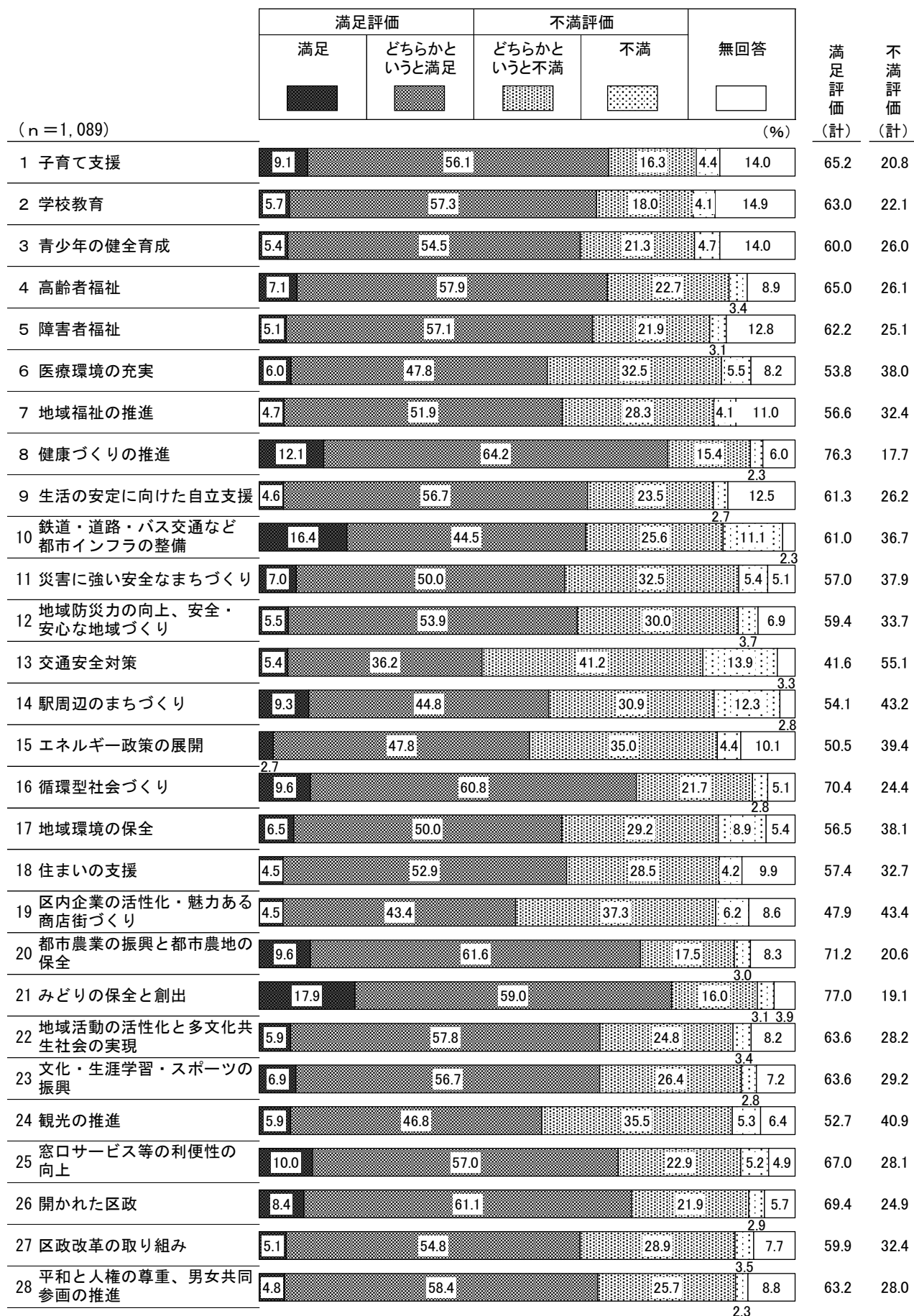
都市基盤整備（続き）	15 エネルギー政策の展開 (災害時のエネルギーセキュリティの確保、住宅都市にふさわしい自立分散型エネルギー社会へ向けた取り組み、省エネルギー、地球温暖化防止など)
	16 循環型社会づくり (ごみの減量・リサイクル・環境学習の推進など)
	17 地域環境の保全 (騒音などの公害問題、たばこのポイ捨て・歩きたばこ防止など)
	18 住まいの支援 (区営住宅の運営、高齢者世帯への住宅支援など)
練馬区の魅力	19 区内企業の活性化・魅力ある商店街づくり (創業支援、企業活動活性化、個店・商店街支援など)
	20 都市農業の振興と都市農地の保全
	21 みどりの保全と創出 (公園の整備、樹林地の保全、みどりの美しい街並みづくりなど)
	22 地域活動の活性化と多文化共生社会の実現 (町会・自治会等の支援、地域集会施設の運営、国際交流など)
	23 文化・生涯学習・スポーツの振興
	24 観光の推進 (徒歩や自転車によるまち歩き観光、区の魅力・観光情報の発信など)
区政運営	25 窓口サービス等の利便性の向上 (窓口の受付日や時間の拡充、窓口の効率化、対応の質の向上、ICT（情報通信技術）の活用など)
	26 開かれた区政 (区報やホームページなどの情報発信の充実、区民参加・協働の推進など)
	27 区政改革の取り組み (サービスの質の向上や費用対効果、受益と負担のあり方、行政と民間の役割分担等の観点からのサービス・事務の見直しなど)
	28 平和と人権の尊重、男女共同参画の推進 (啓発イベントや講座、女性に対する各種相談の実施、情報誌の発行など)

満足度

「満足」および「どちらかという満足」の2項目を合わせた『満足評価』と、「不満」および「どちらかという不満」の2項目を合わせた『不満評価』のそれぞれ上位5項目は、以下のようになっている。(図1-8-1)

『満足評価』上位5項目		『不満評価』上位5項目	
①みどりの保全と創出	(77.0%)	①交通安全対策	(55.1%)
②健康づくりの推進	(76.3%)	②区内企業の活性化・魅力ある商店街づくり	(43.4%)
③都市農業の振興と都市農地の保全	(71.2%)	③駅周辺のまちづくり	(43.2%)
④循環型社会づくり	(70.4%)	④観光の推進	(40.9%)
⑤開かれた区政	(69.4%)	⑤エネルギー政策の展開	(39.4%)

図 1-8-1 施策の満足度



必要性

「とても必要」および「必要」の2項目を合わせた『必要性が高い評価』と、「どちらかという必要」および「あまり必要でない」の2項目を合わせた『必要性が低い評価』のそれぞれ上位5項目は、以下のようにになっている。(図1-8-2)

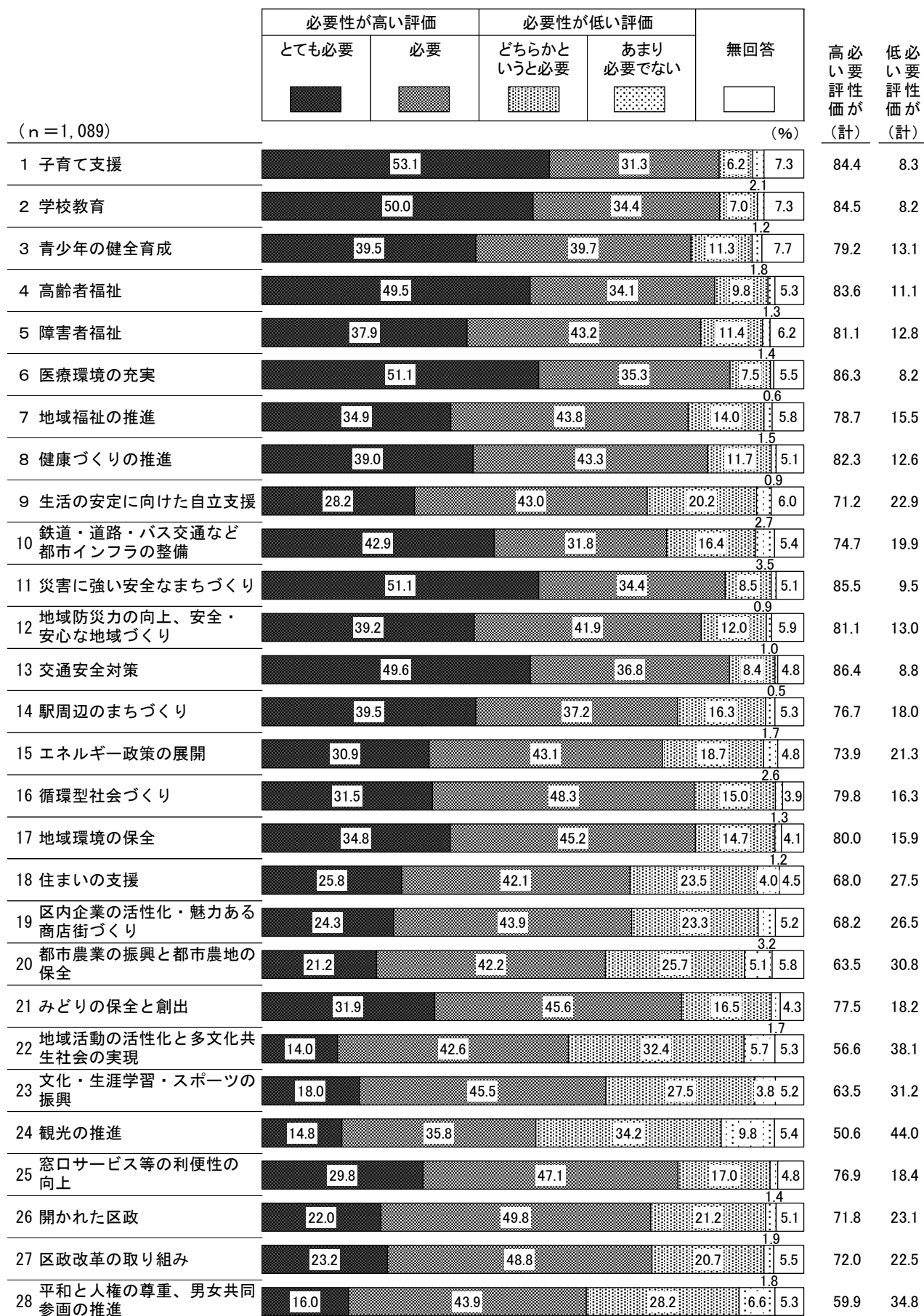
『必要性が高い評価』上位5項目

①交通安全対策	(86.4%)
②医療環境の充実	(86.3%)
③災害に強い安全なまちづくり	(85.5%)
④学校教育	(84.5%)
⑤子育て支援	(84.4%)

『必要性が低い評価』上位5項目

①観光の推進	(44.0%)
②地域活動の活性化と多文化共生社会の実現	(38.1%)
③平和と人権の尊重、男女共同参画の推進	(34.8%)
④文化・生涯学習・スポーツの振興	(31.2%)
⑤都市農業の振興と都市農地の保全	(30.8%)

図 1 - 8 - 2 施策への必要性



加重平均値

満足度と必要性を比率でみるのとは別に、その比較をより明確にするために、加重平均値による数量化を試みた。これは、下記の計算式にあるように、数段階の評価に点数を与え、評価点を算出する方法である。

$$\text{満足度評価点} = \frac{\left\{ \begin{array}{l} (\text{「満足」の回答者数} \times 2) + (\text{「どちらかという満足」の回答者数} \times 1) \\ + (\text{「どちらかという不満」の回答者数} \times -1) + (\text{「不満」の回答者数} \times -2) \end{array} \right\}}{\text{回答者数 (「全体」 - 「無回答」)}}$$

$$\text{必要性評価点} = \frac{\left\{ \begin{array}{l} (\text{「とても必要」の回答者数} \times 2) + (\text{「必要」の回答者数} \times 1) \\ + (\text{「どちらかという必要」の回答者数} \times -1) + (\text{「あまり必要でない」の回答者数} \times -2) \end{array} \right\}}{\text{回答者数 (「全体」 - 「無回答」)}}$$

この計算方法では、評価点は+2.0点～-2.0点の間に分布し、中間点の0.0点を境に、+2.0点に近くなるほど満足度・必要性は高くなり、逆に、-2.0点に近くなるほど満足度・必要性が低くなる。

満足度と必要性の加重平均値の上位5項目と下位5項目は、以下のようになっている。

(表1-8-1)

『満足度評価点』上位5項目

①みどりの保全と創出	(0.76)
②健康づくりの推進	(0.73)
③都市農業の振興と都市農地の保全	(0.62)
④子育て支援	(0.57)
⑤循環型社会づくり	(0.56)

『満足度評価点』下位5項目

①交通安全対策	(-0.23)
②区内企業の活性化・魅力ある商店街づくり	(0.03)
③駅周辺のまちづくり	(0.08)
④エネルギー政策の展開	(0.10)
⑤観光の推進	(0.13)

『必要性評価点』上位5項目

①子育て支援	(1.37)
②医療環境の充実	(1.36)
③学校教育	(1.35)
④災害に強い安全なまちづくり	(1.33)
④交通安全対策	(1.33)

『必要性評価点』下位5項目

①観光の推進	(0.12)
②地域活動の活性化と多文化共生社会の実現	(0.28)
③平和と人権の尊重、男女共同参画の推進	(0.36)
④文化・生涯学習・スポーツの振興	(0.49)
⑤都市農業の振興と都市農地の保全	(0.52)

表 1-8-1 施策の満足度と必要性（加重平均値）－地区別

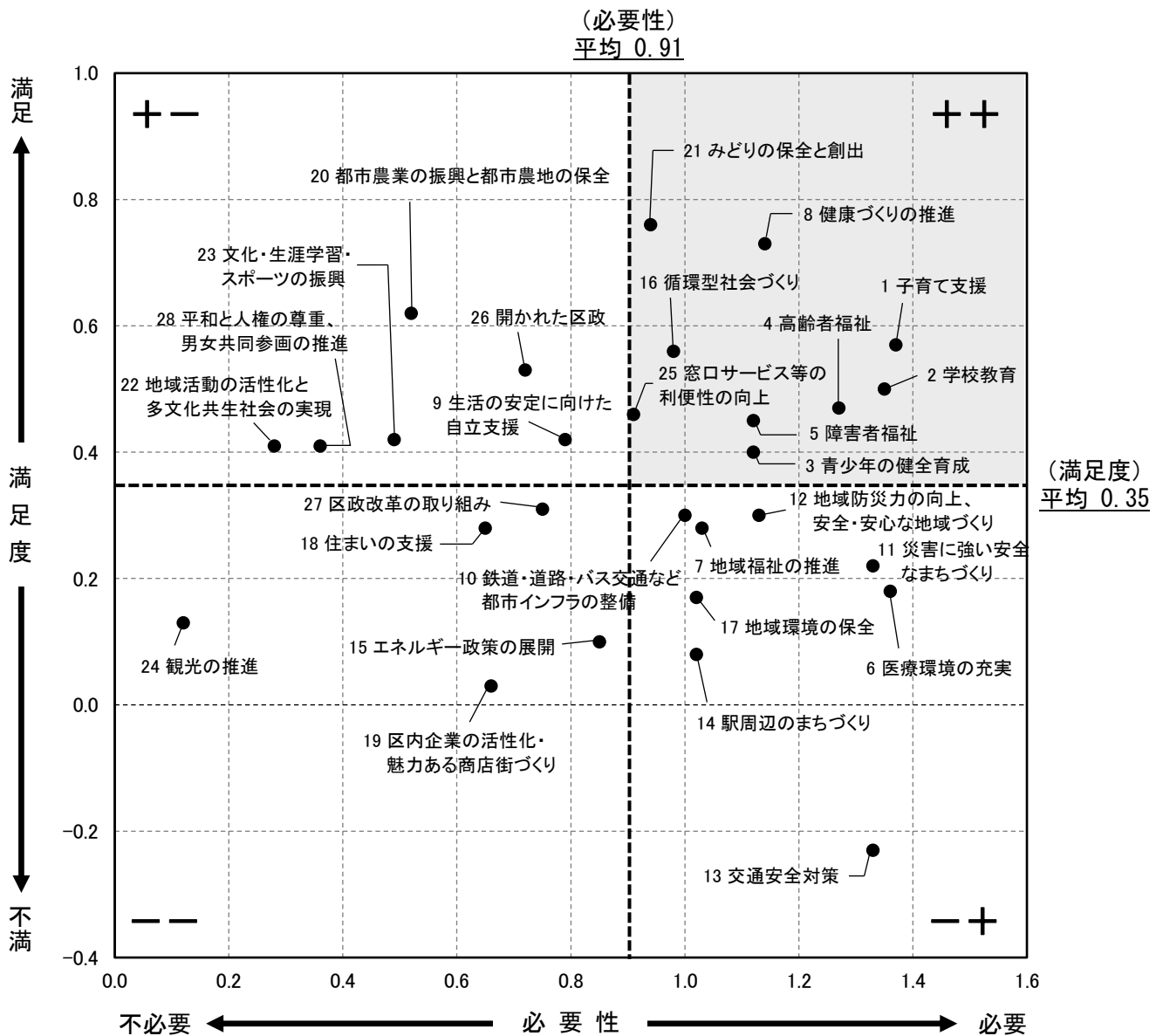
		満足度評価点					必要性評価点				
		区 全 体	I 地 区	II 地 区	III 地 区	IV 地 区	区 全 体	I 地 区	II 地 区	III 地 区	IV 地 区
子ども・子育て	1 子育て支援	0.57	0.49	0.54	0.67	0.62	1.37	1.33	1.43	1.34	1.40
	2 学校教育	0.50	0.52	0.45	0.50	0.55	1.35	1.29	1.41	1.31	1.38
	3 青少年の健全育成	0.40	0.40	0.35	0.37	0.49	1.12	1.09	1.17	1.11	1.11
福祉・医療・健康	4 高齢者福祉	0.47	0.46	0.42	0.45	0.55	1.27	1.28	1.21	1.27	1.32
	5 障害者福祉	0.45	0.41	0.37	0.42	0.58	1.12	1.11	1.14	1.06	1.16
	6 医療環境の充実	0.18	0.18	0.07	0.26	0.23	1.36	1.34	1.39	1.34	1.35
	7 地域福祉の推進	0.28	0.27	0.11	0.40	0.38	1.03	1.04	1.10	0.92	1.00
	8 健康づくりの推進	0.73	0.70	0.65	0.76	0.83	1.14	1.09	1.21	1.10	1.11
	9 生活の安定に向けた自立支援	0.42	0.44	0.30	0.45	0.51	0.79	0.84	0.76	0.85	0.70
都市基盤整備	10 鉄道・道路・バス交通など 都市インフラの整備	0.30	0.76	0.02	-0.13	0.49	1.00	1.02	1.09	1.27	0.66
	11 災害に強い安全なまちづくり	0.22	0.25	0.14	0.10	0.42	1.33	1.37	1.34	1.32	1.28
	12 地域防災力の向上、安全・安心な 地域づくり	0.30	0.31	0.23	0.27	0.43	1.13	1.15	1.11	1.09	1.14
	13 交通安全対策	-0.23	-0.11	-0.39	-0.51	0.09	1.33	1.34	1.37	1.35	1.27
	14 駅周辺のまちづくり	0.08	0.23	-0.12	-0.05	0.31	1.02	1.04	1.05	0.99	0.98
	15 エネルギー政策の展開	0.10	0.09	0.10	0.03	0.20	0.85	0.92	0.83	0.79	0.83
	16 循環型社会づくり	0.56	0.51	0.64	0.46	0.61	0.98	0.99	0.95	1.02	0.95
	17 地域環境の保全	0.17	0.09	0.29	0.18	0.14	1.02	1.08	1.04	0.89	1.04
練馬区の魅力	18 住まいの支援	0.28	0.26	0.25	0.24	0.37	0.65	0.73	0.69	0.57	0.60
	19 区内企業の活性化・魅力ある商店街 づくり	0.03	0.00	-0.03	0.11	0.08	0.66	0.75	0.63	0.63	0.63
	20 都市農業の振興と都市農地の保全	0.62	0.52	0.68	0.64	0.67	0.52	0.43	0.43	0.65	0.57
	21 みどりの保全と創出	0.76	0.63	0.73	0.74	0.91	0.94	0.79	0.96	1.00	0.99
	22 地域活動の活性化と多文化共生社会 の実現	0.41	0.25	0.32	0.50	0.62	0.28	0.27	0.22	0.29	0.33
	23 文化・生涯学習・スポーツの振興	0.42	0.31	0.27	0.55	0.57	0.49	0.56	0.56	0.44	0.40
区政運営	24 観光の推進	0.13	-0.05	0.09	0.24	0.27	0.12	0.17	0.07	0.11	0.15
	25 窓口サービス等の利便性の向上	0.46	0.42	0.45	0.56	0.46	0.91	0.94	0.93	0.84	0.89
	26 開かれた区政	0.53	0.56	0.49	0.57	0.54	0.72	0.74	0.74	0.74	0.64
	27 区政改革の取り組み	0.31	0.23	0.28	0.40	0.37	0.75	0.76	0.77	0.74	0.70
	28 平和と人権の尊重、男女共同参画 の推進	0.41	0.29	0.41	0.47	0.49	0.36	0.42	0.31	0.41	0.30

満足度と必要性の相関

満足度と必要性の相関を加重平均値でみると、下の図1-8-3のようになっている。
この相関図では、●の点が上に分布するほど満足度が高く、右に分布するほど必要性が高くなる。

さらに、満足度の平均（0.27点）および必要性の平均（0.91点）を相関図上に点線を引いて4つに分割し、平均より上位であるか下位であるかが明確になるように示した。

図1-8-3 施策の満足度と必要性（加重平均値）の相関



これによると、満足度も必要性も高い（++：網かけ部分）のは、「健康づくりの推進」「子育て支援」「学校教育」「高齢者福祉」などである。

満足度が高いが必要性が低い（+-）のは、「都市農業の振興と都市農地の保全」「文化・生涯学習・スポーツの振興」「平和と人権の尊重、男女共同参画の推進」などである。

満足度が低いが必要性が高い（-+）のは、「交通安全対策」「医療環境の充実」「災害に強い安全なまちづくり」「駅周辺のまちづくり」「地域環境の保全」などである。

満足度も必要性も低い（--）のは、「観光の推進」「区内企業の活性化・魅力ある商店街づくり」「エネルギー政策の展開」などである。（図1-8-3）

満足度の区全体と地区別比較

【I地区（〒176）】

全体と比較して満足度が高いのは「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」（+0.46点）、「駅周辺のまちづくり」（+0.15点）「交通安全対策」（+0.12点）などである。

満足度が低いのは「観光の推進」（-0.18点）、「地域活動の活性化と多文化共生社会の実現」（-0.16点）、「みどりの保全と創出」（-0.13点）などである。（図1-8-4）

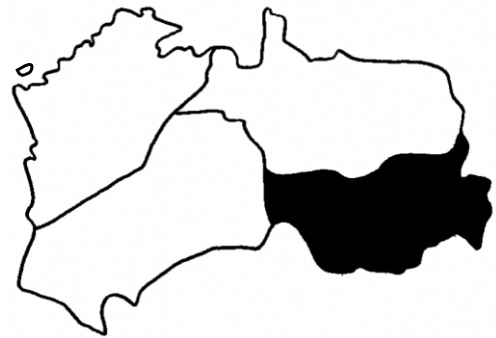
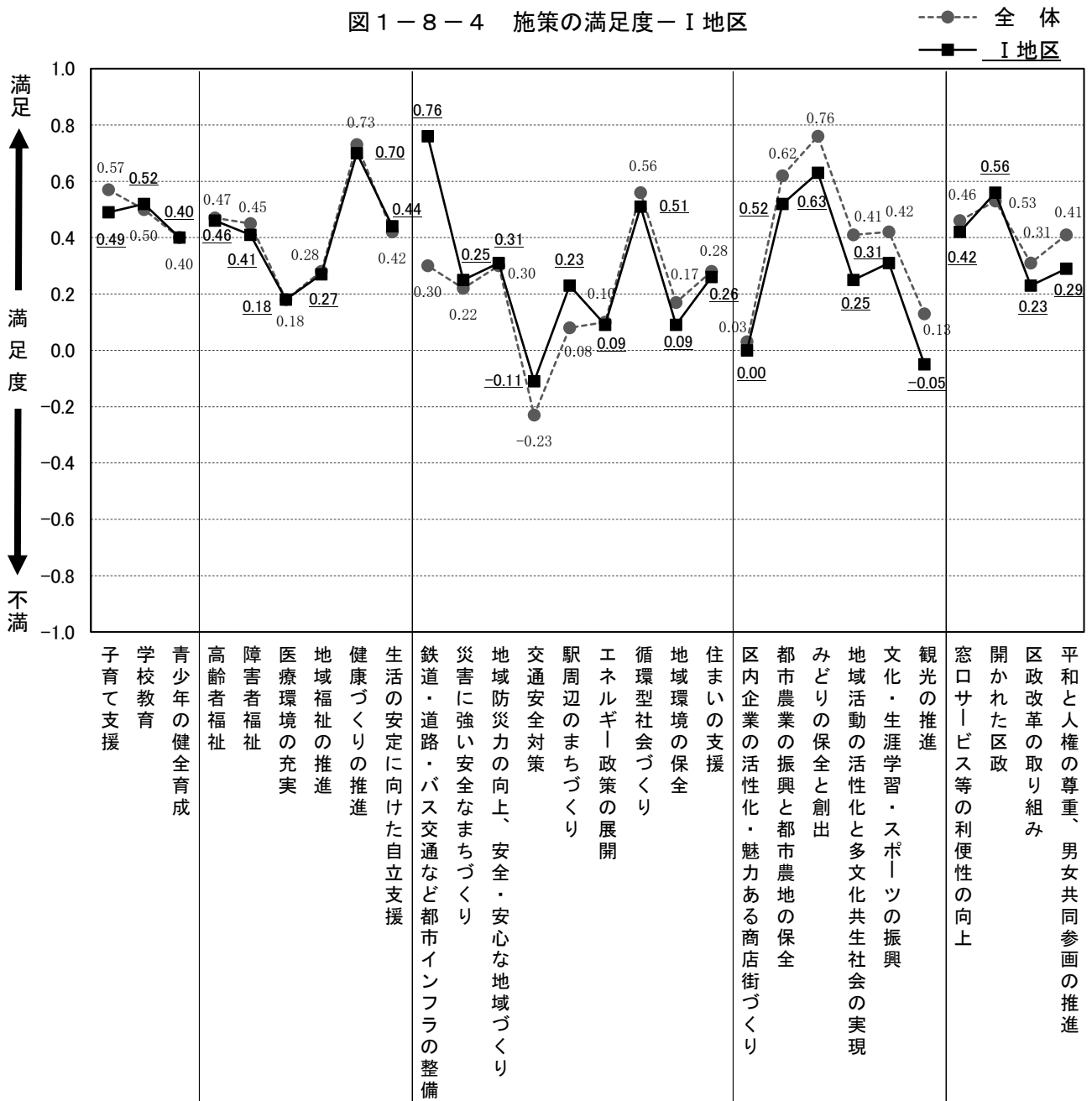


図1-8-4 施策の満足度－I地区



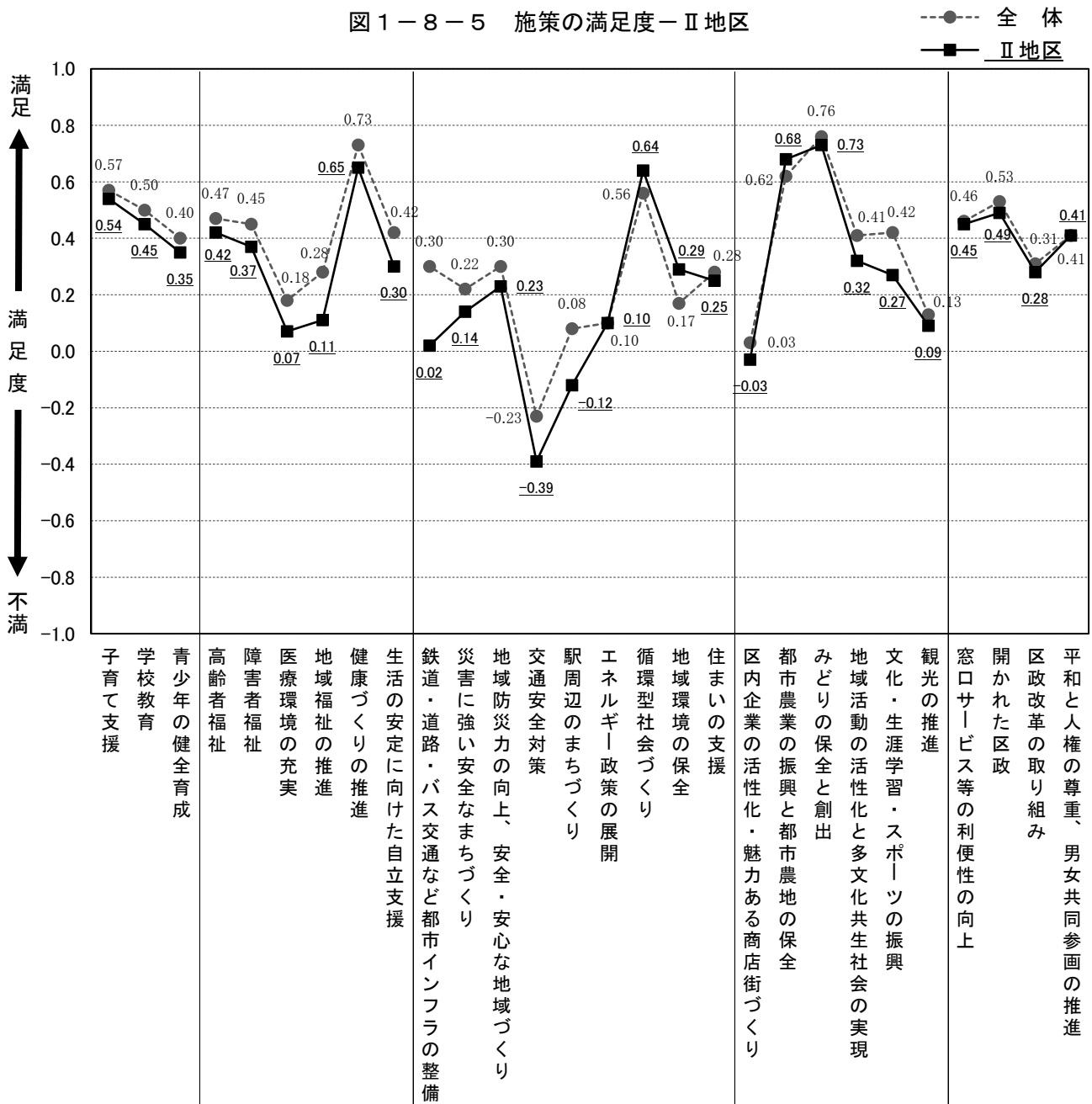
【Ⅱ地区（〒177）】

全体と比較して満足度が高いのは「地域環境の保全」（+0.12点）、「循環型社会づくり」（+0.08点）、「都市農業の振興と都市農地の保全」（+0.06点）などである。

満足度が低いのは「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」（-0.28点）、「駅周辺のまちづくり」（-0.20点）、「地域福祉の推進」（-0.17点）、「交通安全対策」（-0.16点）などである。（図1-8-5）



図1-8-5 施策の満足度－Ⅱ地区



【Ⅲ地区（〒178）】

全体と比較して満足度が高いのは「文化・生涯学習・スポーツの振興」（+0.13点）、「地域福祉の推進」（+0.12点）、「観光の推進」（+0.11点）などである。

満足度が低いのは「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」（-0.43点）、「交通安全対策」（-0.28点）、「駅周辺のまちづくり」（-0.13点）、「災害に強い安全なまちづくり」（-0.12点）などである。（図1-8-6）

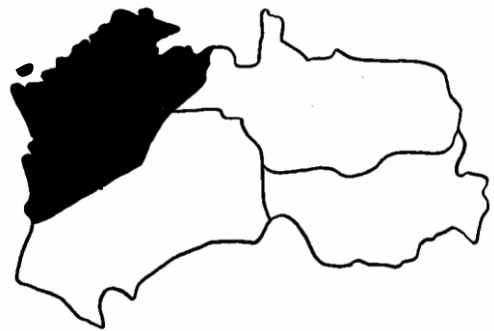
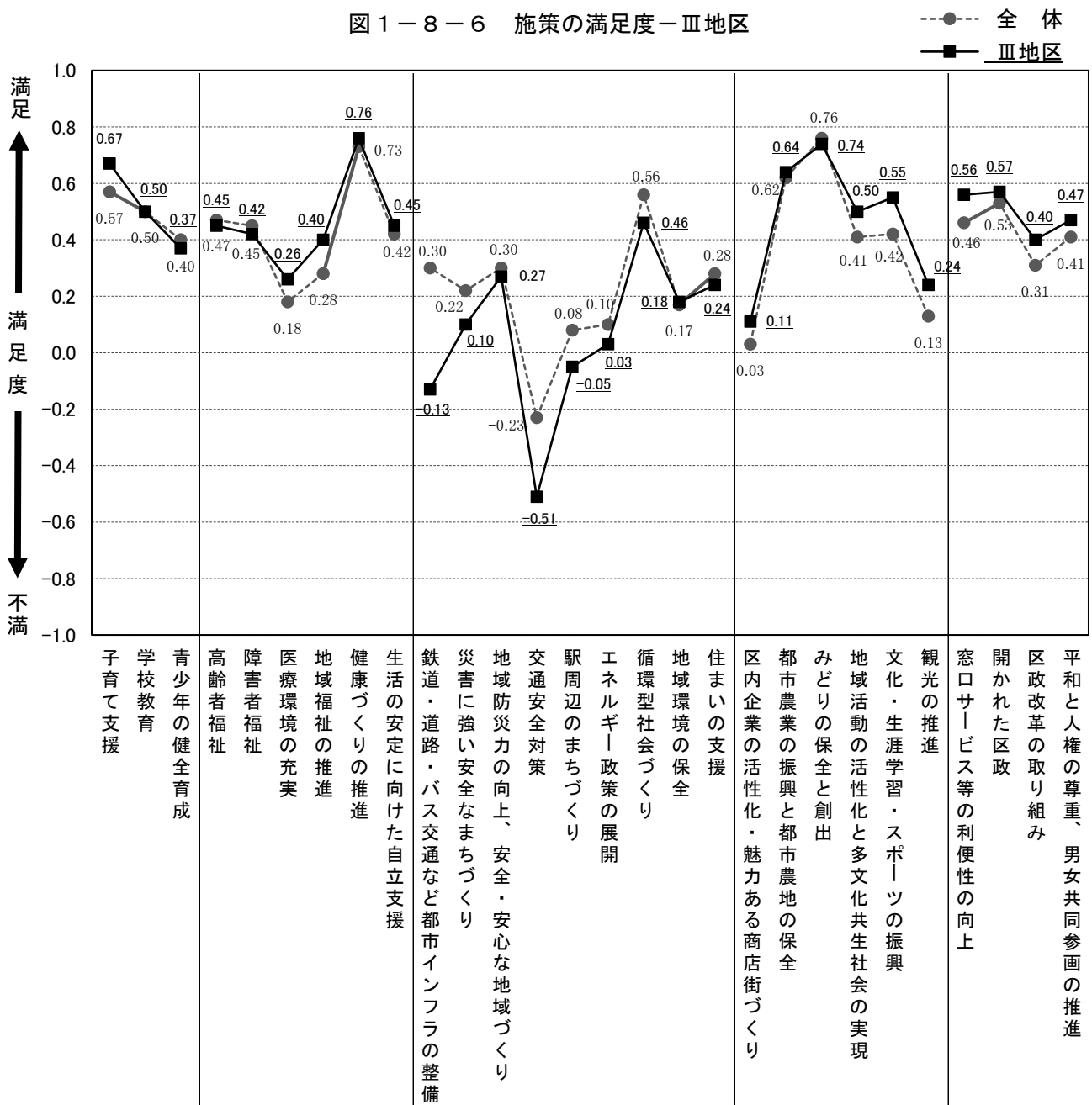


図1-8-6 施策の満足度－Ⅲ地区



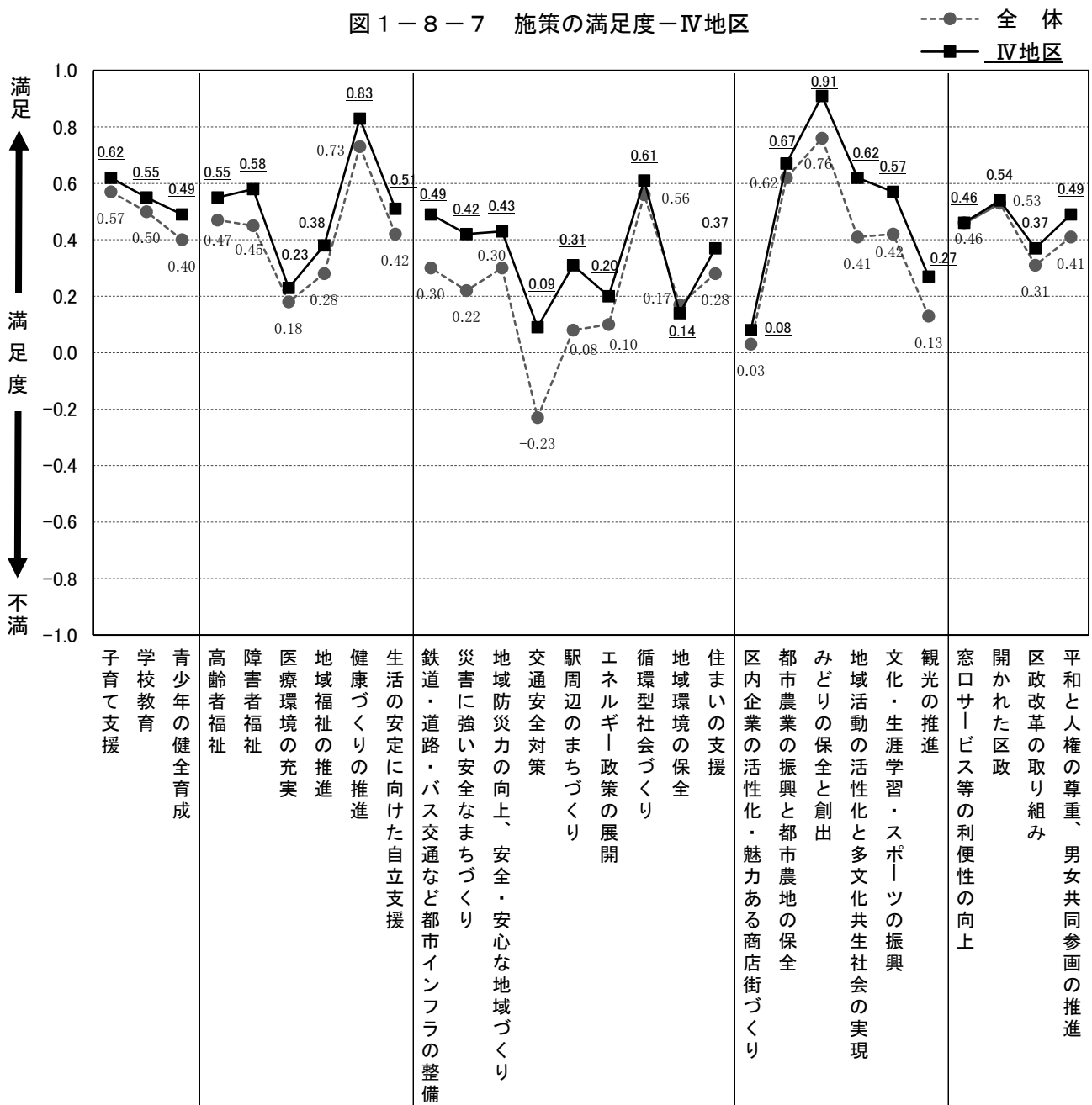
【IV地区（〒179）】

全体と比較して満足度が高いのは「交通安全対策」（+0.32点）、「駅周辺のまちづくり」（+0.23点）、「地域活動の活性化と多文化共生社会の実現」（+0.21点）、「災害に強い安全なまちづくり」（+0.20点）、「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」（+0.19点）などである。

満足度が低いのは「地域環境の保全」（-0.03点）である。（図1-8-7）



図1-8-7 施策の満足度-IV地区

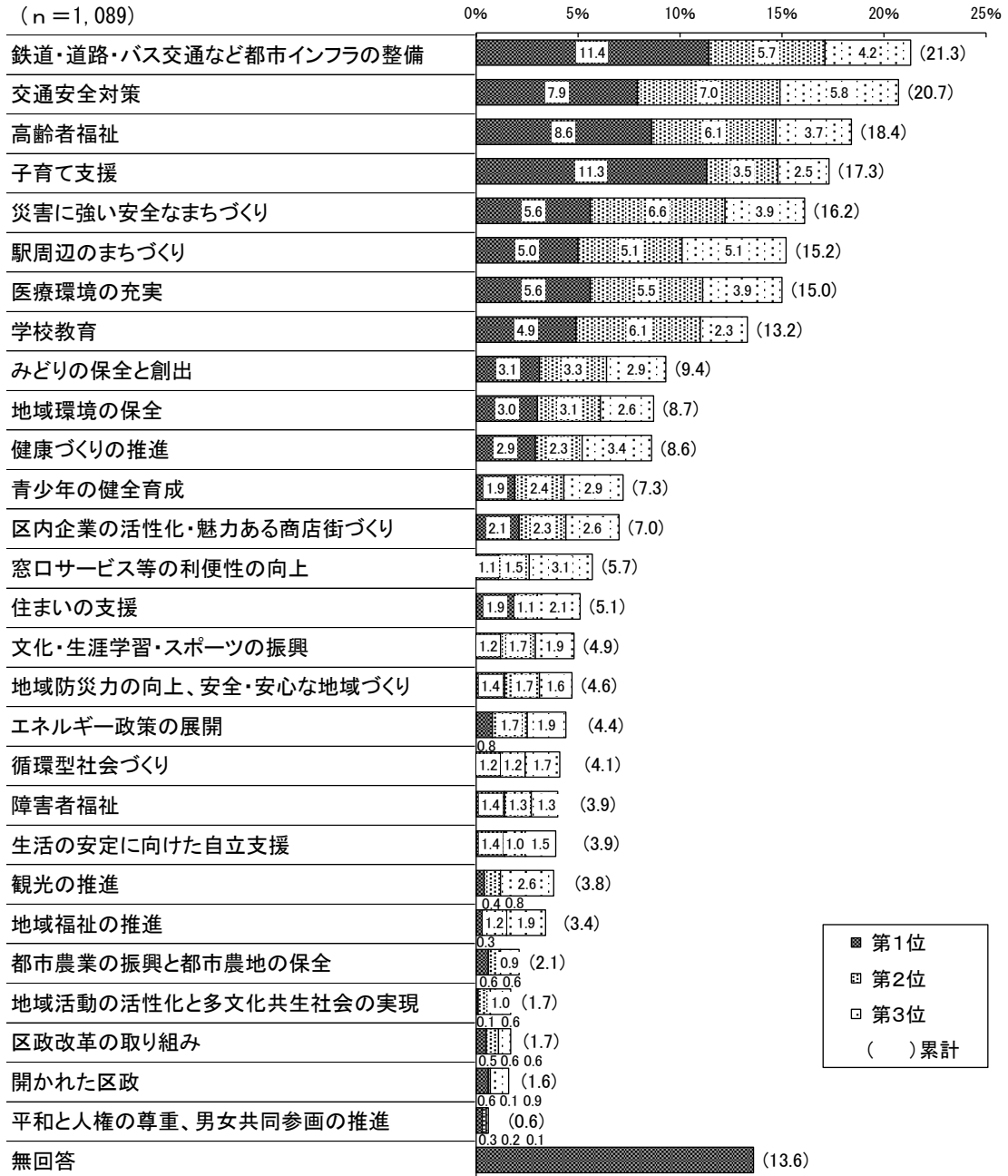


(9) 施策への要望

◇「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」「交通安全対策」が2割台前半

問9 練馬区の施策（問8の1～28）の中で、あなたが特に力を入れてほしいと思うものを、第1位、第2位、第3位と順位をつけて、記入してください。

図1-9-1 施策への要望



特に力を入れてほしい施策を第1位から第3位まで挙げてもらった。その3つの累計をみると、「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」(21.3%)が2割を超えて最も多く、次いで「交通安全対策」(20.7%)、「高齢者福祉」(18.4%)、「子育て支援」(17.3%)、「災害に強い安全なまちづくり」(16.2%)などの順となっている。

(図1-9-1)

表 1-9-1 施策への要望一過年度比較

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
令和元年度	鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備	交通安全対策	高齢者福祉	子育て支援	災害に強い安全なまちづくり
平成30年度	鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備	交通安全対策	医療環境の充実	高齢者福祉	子育て支援
平成29年度	鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備	交通安全対策	子育て支援	高齢者福祉	医療環境の充実
平成28年度	鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備	交通安全対策	高齢者福祉	子育て支援	駅周辺のまちづくり
平成27年度	鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備	高齢者福祉	交通安全対策	子育て支援	医療環境の充実
平成26年度	交通安全対策	高齢者福祉	子育て支援	医療体制の確立	道路や公共交通の整備
平成25年度	医療体制の確立	高齢者福祉	防犯・防火・防災	交通安全対策	子育て支援
平成24年度	防犯・防火・防災	交通安全対策	災害に強く生活しやすいまちづくり	子育て支援	医療体制の確立
平成23年度	子育て支援	防犯・防火・防災	災害に強く生活しやすいまちづくり	医療体制の確立	高齢者福祉
平成22年度	医療体制の確立	高齢者福祉	子育て支援	交通安全対策	防犯・防火・防災

過去の調査と比較すると、^{注1}「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」が5年連続で第1位、「交通安全対策」が4年連続で第2位となっており、「高齢者福祉」「子育て支援」は5年連続で5位以内に入っている。（表1-9-1）

注1) 「医療環境の充実」は平成26年度までは「医療体制の確立」としていた。
「地域福祉の推進」は平成26年度までは「地域で支える福祉」としていた。
「健康づくりの推進」は平成26年度までは「健康づくり」としていた。
「生活の安定に向けた自立支援」は平成26年度までは「生活の安定のための支援」としていた。
「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」は平成26年度までは「道路や公共交通(鉄道やバスなど)の整備」としていた。
「災害に強い安全なまちづくり」は平成26年度までは「災害に強く生活しやすいまちづくり」としていた。
「地域防災力の向上、安全・安心な地域づくり」は平成26年度までは「防犯・防火・防災」としていた。
「住まいの支援」は平成26年度までは「公共住宅の整備や住まいづくりの情報提供」としていた。
「区内企業の活性化・魅力ある商店街づくり」は平成26年度までは「中小企業・商店街の振興」としていた。
「都市農業の振興と都市農地の保全」は平成26年度までは「都市農業の振興・農地の保全」としていた。
「みどりの保全と創出」は平成26年度までは「みどりの保全と創造」としていた。
「地域活動の活性化と多文化共生社会の実現」は平成26年度までは「地域活動の支援」「地域の国際交流」としていた。
「文化・生涯学習・スポーツの振興」は平成26年度までは「文化芸術・生涯学習活動、スポーツ活動の支援」としていた。
「窓口サービス等の利便性の向上」は平成26年度までは「区の窓口サービスの向上」としていた。
「開かれた区政」は平成26年度までは「開かれた行政運営」としていた。
「区政改革の取り組み」は平成27年度は「持続可能な行財政改革の取組」、平成26年度までは「行財政改革の取組」としていた。
「平和と人権の尊重、男女共同参画の推進」は平成26年度までは「平和と人権の尊重や男女共同参画の推進」としていた。

注2) 「駅周辺のまちづくり」「エネルギー政策の展開」は平成27年度から追加された選択肢。

表 1 - 9 - 2 施策への要望—地区別／性別／性・年齢別

(%)

		AA (50%以上)	A (40~50%未満)	B (30~40%未満)	C (20~30%未満)	
全 体					・鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 21.3 ・交通安全対策 20.7	
地区別	I 地区 (〒176)				・高齢者福祉 21.5 ・災害に強い安全なまちづくり 20.3	
	II 地区 (〒177)				・鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 25.2 ・交通安全対策 23.5	
	III 地区 (〒178)			・鉄道・道路・バス交通 など都市インフラの 整備 31.5	・交通安全対策 26.8	
	IV 地区 (〒179)				・高齢者福祉 20.4 ・子育て支援 20.1	
性別	男 性				・鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 23.8 ・交通安全対策 20.8	
	女 性				・交通安全対策 21.0 ・高齢者福祉 20.4	
性・年齢別	男	20 歳代				・子育て支援 28.1 ・学校教育 25.0 ・みどりの保全と創出 25.0 ・鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 21.9
		30 歳代			・子育て支援 35.1 ・鉄道・道路・バス交通 など都市インフラの 整備 35.1	・交通安全対策 24.6 ・学校教育 22.8 ・災害に強い安全なまちづくり 21.1
		40 歳代			・鉄道・道路・バス交通 など都市インフラの 整備 35.4	・駅周辺のまちづくり 25.3
		50 歳代				・交通安全対策 25.3 ・高齢者福祉 23.1
		60 歳代				・医療環境の充実 21.2
		70歳以上				・交通安全対策 20.5
		20 歳代				・鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 24.0 ・交通安全対策 22.0 ・健康づくりの推進 20.0
	女	30 歳代		・子育て支援 49.5		・学校教育 25.8 ・交通安全対策 21.6 ・鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 20.6
		40 歳代				・交通安全対策 28.9 ・学校教育 24.2 ・鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 23.4 ・子育て支援 20.3
		50 歳代				・災害に強い安全なまちづくり 28.9 ・高齢者福祉 25.6 ・鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備 24.8 ・交通安全対策 21.5
		60 歳代				・医療環境の充実 26.5 ・高齢者福祉 20.6
		70歳以上				・高齢者福祉 28.6

次に、要望の大きさを、比率に応じてAA（50%以上）、A（40～50%未満）、B（30～40%未満）、C（20～30%未満）の4つのランクに分けて、地区別、性別、性・年齢別に分類した。その結果が表1-9-2である。

地区別にみると、各地区ともにAAランク、Aランクに入る施策はない。

Bランク以下をみると、「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」がⅢ地区（〒178）でBランク、Ⅱ地区（〒177）でCランクとなっている。

性別にみると、男女ともAAランク、Aランク、Bランクに入る施策はない。

「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」「交通安全対策」が男性でCランク、「交通安全対策」「高齢者福祉」が女性でCランクとなっている。

性・年齢別にみると、「子育て支援」は女性30歳代でAランク、男性30歳代でBランク、男性20歳代、女性40歳代でCランクとなっている。

「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」は男性30歳代と40歳代でBランク、男性20歳代、女性20歳代から50歳代でCランクとなっている。

「学校教育」は男性20歳代と30歳代、女性30歳代と40歳代でCランクとなっている。

「交通安全対策」は男性30歳代と50歳代と70歳以上、女性20歳代から50歳代でCランクとなっている。

「高齢者福祉」は男性50歳代、女性50歳代から70歳以上でCランクとなっている。

「医療環境の充実」は男性60歳代、女性60歳代でCランクとなっている。

「災害に強い安全なまちづくり」は男性30歳代、女性50歳代でCランクとなっている。

「駅周辺のまちづくり」は男性30歳代でCランクとなっている。

「みどりの保全と創出」は男性20歳代でCランクとなっている。

（表1-9-2）

《 施策の満足度・要望（住みよいー満足度評価） 》

練馬区の住みごころ（問2・55ページ参照）の評価は、28項目の施策の満足度（問8・80～82ページ参照）および施策への要望（問9・92ページ参照）とどのような関係があるのかをみる。

練馬区が「住みよい」と答えた方（450人）の施策の満足度（問8）をみると、「満足」および「どちらかという満足」の2項目を合わせた『満足評価』と、「不満」および「どちらかという不満」の2項目を合わせた『不満評価』のそれぞれ上位5項目は、以下のようになっている。（図1-9-2）

『満足評価』上位5項目		『不満評価』上位5項目	
①みどりの保全と創出	(83.6%)	①交通安全対策	(44.7%)
②健康づくりの推進	(83.1%)	②区内企業の活性化・魅力ある商店街づくり	
③循環型社会づくり	(79.6%)		(37.3%)
④開かれた区政	(78.2%)	③エネルギー政策の展開	(31.8%)
⑤都市農業の振興と都市農地の保全		④地域環境の保全	(31.1%)
	(77.3%)	⑤駅周辺のまちづくり	(30.7%)

図 1-9-2 練馬区の住みごちが「住みよい」と答えた方の施策の満足度

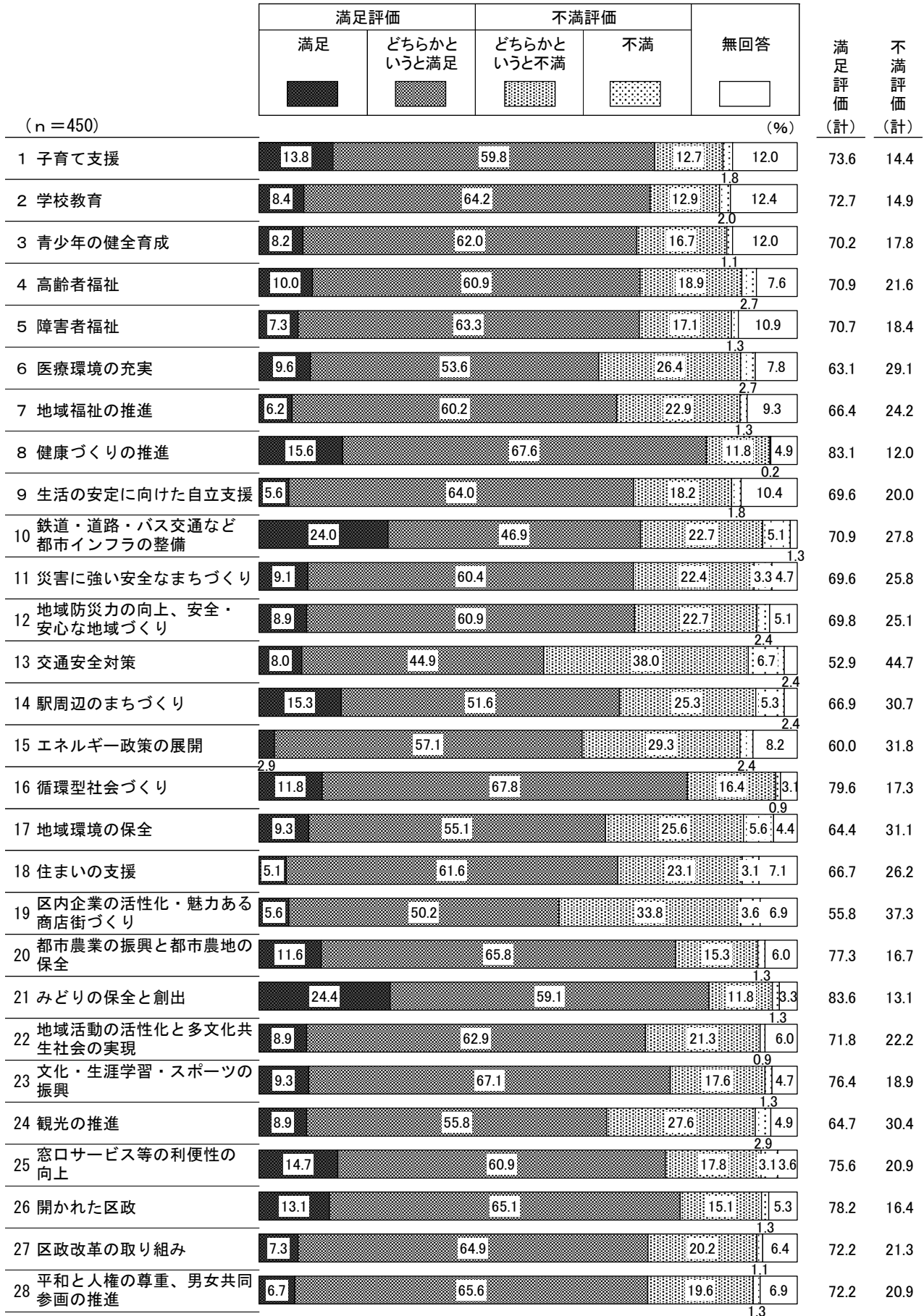
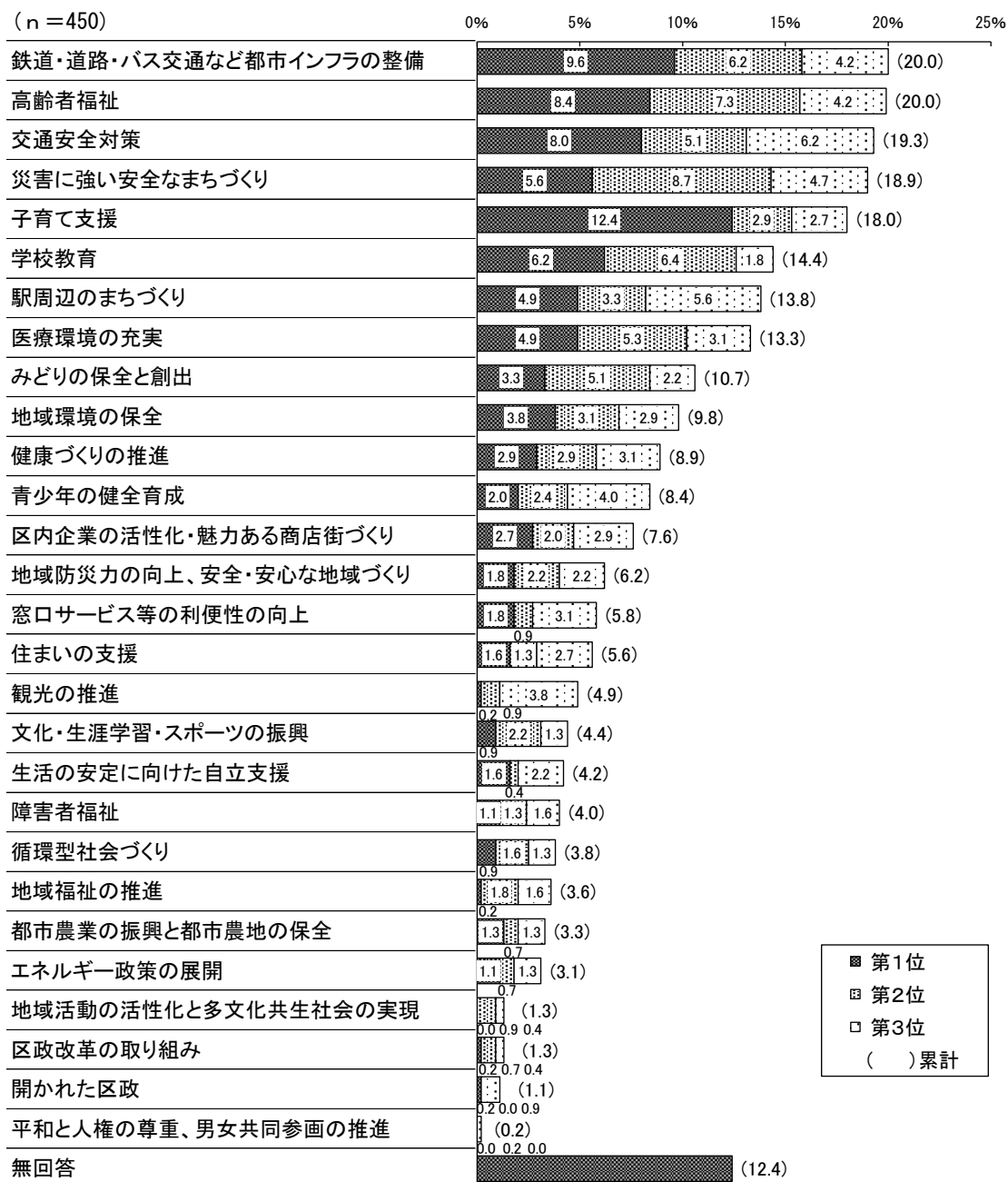


図 1-9-3 練馬区の住みごこちが「住みよい」と答えた方の施策への要望



練馬区が「住みよい」と答えた方（450人）の施策への要望（問9）をみると、第1位から第3位までの累計は、「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」（20.0%）、「高齢者福祉」（20.0%）、「交通安全対策」（19.3%）が2割と多く、次い、「災害に強い安全なまちづくり」（18.9%）、「子育て支援」（18.0%）などの順となっている。

《 施策の満足度・要望（住みにくいー満足度評価） 》

次に、練馬区が「あまり住みよくない」または「住みにくい」と答えた方（45人）の施策の満足度（問8）をみると、『満足評価』と『不満評価』のそれぞれ上位5項目は、以下のようになっている。（図1-9-4）

『満足評価』上位5項目		『不満評価』上位5項目	
①健康づくりの推進	(51.1%)	①交通安全対策	(80.0%)
②みどりの保全と創出	(48.9%)	①駅周辺のまちづくり	(80.0%)
③開かれた区政	(46.7%)	③災害に強い安全なまちづくり	(68.9%)
④循環型社会づくり	(44.4%)	④区内企業の活性化・魅力ある商店街づくり	(66.7%)
④都市農業の振興と都市農地の保全	(44.4%)	⑤地域防災力の向上、安全・安心な地域づくり	(64.4%)
		⑤地域環境の保全	(64.4%)

図1-9-4 練馬区の住みごちが「あまり住みよくない」「住みにくい」と答えた方の施策の満足度

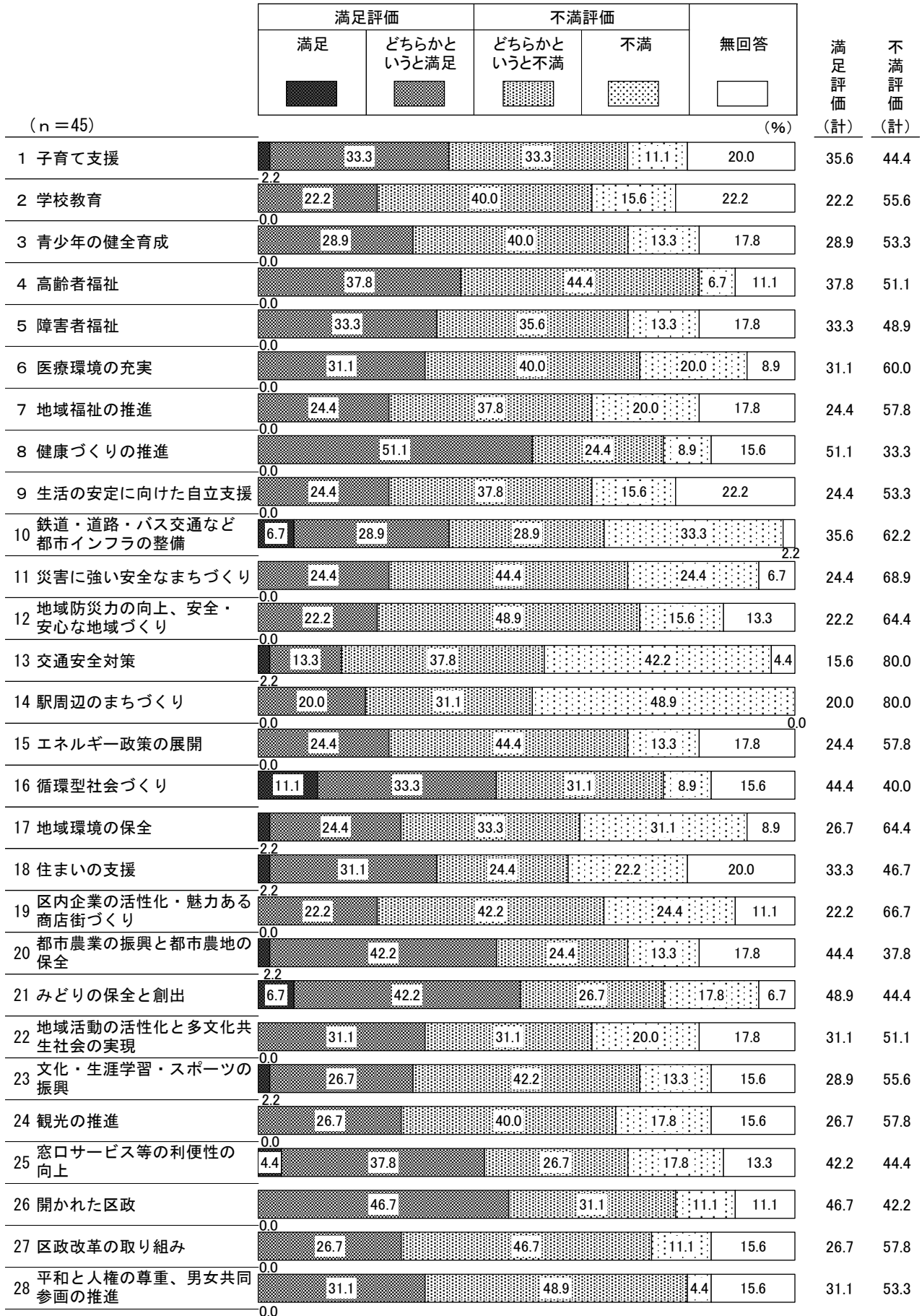
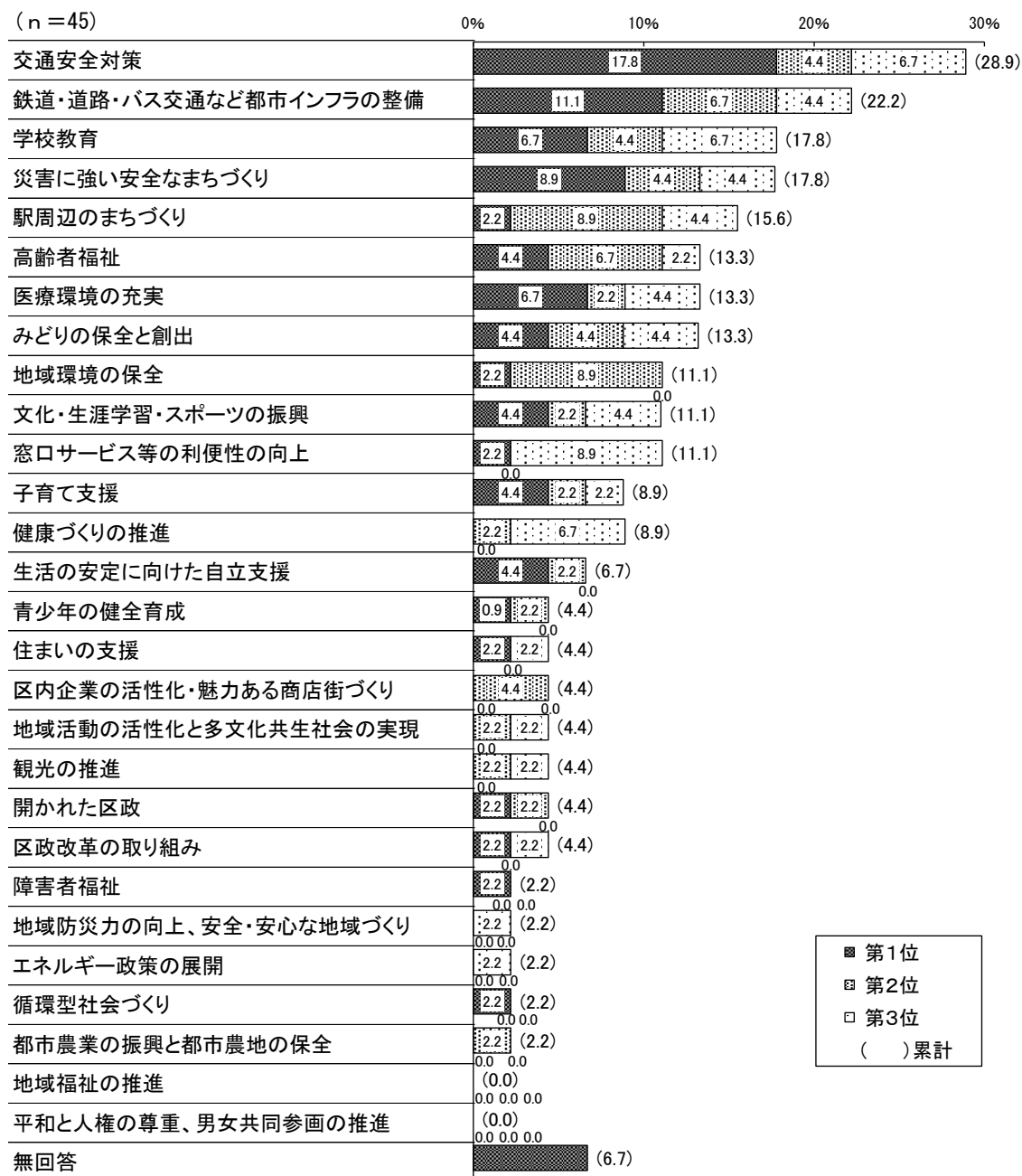


図1-9-5 練馬区の住みごちが「あまり住みよくない」「住みにくい」と答えた方の施策への要望



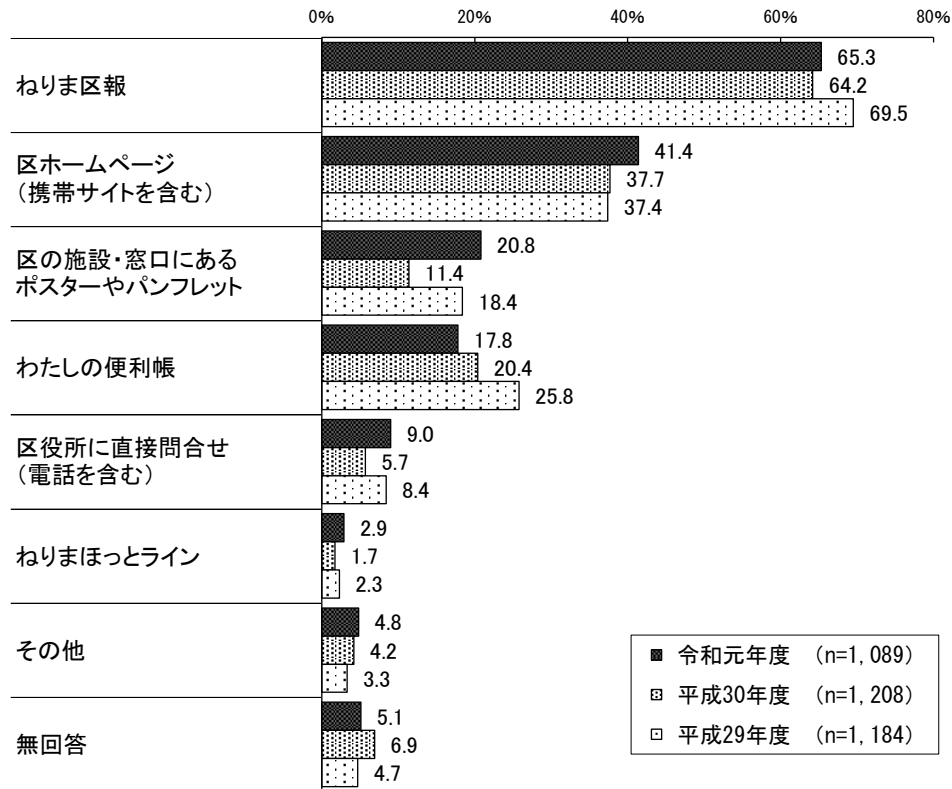
練馬区が「あまり住みよくない」または「住みにくい」と答えた方（45人）の施策への要望（問9）をみると、第1位から第3位までの累計は、「交通安全対策」（28.9%）が3割近くと最も多く、次いで「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」（22.2%）、「学校教育」（17.8%）、「災害に強い安全なまちづくり」（17.8%）、「駅周辺のまちづくり」（15.6%）などの順となっている。（図1-9-5）

(10) 区政情報の入手先

◇「ねりま区報」が6割台半ば

問13 あなたは、区政の情報を主に何から入手していますか。
次の中から選んでください。(〇は2つまで)

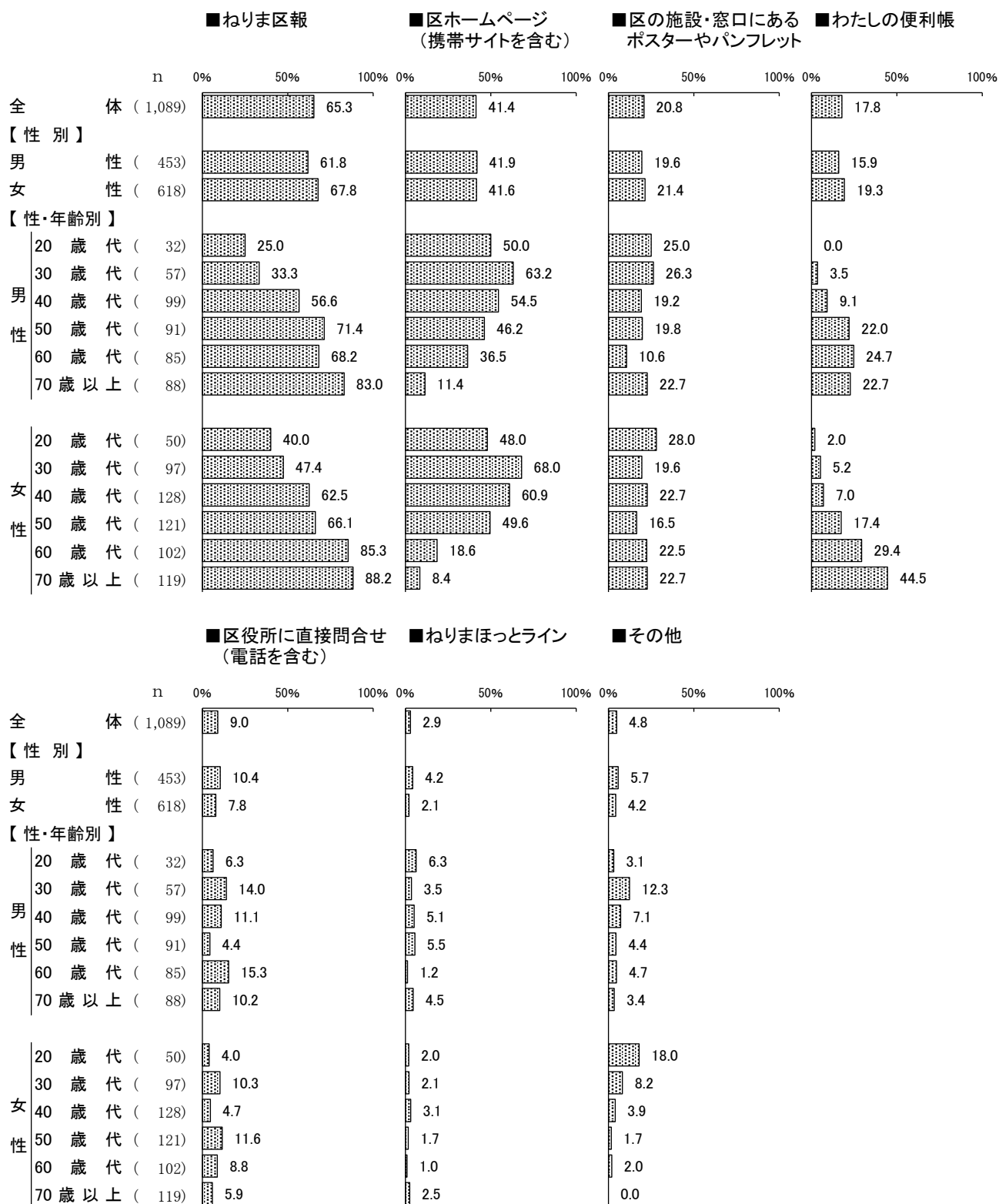
図1-10-1 区政情報の入手先



区政の情報を主に何から入手しているか聞いたところ、「ねりま区報」(65.3%)が6割台半ばと最も多く、次いで「区ホームページ(携帯サイトを含む)」(41.4%)、「区の施設・窓口にあるポスターやパンフレット」(20.8%)、「わたしの便利帳」(17.8%)、「区役所に直接問合せ(電話を含む)」(9.0%)などの順となっている。

過去の調査と比較すると、前回調査(平成30年度)より「区の施設・窓口にあるポスターやパンフレット」は9.4ポイント、「区ホームページ(携帯サイトを含む)」は3.7ポイント、「区役所に直接問合せ(電話を含む)」は3.3ポイント増加している。(図1-10-1)

図 1-10-2 区政情報の入手先—性別／性・年齢別



性別にみると、「ねりま区報」は女性の方が6.0ポイント高く、7割近くとなっており、「わたしの便利帳」は女性の方が3.4ポイント高く、約2割となっている。

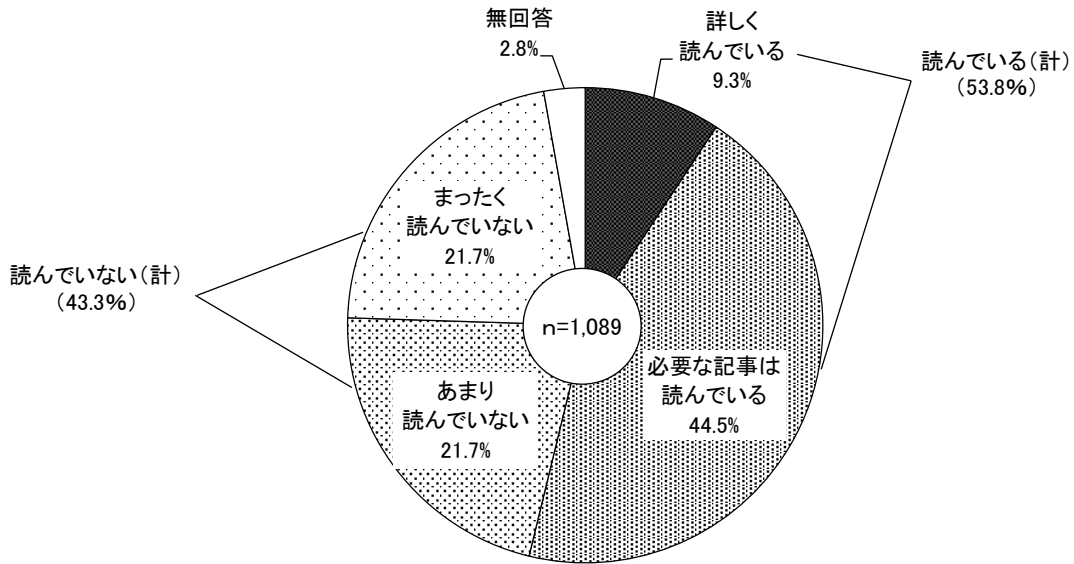
性・年齢別にみると、「ねりま区報」は男性70歳以上、女性60歳代・70歳以上で8割を超えており、男女ともに概ね年代が上がるほど割合が多くなっている。「区ホームページ（携帯サイトを含む）」は男性30歳代、女性30歳代・40歳代で6割を超えており、男女ともに30歳代以上では年代が上がるほど割合が少なくなっている。（図1-10-2）

(11) 『ねりま区報』の閲読度

◇『読んでいる』が5割を超える

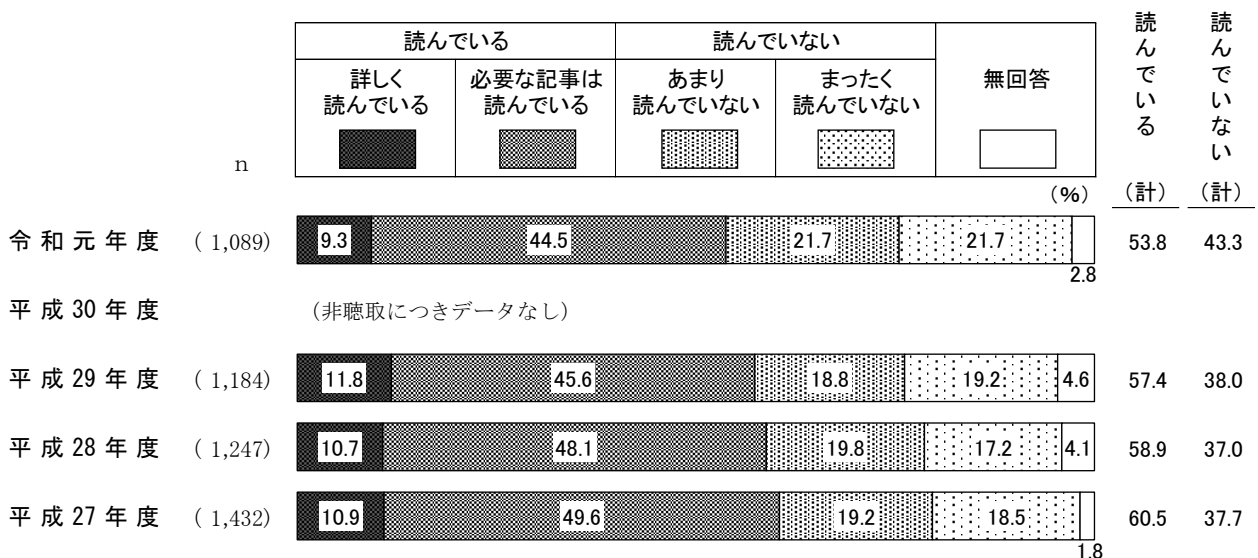
問14 あなたは、『ねりま区報』をどの程度読んでいますか。

図1-11-1 『ねりま区報』の閲読度



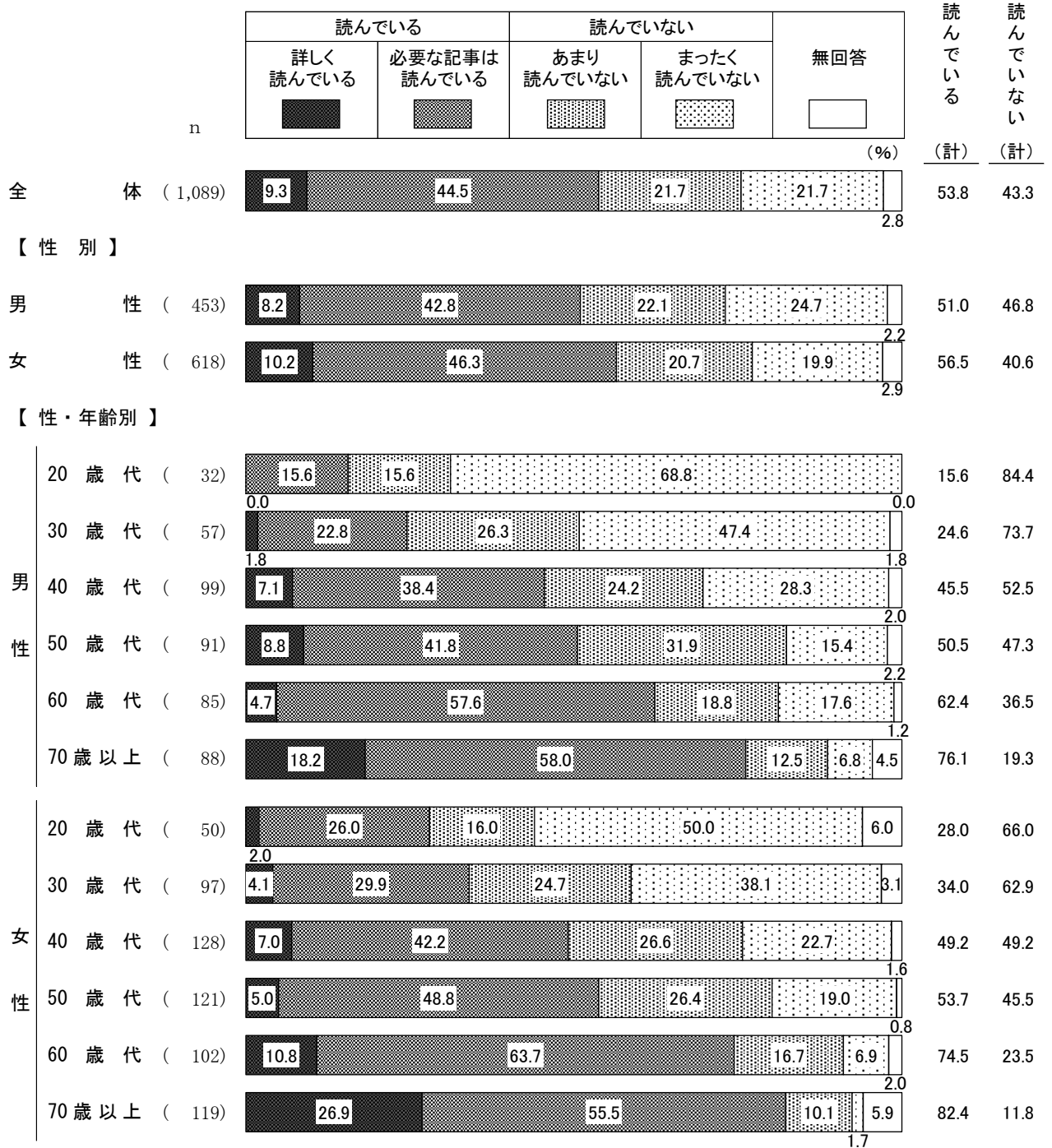
『ねりま区報』をどの程度読んでいるか聞いたところ、「詳しく読んでいる」(9.3%)と「必要な記事は読んでいる」(44.5%)を合わせた『読んでいる』(53.8%)が5割を超えている。一方、「あまり読んでいない」(21.7%)と「まったく読んでいない」(21.7%)を合わせた『読んでいない』(43.3%)は4割前半となっている。(図1-11-1)

図1-11-2 『ねりま区報』の閲読度一過年度比較



過去の調査と比較すると、「詳しく読んでいる」は平成27年度以降約1割で推移している。『読んでいる』は前回調査(平成29年度)より3.6ポイント減少している。(図1-11-2)

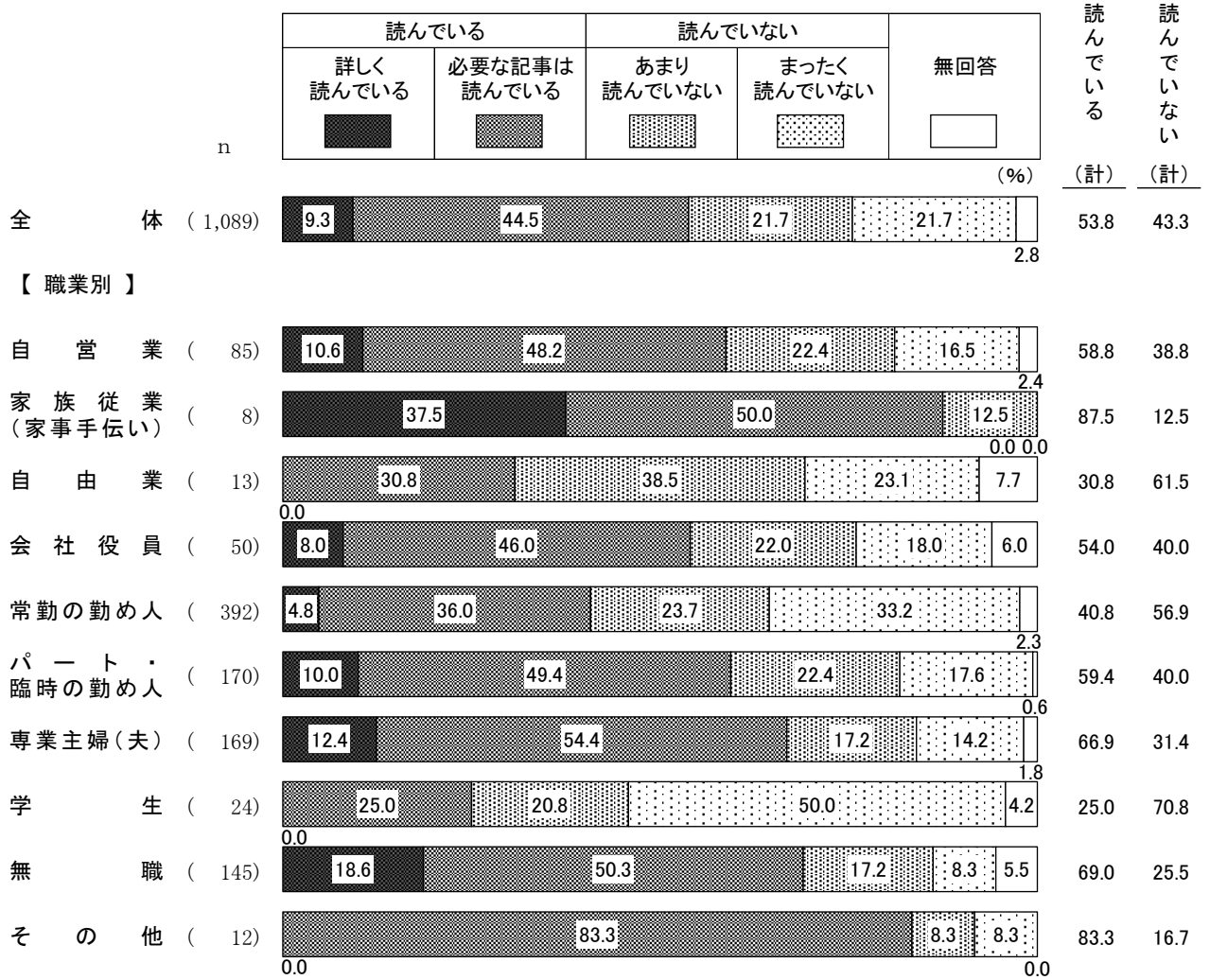
図1-11-3 『ねりま区報』の読読度—性別／性・年齢別



性別にみると、『読んでいる』は女性の方が5.5ポイント高く、5割台半ばとなっている。

性・年齢別にみると、『読んでいる』は男女ともに年代が上がるほど割合が多く、女性70歳以上で8割を超え、男性70歳以上、女性60歳代で7割台半ばとなっている。一方、『読んでいない』は男性20歳代で8割台半ば、男性30歳代で7割を超えている。(図1-11-3)

図 1-11-4 『ねりま区報』の閲読度－職業別



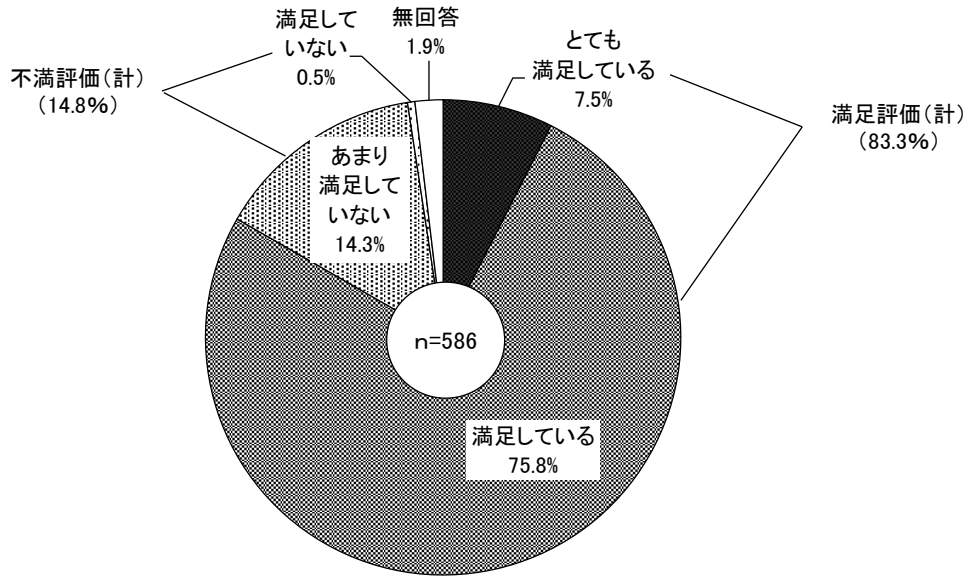
職業別にみると、『読んでいる』は無職で約7割、専業主婦（夫）で6割台半ばと多くなっている。（図1-11-4）

(11-1) 『ねりま区報』の満足度

◇『満足評価』が8割を超える

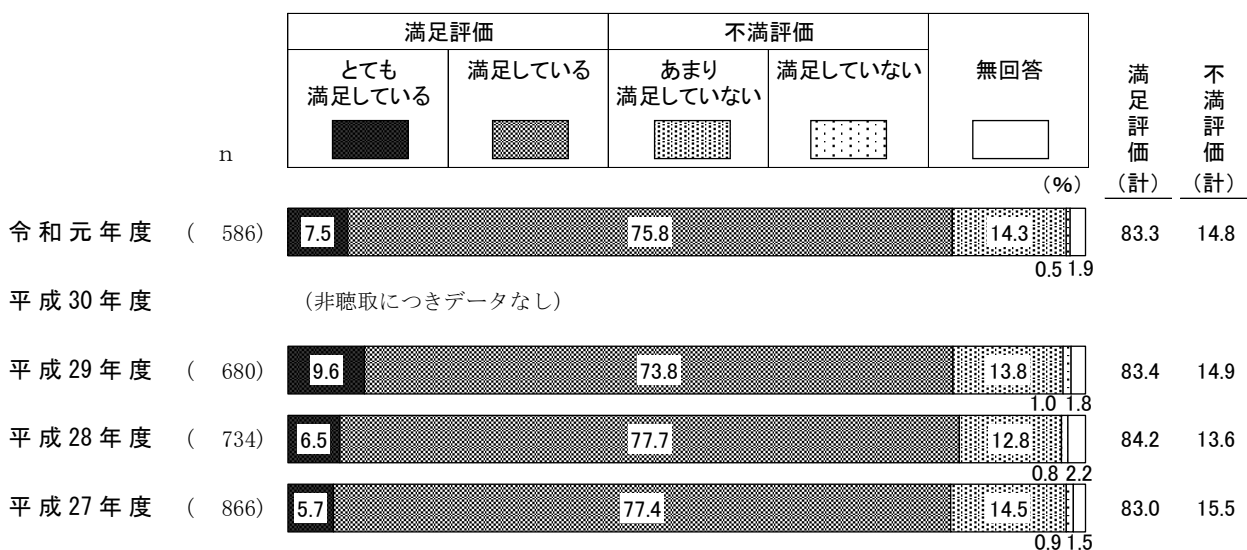
(問14で「1 詳しく読んでいます」または「2 必要な記事は読んでいます」と答えた方へ)
問14-1 あなたは、『ねりま区報』にどの程度満足していますか。

図1-11-5 『ねりま区報』の満足度



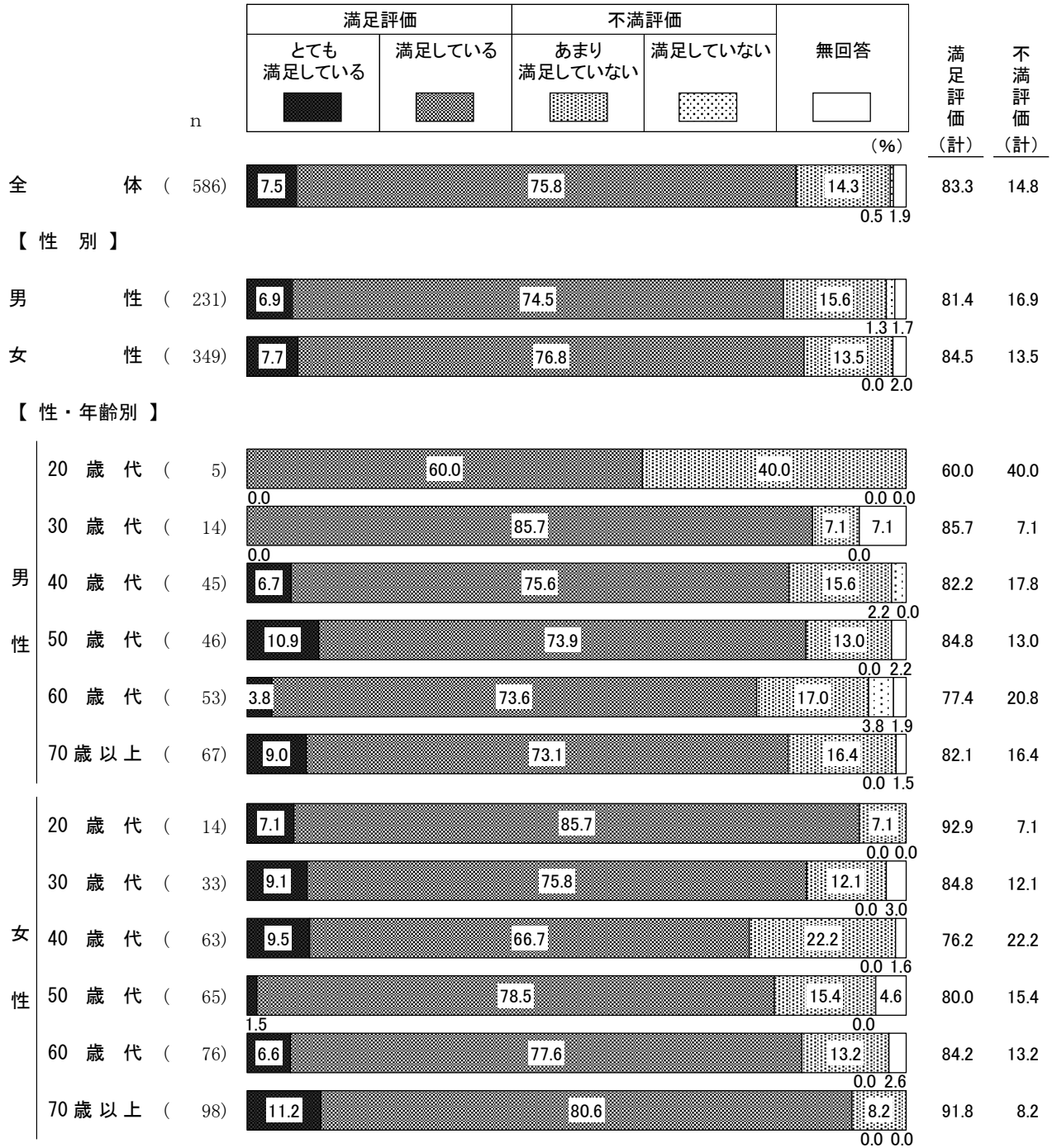
『ねりま区報』を「詳しく読んでいます」または「必要な記事は読んでいます」と答えた方(586人)に、『ねりま区報』にどの程度満足しているか聞いたところ、「とても満足している」(7.5%)と「満足している」(75.8%)を合わせた『満足評価』(83.3%)が8割を超えている。一方、「あまり満足していない」(14.3%)と「満足していない」(0.5%)を合わせた『不満評価』(14.8%)は1割台半ばとなっている。(図1-11-5)

図1-11-6 『ねりま区報』の満足度一過年度比較



過去の調査と比較すると、『満足評価』は平成27年度以降8割台前半で推移しており、大きな傾向の違いはみられない。(図1-11-6)

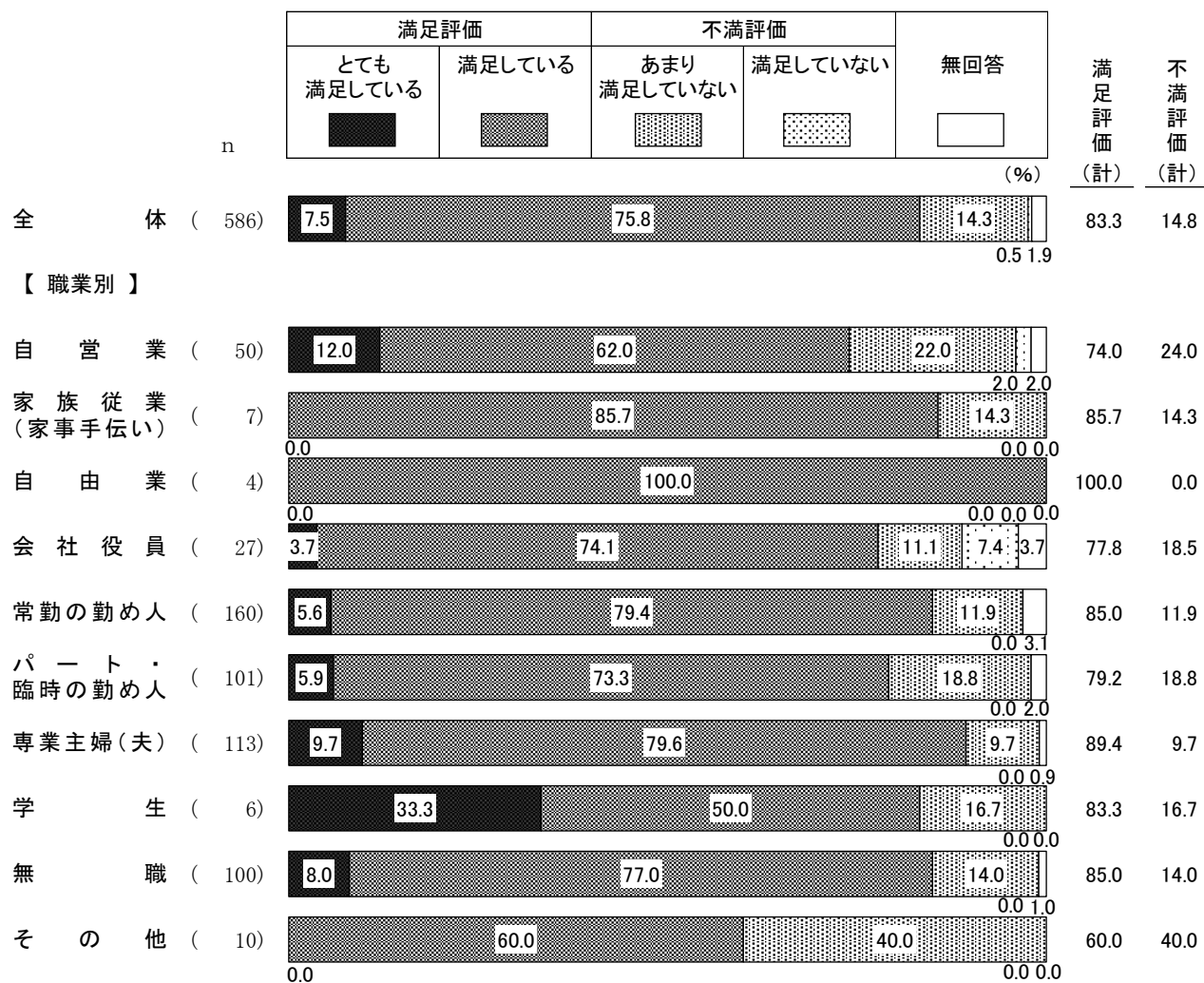
図1-11-7 『ねりま区報』の満足度－性別／性・年齢別



性別にみると、男女間で大きな傾向の違いはみられない。

性・年齢別にみると、『満足評価』は女性70歳以上で9割を超え、男性50歳代、女性30歳代・60歳代で8割台半ばと多くなっている。『不満評価』は男性60歳代、女性40歳代で2割を超えている。(図1-11-7)

図 1-11-8 『ねりま区報』の満足度—職業別



職業別にみると、『満足評価』は専業主婦（夫）で約9割と多くなっている。一方、『不満評価』は自営業で2割台半ばとなっている。（図 1-11-8）

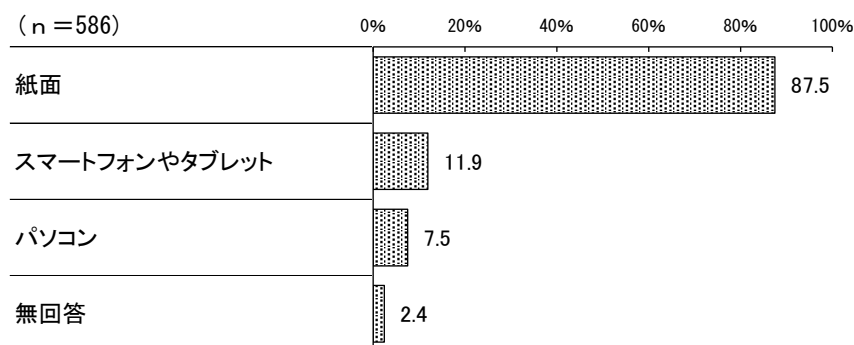
(11-2) 『ねりま区報』の閲覧手段

◇「紙面」が9割近く

(問14で「1 詳しく読んでいる」または「2 必要な記事は読んでいる」と答えた方へ)

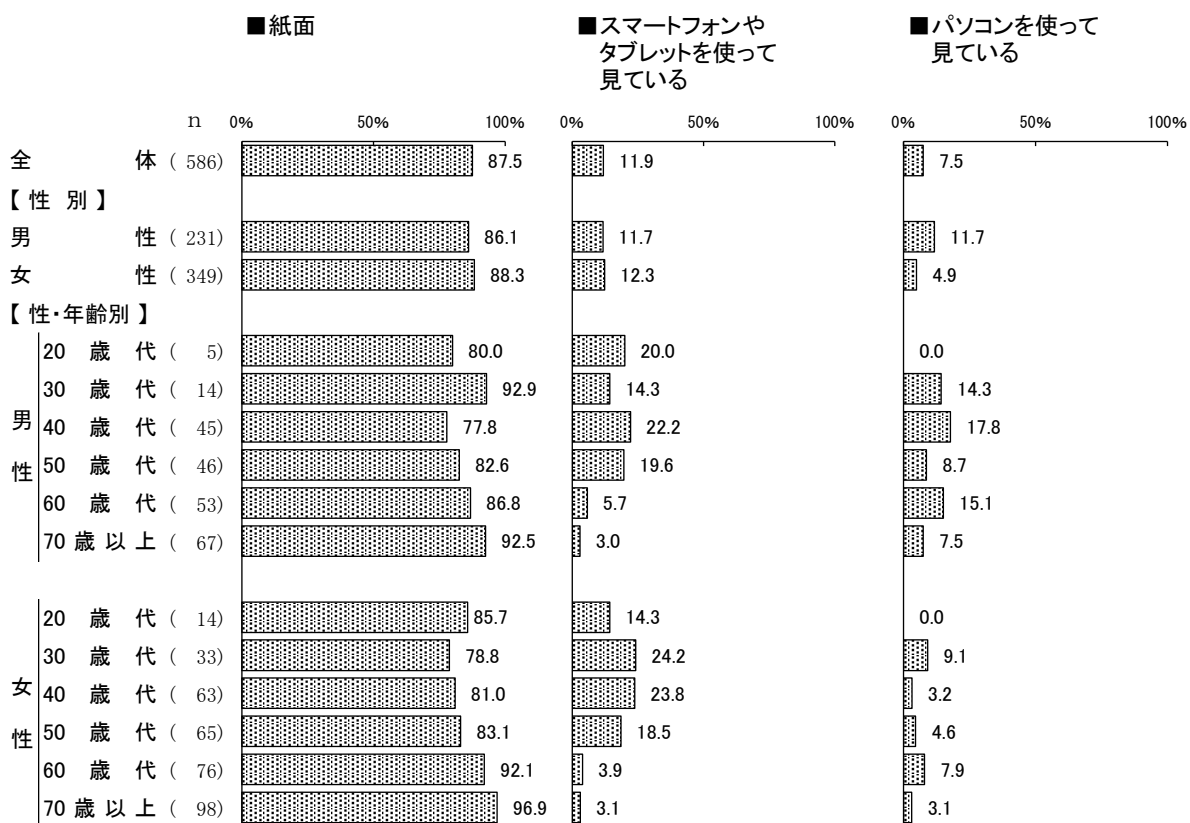
問14-2 『ねりま区報』は、紙面のほかにインターネットを使って区ホームページからもご覧になることができます。区報をどのような手段でご覧になっていますか。(〇はいくつでも)

図1-11-9 『ねりま区報』の閲覧手段



『ねりま区報』を「詳しく読んでいる」または「必要な記事は読んでいる」と答えた方(586人)に、『ねりま区報』の閲覧手段を聞いたところ、「紙面」(87.5%)が9割近くと最も多く、「スマートフォンやタブレット」(11.9%)が1割台前半、「パソコン」(7.5%)が1割を下回っている。(図1-11-9)

図1-11-10 『ねりま区報』の閲覧手段－性別／性・年齢別



性別にみると、「パソコンを使って見ている」は男性の方が6.8ポイント高く、1割を超えている。

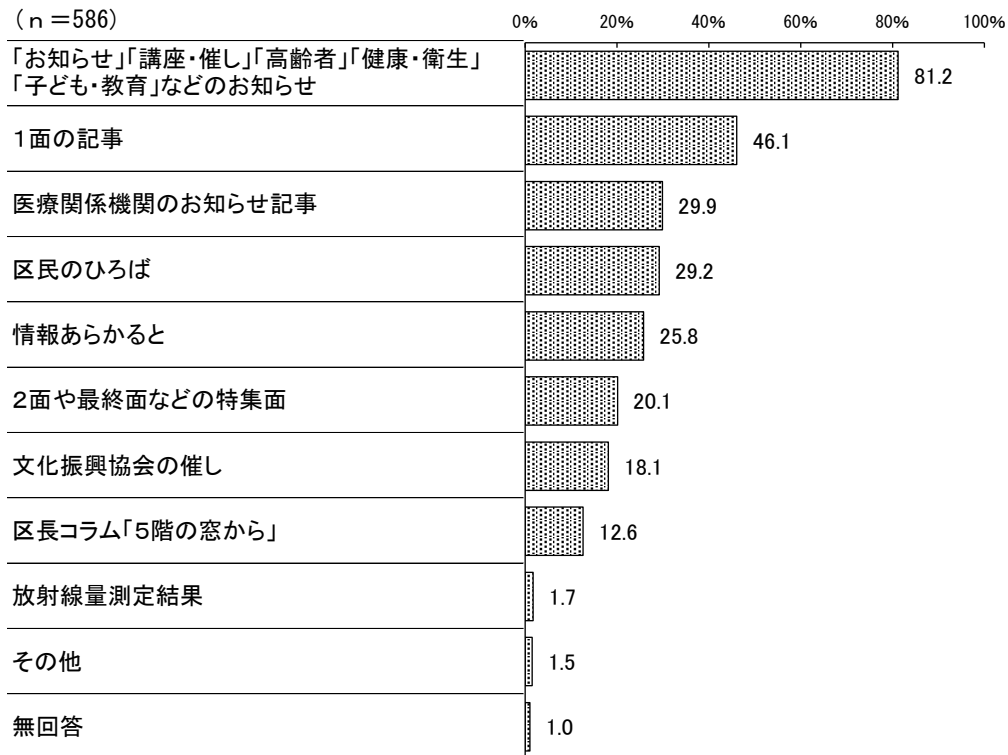
性・年齢別にみると、「紙面」は各年代とも割合が多く、女性70歳以上で9割台半ばとなっている。「スマートフォンやタブレットを使って見ている」は女性30歳代で2割台半ばとなっている。(図1-11-10)

(11-3) 『ねりま区報』でよく閲覧している記事

◇ 「「お知らせ」「講座・催し」「高齢者」「健康・衛生」「子ども・教育」などのお知らせ」が8割を超える

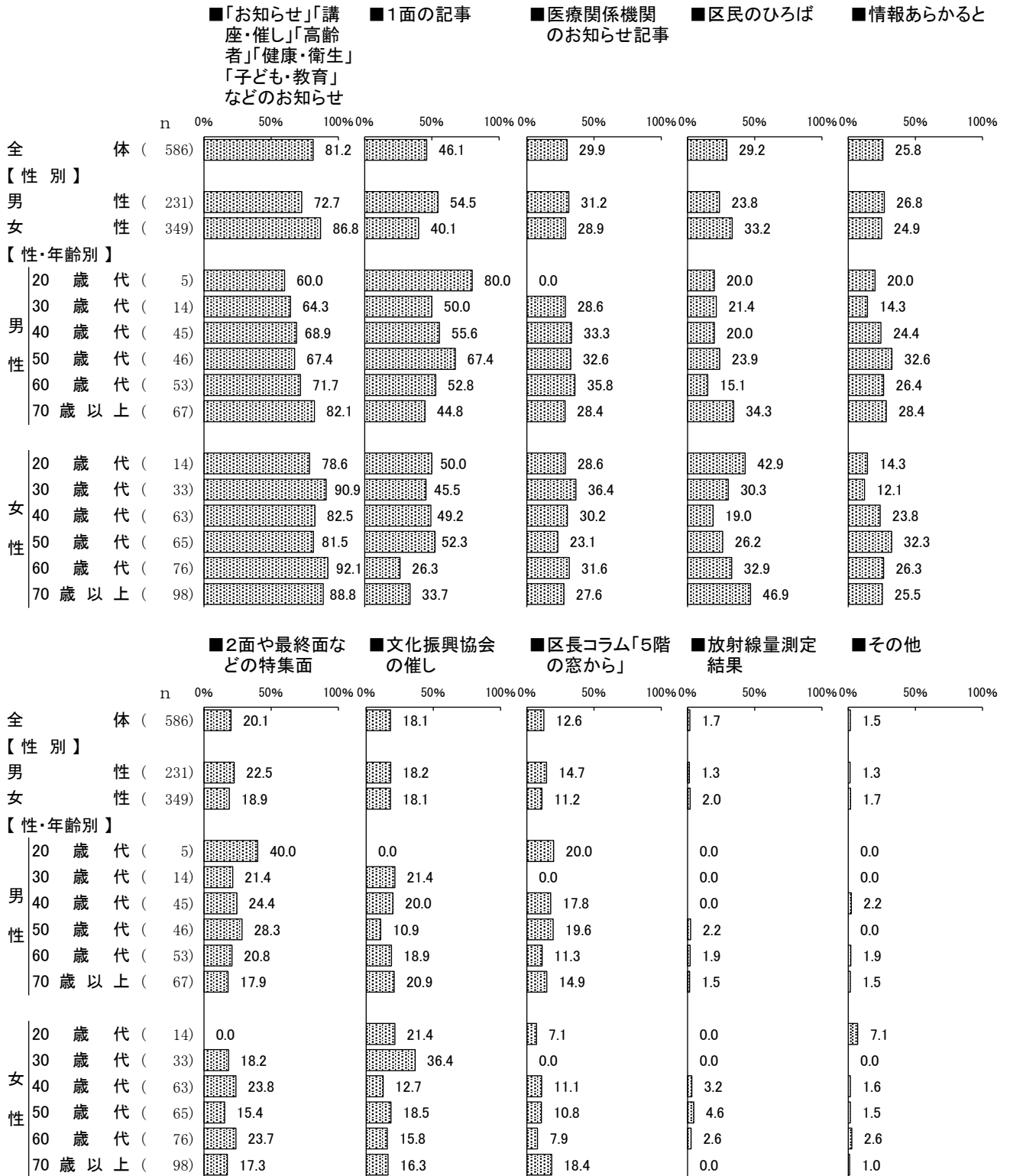
(問14で「1 詳しく読んでいる」または「2 必要な記事は読んでいる」と答えた方へ)
問14-3 『ねりま区報』でよくご覧になる記事はどこですか。(〇は3つまで)

図1-11-11 『ねりま区報』でよく閲覧している記事



『ねりま区報』を「詳しく読んでいる」または「必要な記事は読んでいる」と答えた方(586人)に、『ねりま区報』でよく閲覧している記事を聞いたところ、「「お知らせ」「講座・催し」「高齢者」「健康・衛生」「子ども・教育」などのお知らせ」(81.2%)が8割を超えて最も多く、次いで「1面の記事」(46.1%)、「医療関係機関のお知らせ記事」(29.9%)、「区民のひろば」(29.2%)などの順となっている。(図1-11-11)

図 1-11-12 『ねりま区報』でよく閲覧している記事－性別／性・年齢別



性別にみると、「「お知らせ」「講座・催し」「高齢者」「健康・衛生」「子ども・教育」などのお知らせ」は女性の方が14.1ポイント高く、8割台半ばとなっており、「1面の記事」は男性の方が14.4ポイント高く、5割台半ばとなっている。

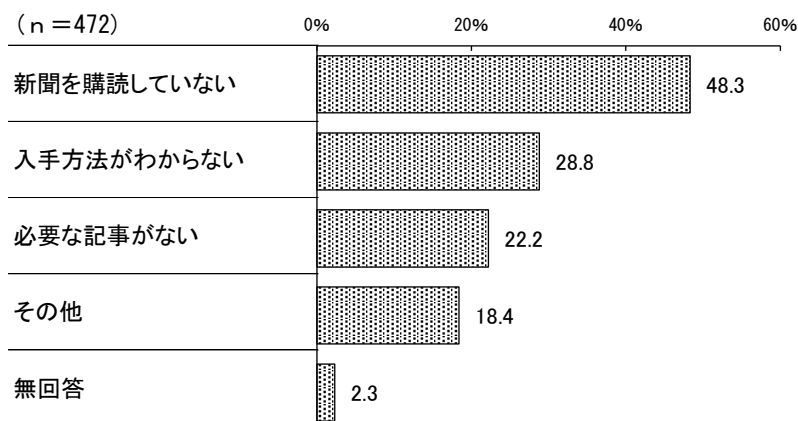
性・年代別にみると、「「お知らせ」「講座・催し」「高齢者」「健康・衛生」「子ども・教育」などのお知らせ」は女性30歳代・60歳代で9割台前半と多くなっている。「1面の記事」は男性50歳代で7割近くと多くなっている。(図1-11-12)

(11-4) 『ねりま区報』を読んでいない理由

◇「新聞を購読していない」が5割近く

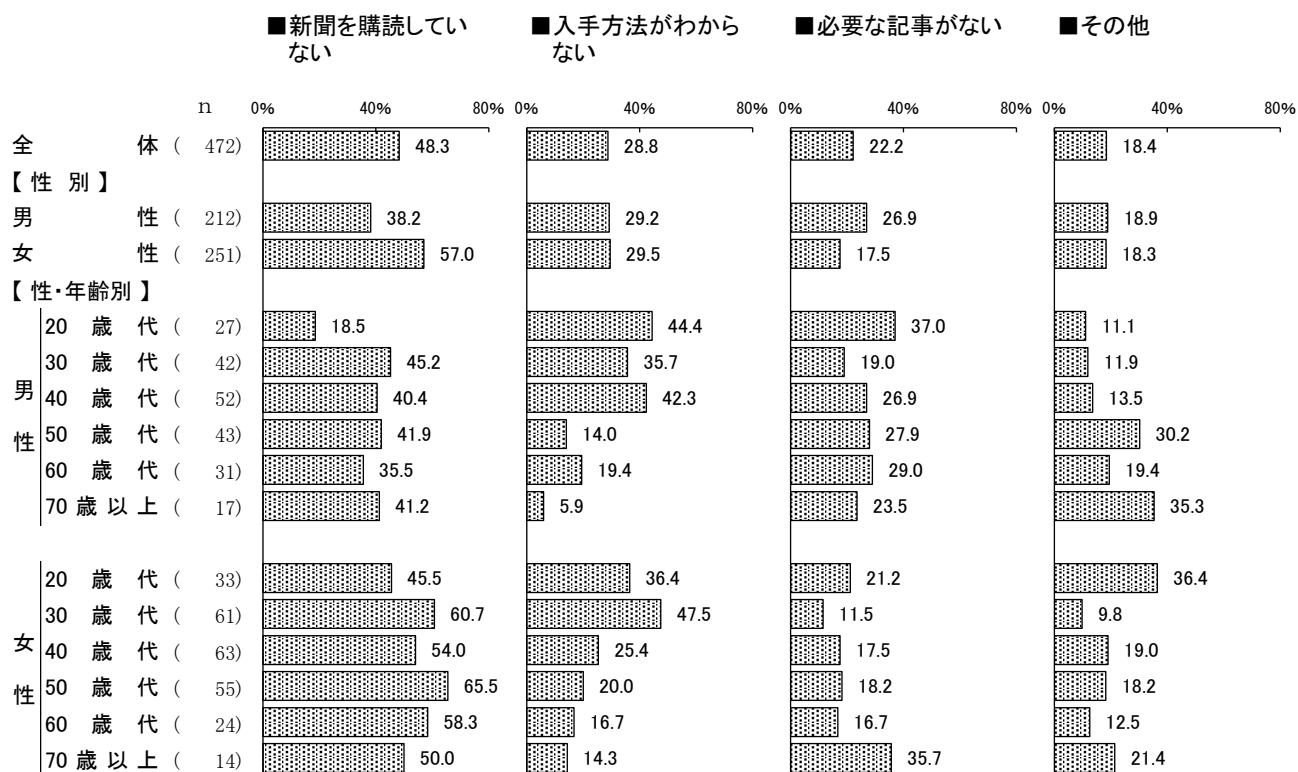
(問14で「3 あまり読んでいない」または「4 まったく読んでいない」と答えた方へ)
問14-4 あなたが、『ねりま区報』を読んでいない理由はなぜですか。
(〇はいくつでも)

図1-11-13 『ねりま区報』を読んでいない理由



『ねりま区報』を「あまり読んでいない」または「まったく読んでいない」と答えた方(472人)に、その理由を聞いたところ、「新聞を購読していない」(48.3%)が5割近くと最も多く、次いで「入手方法がわからない」(28.8%)、「必要な記事がない」(22.2%)などの順となっている。(図1-11-13)

図 1-11-14 『ねりま区報』を読んでいない理由—性別／性・年齢別



性別にみると、「新聞を購読していない」は女性の方が18.8ポイント高く、6割近くとなっており、「必要な記事がない」は男性の方が9.4ポイント高く、2割台半ばとなっている。

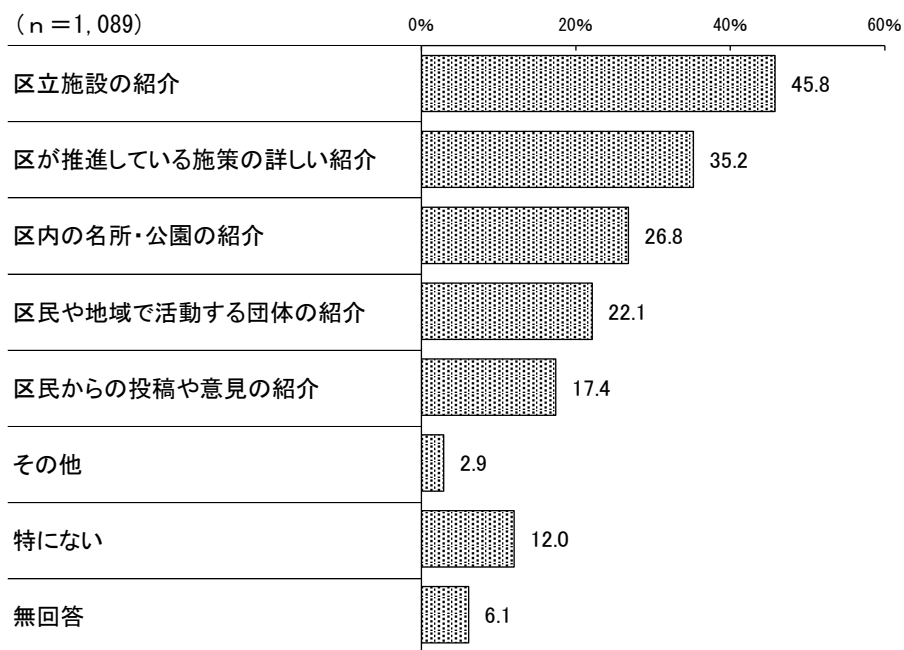
性・年齢別にみると、「新聞を購読していない」は女性50歳代で6割台半ば、女性30歳代で約6割と多くなっている。「入手方法がわからない」は女性30歳代で5割近く、男性40歳代で4割を超えて多くなっている。(図1-11-14)

(12) 『ねりま区報』に掲載・連載してほしい内容（企画）

◇「区立施設の紹介」が4割台半ば

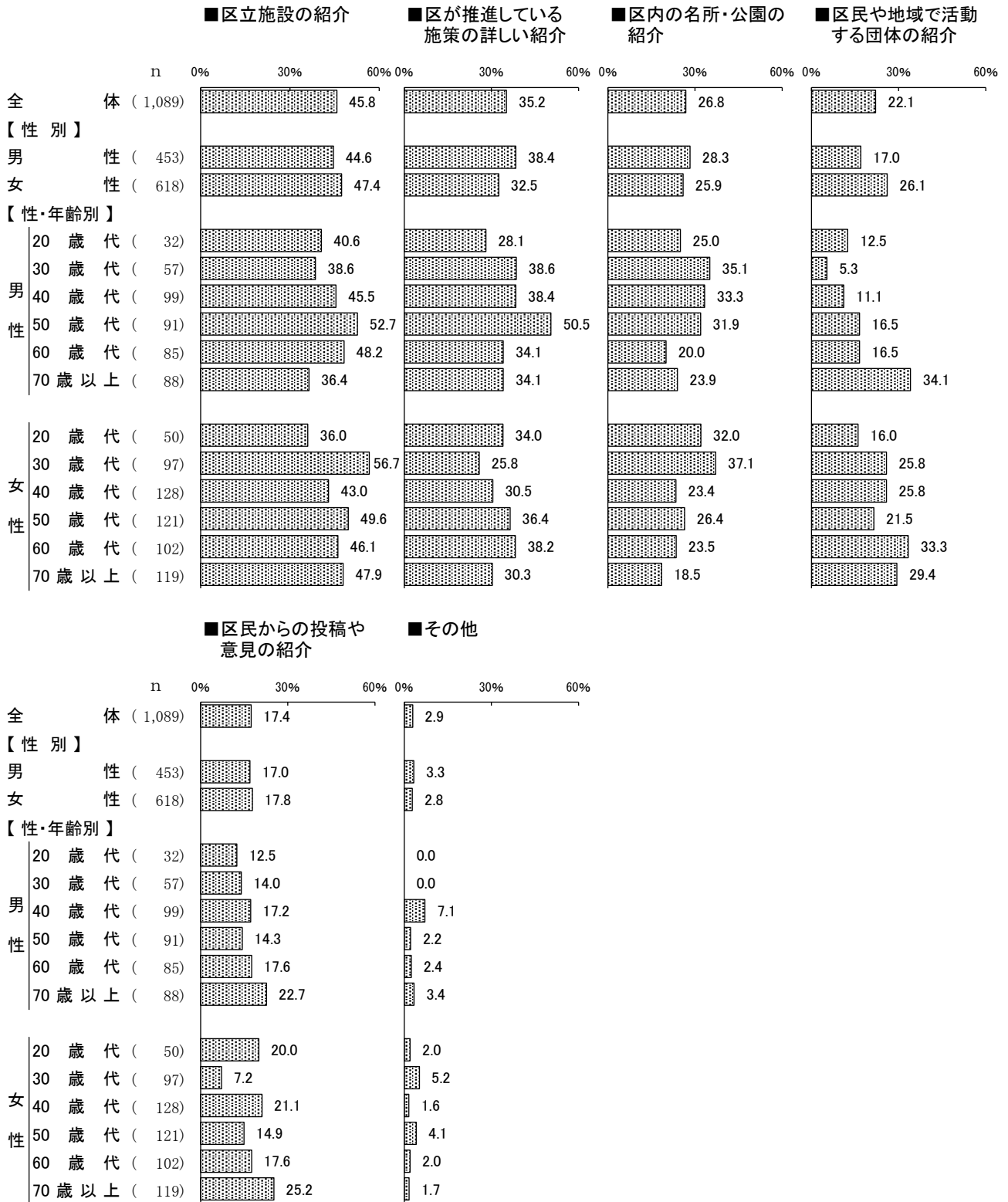
問15 『ねりま区報』に掲載・連載してほしい内容（企画）はありますか。
（○は2つまで）

図1-12-1 『ねりま区報』に掲載・連載してほしい内容（企画）



『ねりま区報』に掲載・連載してほしい内容（企画）を聞いたところ、「区立施設の紹介」（45.8%）が4割台半ばと最も多く、次いで「区が推進している施策の詳しい紹介」（35.2%）、「区内の名所・公園の紹介」（26.8%）、「区民や地域で活動する団体の紹介」（22.1%）などの順となっている。（図1-12-1）

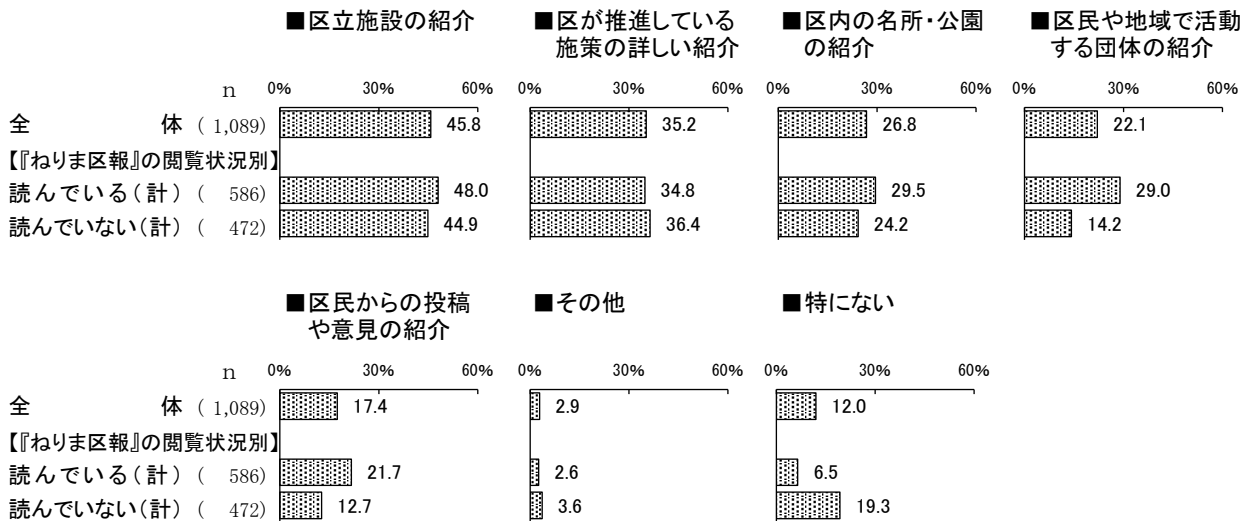
図1-12-2 『ねりま区報』に掲載・連載してほしい内容（企画）－性別／性・年齢別



性別にみると、「区が推進している施策の詳しい紹介」は男性の方が5.9ポイント高く、4割近くとなっており、「区民や地域で活動する団体の紹介」は女性の方が9.1ポイント高く、2割台半ばとなっている。

性・年齢別にみると、「区立施設の紹介」は男性50歳代、女性30歳代で5割を超え、「区が推進している施策の詳しい紹介」は男性50歳代で約5割と多くなっている。（図1-12-2）

図 1-12-3 『ねりま区報』に掲載・連載してほしい内容（企画）－『ねりま区報』の閲覧度別



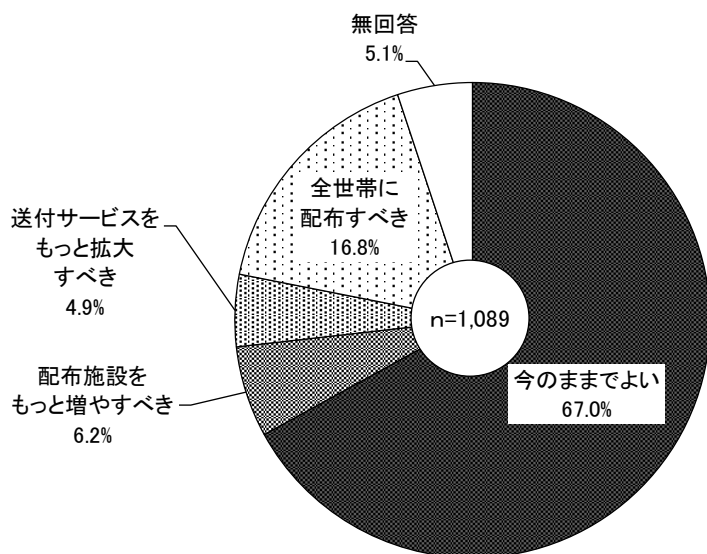
『ねりま区報』の閲覧状況別にみると、読んでいる（計）は、「区民や地域で活動する団体の紹介」で14.8ポイント、「区民からの投稿や意見の紹介」で9.0ポイント、「区内の名所・公園の紹介」で5.3ポイント高くなっている。（図 1-12-3）

(13) 『ねりま区報』の配布方法の意向

◇「今のままでよい」が7割近く

問16 『ねりま区報』は新聞折り込みに加え、区立施設、区内の全駅、コンビニエンスストアなどで配布しています。また、新聞を未購読で、前記の施設に取りに行くのが難しい方に送付サービスを行っています。区報の配布方法についてどう思いますか。

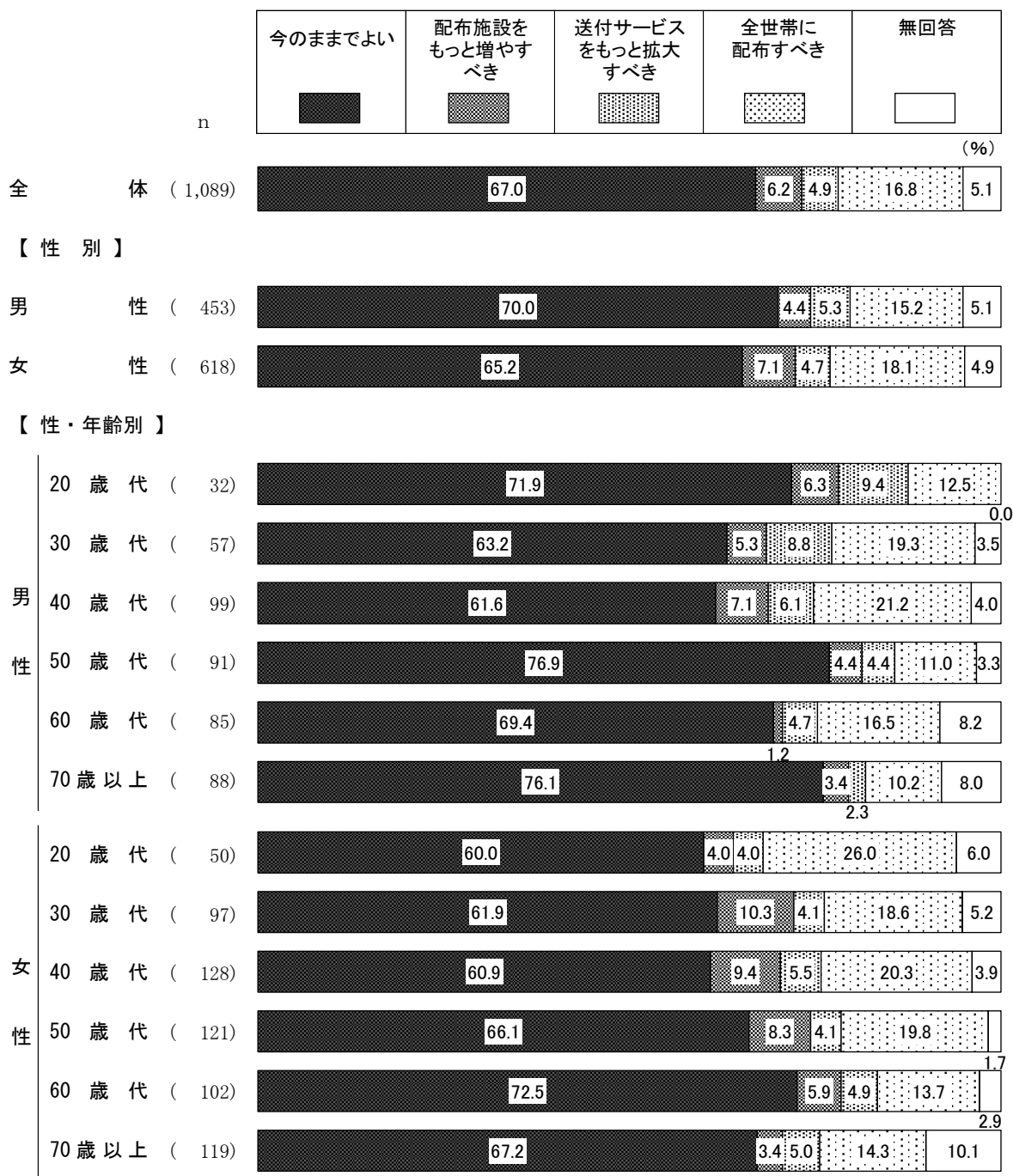
図1-13-1 『ねりま区報』の配布方法の意向



『ねりま区報』の配布方法の意向を聞いたところ、「今のままでよい」（67.0%）が7割近くとなっている。「全世帯に配布すべき」（16.8%）は1割台半ば、「配布施設をもっと増やすべき」（6.2%）、「送付サービスをもっと拡大すべき」（4.9%）は1割を下回っている。

（図1-13-1）

図 1-13-2 『ねりま区報』の配布方法の意向—性別／性・年齢別

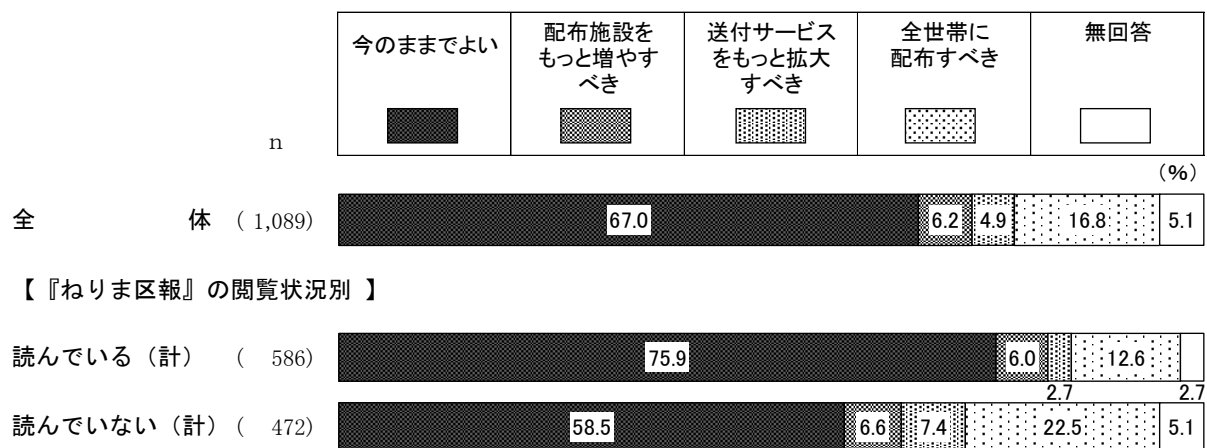


性別にみると、「今のままでよい」は男性の方が4.8ポイント高く、7割となっている。

性・年齢別にみると、「今のままでよい」は男性50歳代・70歳以上で7割台半ばと多くなっている。一方、「全世帯に配布すべき」は女性20歳代で2割台半ばとなっている。

(図 1-13-2)

図1-13-3 『ねりま区報』の配布方法の意向－『ねりま区報』の閲覧度別



『ねりま区報』の閲覧状況別にみると、「今のままでよい」は読んでいる（計）で7割台半ばと多くなっている。「全世帯に配布すべき」は読んでいない（計）で2割を超えている。

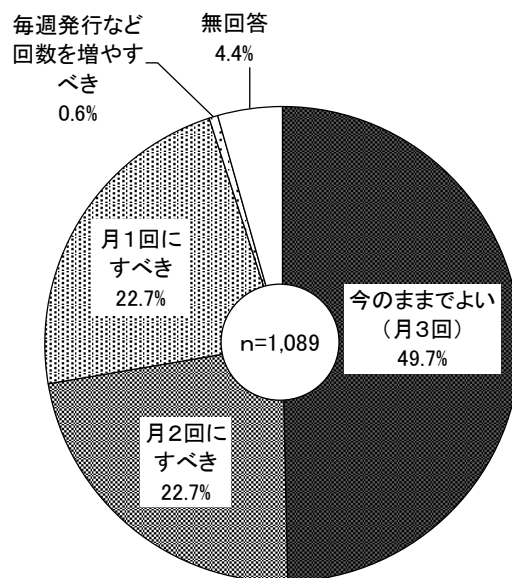
(図1-13-3)

(14) 『ねりま区報』の発行回数の意向

◇「今のままでよい（月3回）」が約5割

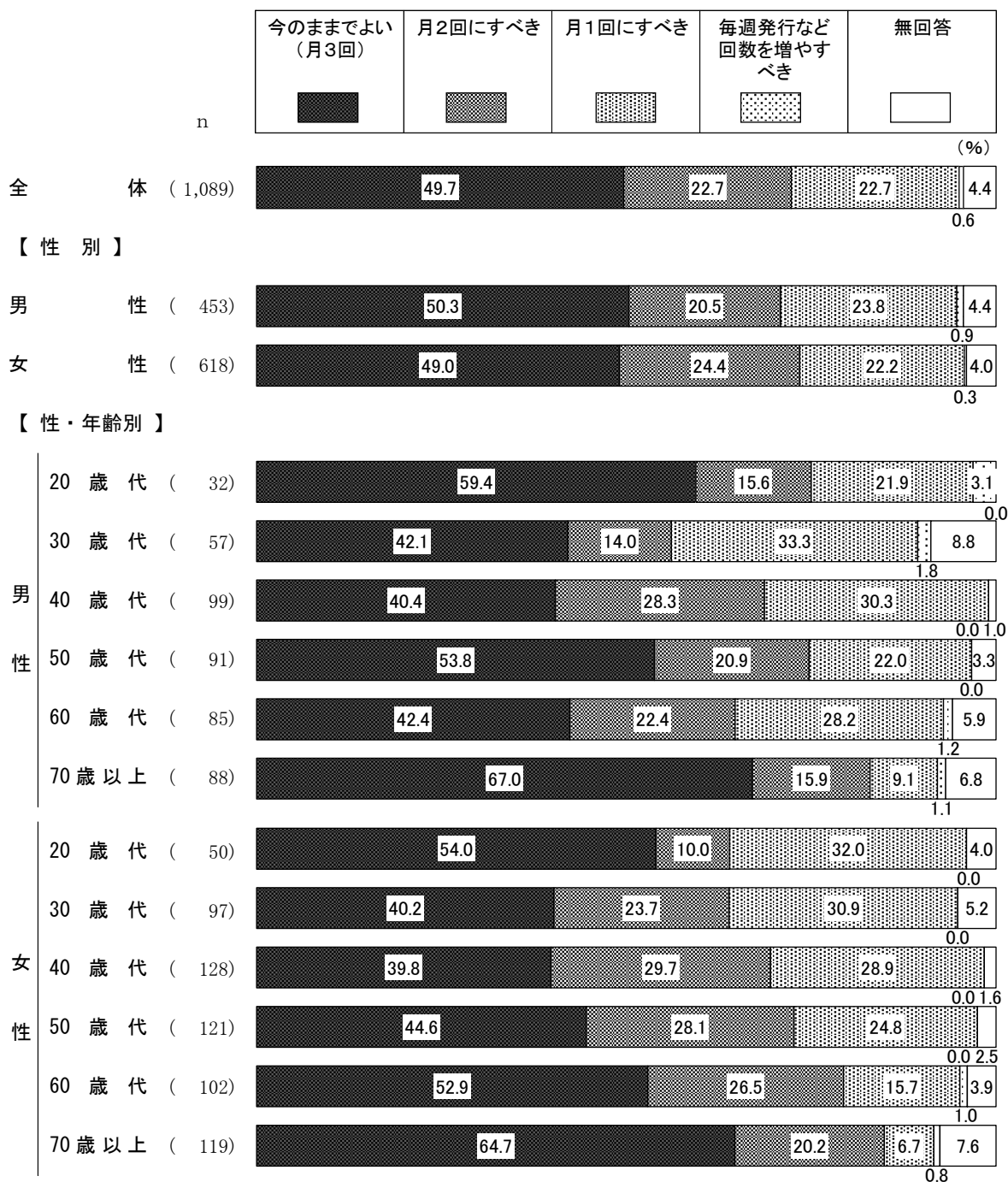
問17 『ねりま区報』は月3回発行しています。東京23区では月3回、月2回が主流ですが、都外では月1回の発行が多くなっています。区報の発行回数についてどう思いますか。

図1-14-1 『ねりま区報』の発行回数の意向



『ねりま区報』の発行回数の意向を聞いたところ、「今のままでよい（月3回）」（49.7%）が約5割となっている。一方、「月2回にすべき」（22.7%）、「月1回にすべき」（22.7%）はともに2割台前半となっている。（図1-14-1）

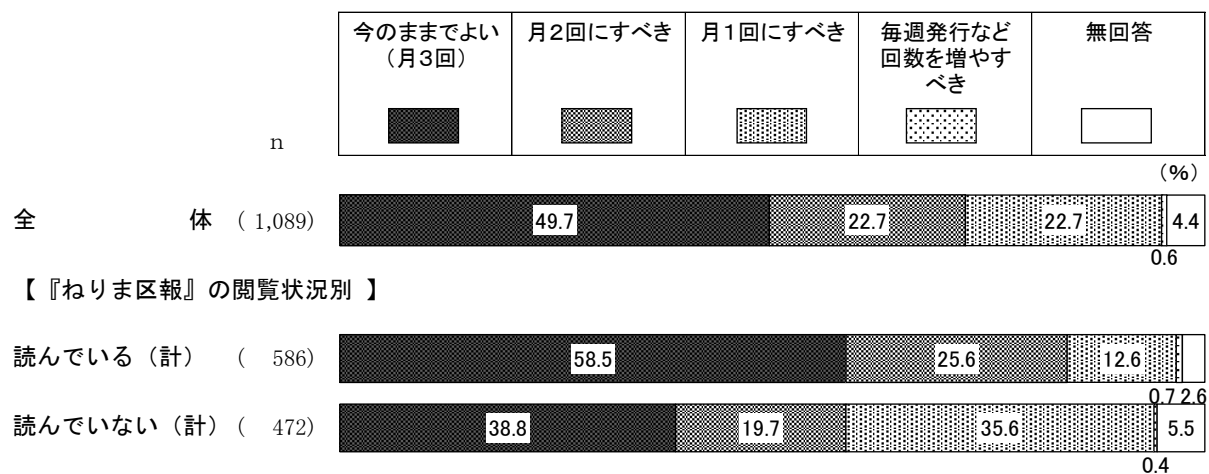
図 1-14-2 『ねりま区報』の発行回数の意向—性別／性・年齢別



性別にみると、男女間で大きな傾向の違いはみられない。

性・年齢別にみると、「今のままでよい（月3回）」は男性70歳以上で7割近く、女性70歳以上で6割台半ばと多くなっている。「月2回にすべき」は男性40歳代、女性40歳代・50歳代で3割近く、「月1回にすべき」は男性30歳代・40歳代、女性20歳代・30歳代で3割台前半と多くなっている。（図1-14-2）

図1-14-3 『ねりま区報』の発行回数の意向－『ねりま区報』の閲覧度別



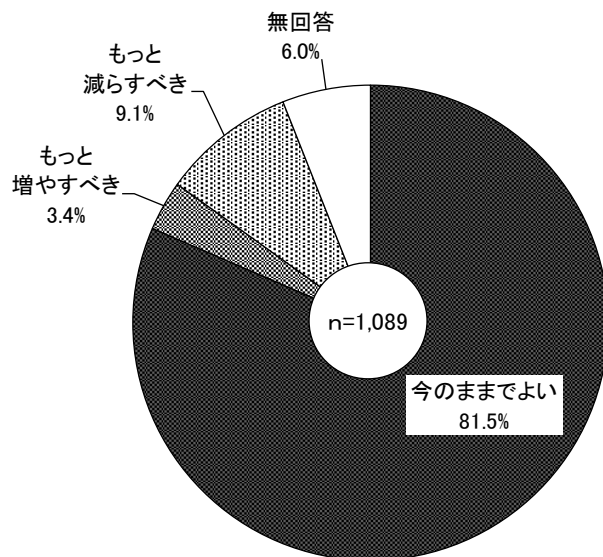
『ねりま区報』の閲覧状況別にみると、「今のままでよい（月3回）」は読んでいる（計）で6割近くと多くなっている。（図1-14-3）

(15) 『ねりま区報』の情報量の意向

◇「今のままでよい」が8割を超える

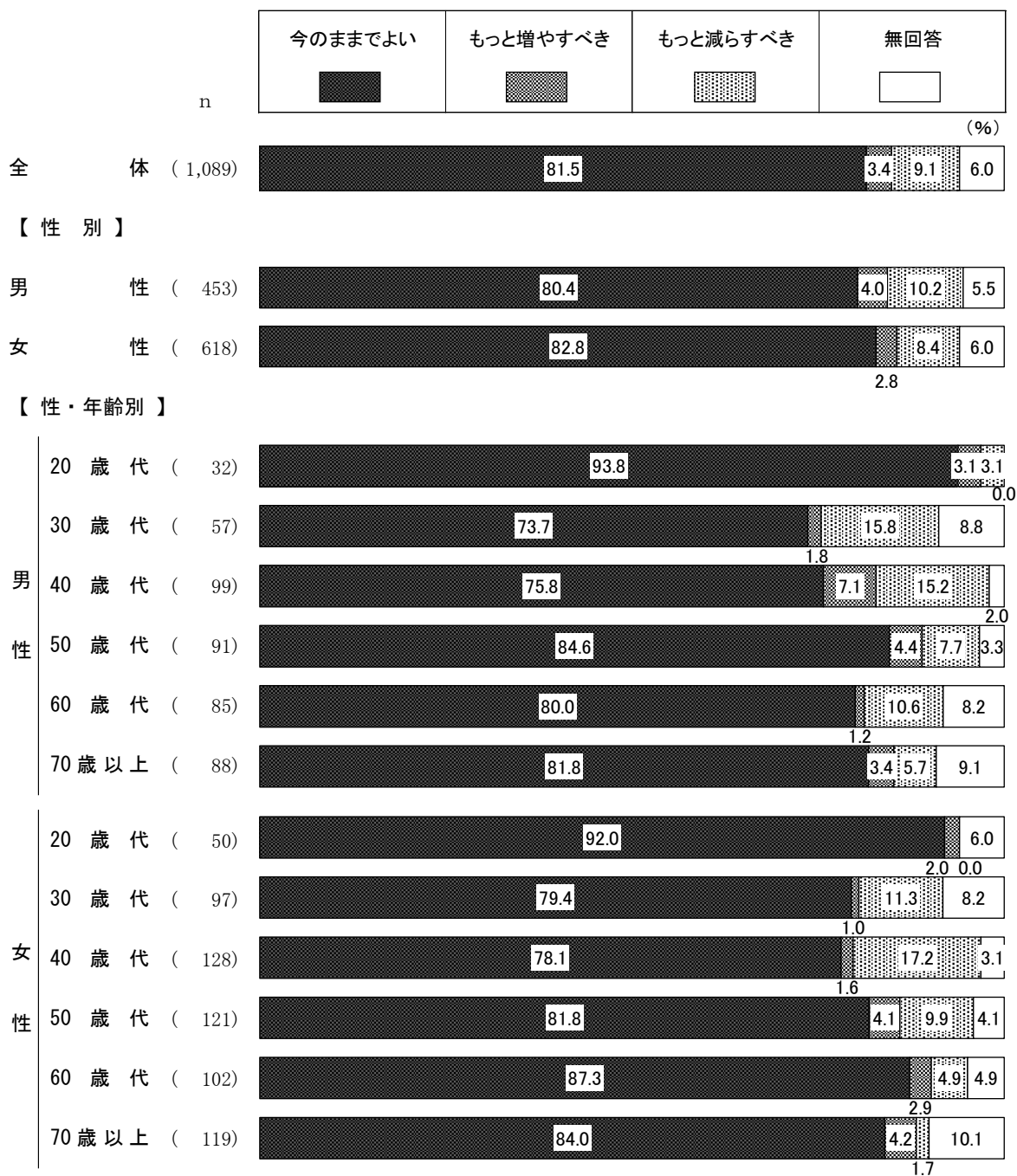
問18 『ねりま区報』では、原則として1日号12ページ、11日号・21日号8ページと
なっています。ねりま区報の情報量についてどう思いますか。

図1-15-1 『ねりま区報』の情報量の意向



『ねりま区報』の情報量の意向を聞いたところ、「今のままでよい」（81.5%）が8割を超えて多くなっている。一方、「もっと増やすべき」（3.4%）、「もっと減らすべき」（9.1%）はともに1割を下回っている。（図1-15-1）

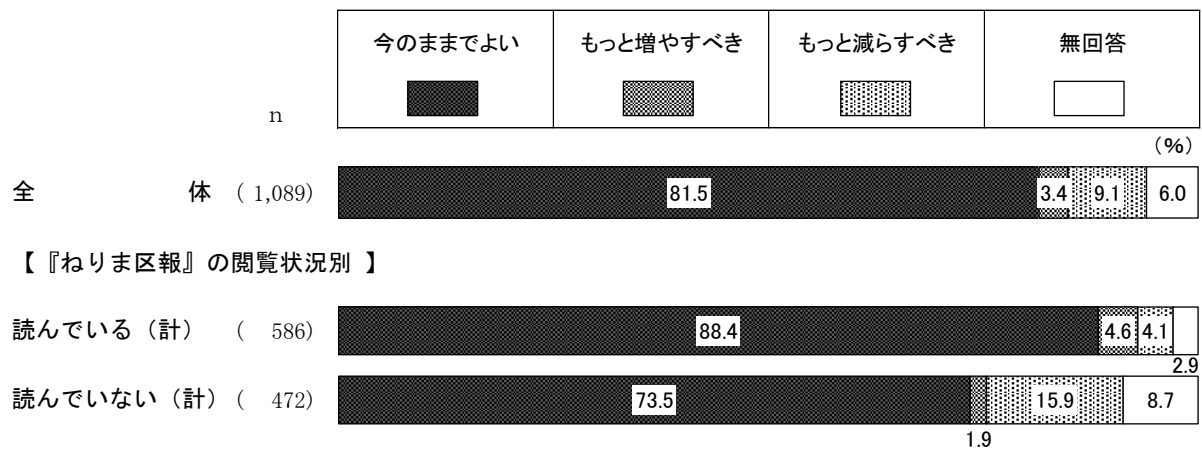
図1-15-2 『ねりま区報』の情報量の意向—性別／性・年齢別



性別にみると、男女間で大きな傾向の違いはみられない。

性・年齢別にみると、「今のままでよい」は男女ともに20歳代で9割を超えて多くなっている。一方、「もっと減らすべき」は女性40歳代で2割近く、男性30歳代・40歳代で1割台半ばとなっている。(図1-15-2)

図 1-15-3 『ねりま区報』の情報量の意向－『ねりま区報』の閲覧度別



『ねりま区報』の閲覧状況別にみると、「今のままでよい」は読んでいる（計）で9割近くと多くなっている。（図1-15-3）

(16) 『練馬区情報番組ねりまほっとライン』の認知度

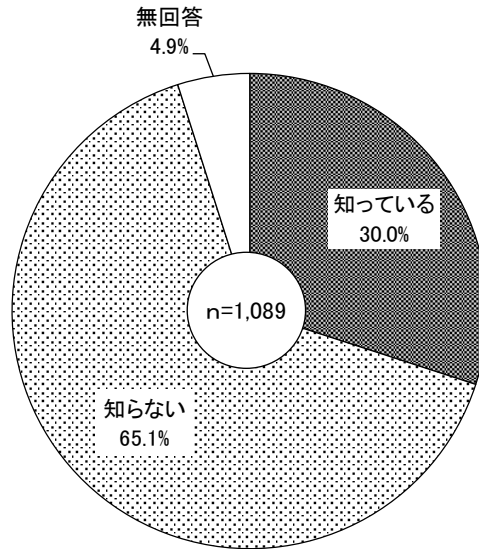
◇「知っている」が3割

問19 あなたは、練馬区情報番組『ねりまほっとライン』を知っていますか。

※練馬区情報番組『ねりまほっとライン』は、ケーブルテレビJ：COM東京（デジタル：11チャンネル）で毎日放映しています。区の事業やできごとなどを紹介し、区民のみなさまに、区政に関心を持っていただくことを目的としています。

※放送時間は、毎日9時、正午、午後8時の3回です（1回15分）。

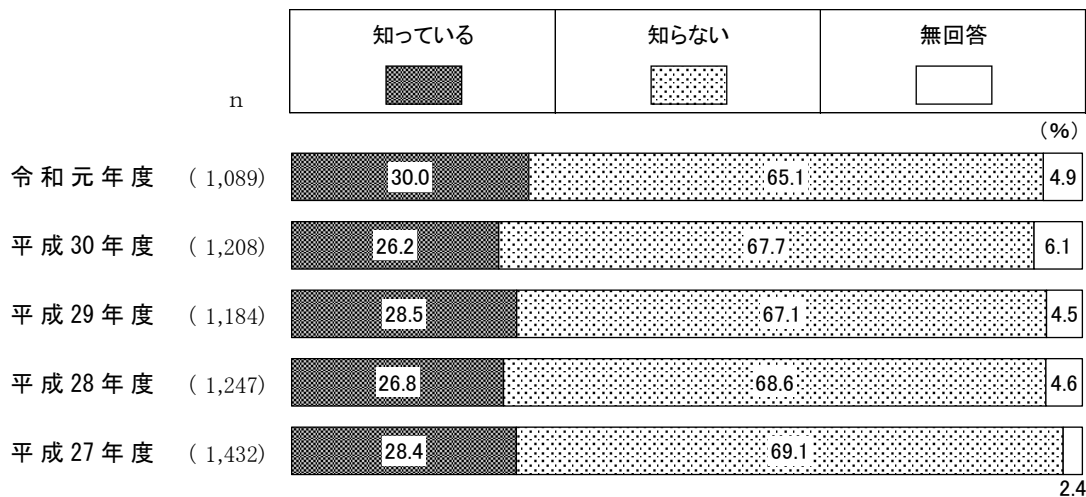
図1-16-1 『練馬区情報番組ねりまほっとライン』の認知度



『練馬区情報番組ねりまほっとライン』を知っているか聞いたところ、「知っている」(30.0%)が3割となっている。一方、「知らない」(65.1%)は6割台半ばとなっている。

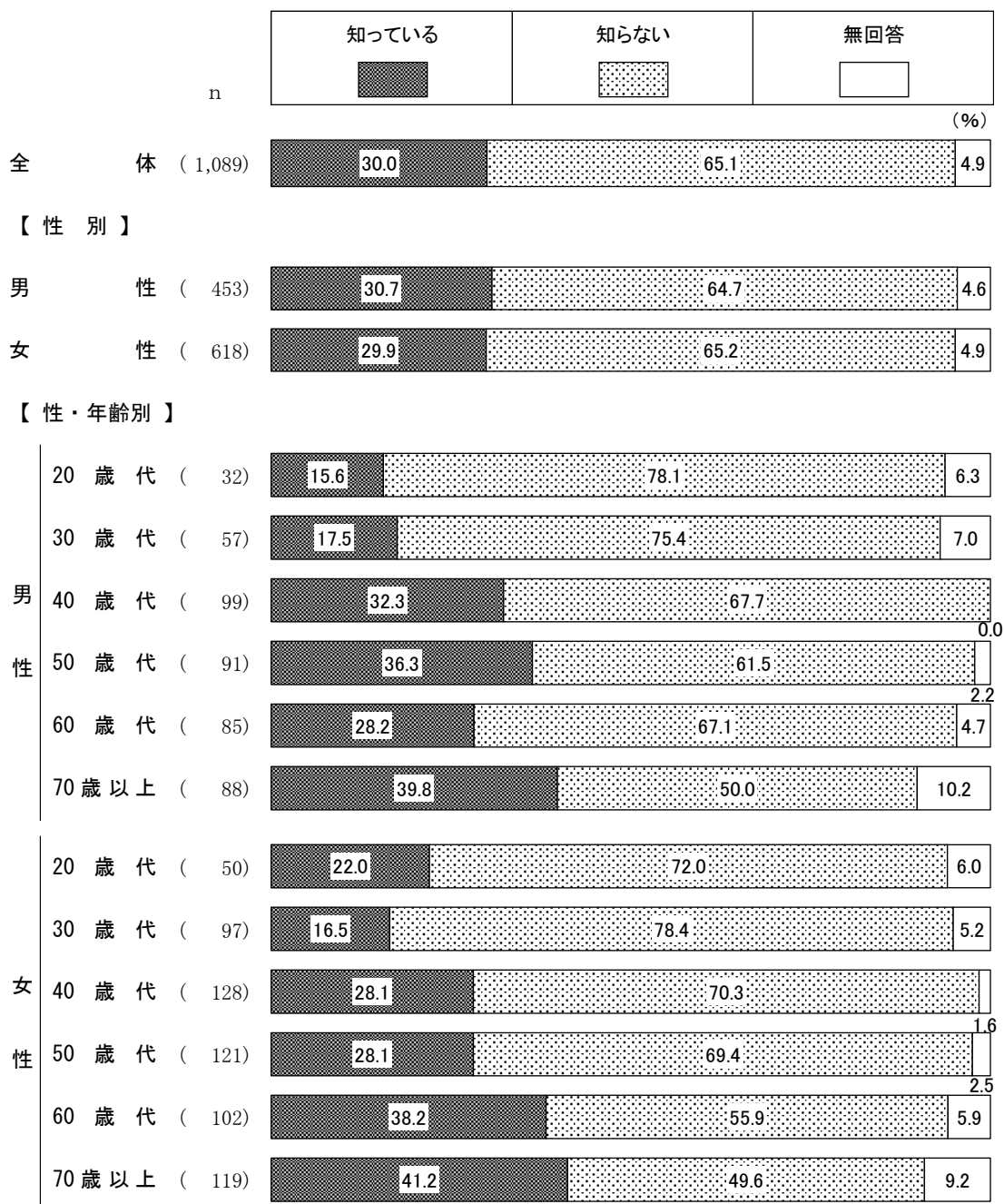
(図1-16-1)

図1-16-2 『練馬区情報番組ねりまほっとライン』の認知度—過年度比較



過去の調査と比較すると、「知っている」は前回調査（平成30年度）より3.8ポイント増加している。(図1-16-2)

図1-16-3 『練馬区情報番組ねりまほっとライン』の認知度—性別／性・年齢別



性別にみると、男女間で大きな傾向の違いはみられない。

性・年齢別にみると、「知っている」は女性70歳以上で4割を超え、男性70歳以上で約4割、女性60歳代で4割近くと多くなっている。一方、「知らない」は男性20歳代・30歳代、女性20歳代・30歳代・40歳代で7割を超えて多くなっている。(図1-16-3)

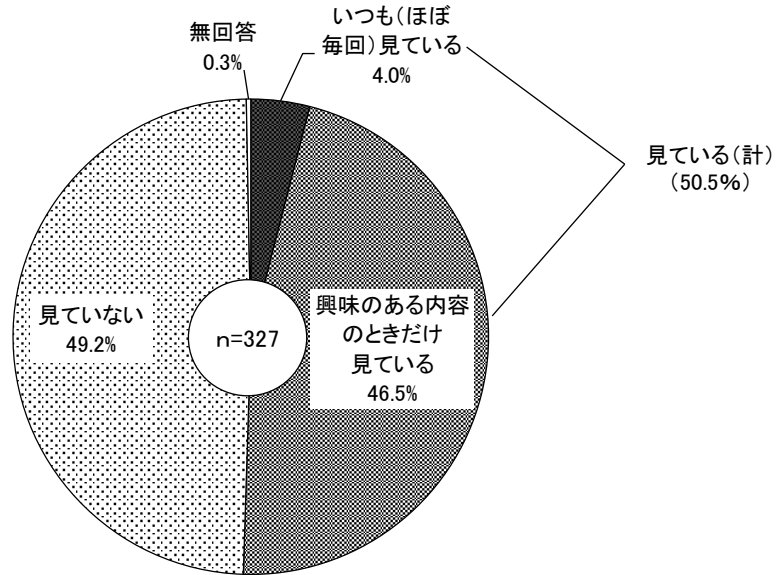
(16-1) 『練馬区情報番組ねりまほっとライン』の視聴度

◇『見ている』が約5割

(問19で「1 知っている」と答えた方へ)

問19-1 あなたは、練馬区情報番組『ねりまほっとライン』を見ていますか。

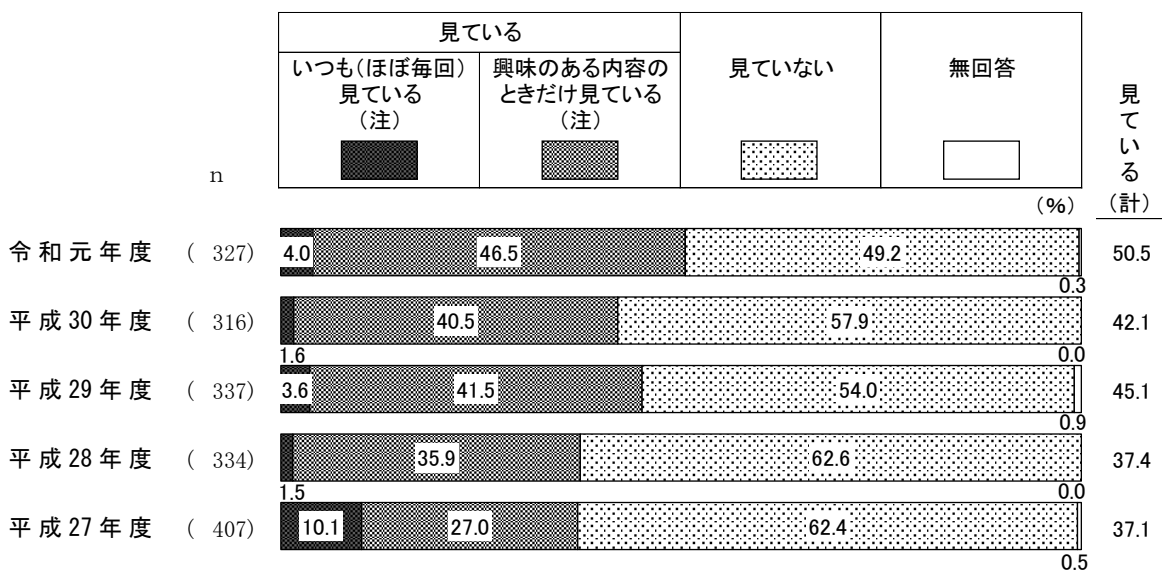
図1-16-4 『練馬区情報番組ねりまほっとライン』の視聴度



『練馬区情報番組ねりまほっとライン』を「知っている」と答えた方(327人)に、番組の視聴度を聞いたところ、「いつも(ほぼ毎回)見ている」(4.0%)と「興味のある内容のときだけ見ている」(46.5%)を合わせた『見ている』(50.5%)が約5割となっている。

(図1-16-4)

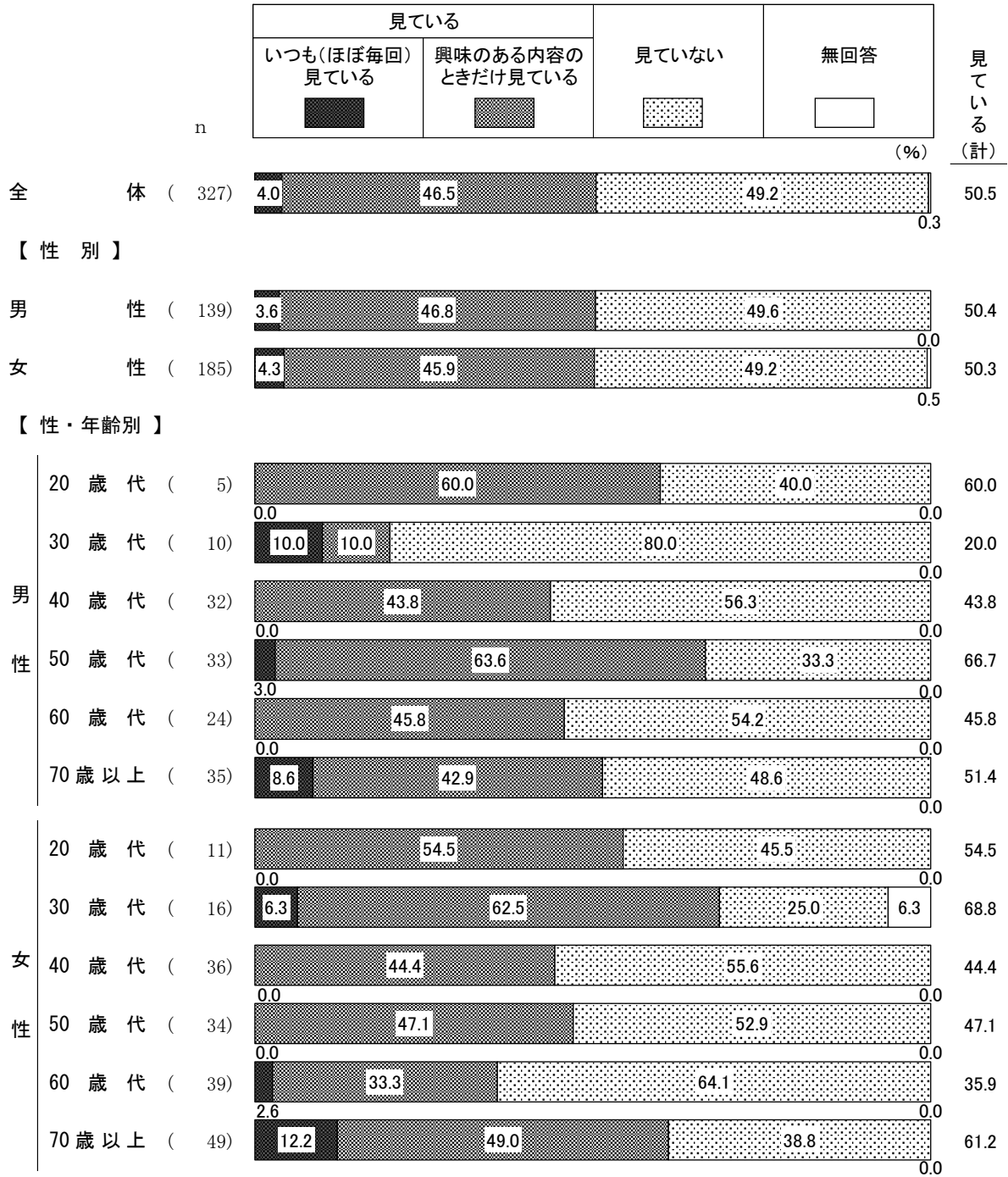
図1-16-5 『練馬区情報番組ねりまほっとライン』の視聴度一過年度比較



(注) 平成27年度以前は「いつも(ほぼ毎回)見ている」は「見ている」、「興味のある内容のときだけ見ている」は「面白そうなコーナーだけ見ている」としていた。

過去の調査と比較すると、『見ている』は前回調査(平成30年度)より8.4ポイント増加している。(図1-16-5)

図 1-16-6 『練馬区情報番組ねりまほっとライン』の視聴度—性別／性・年齢別



性別にみると、男女間で大きな傾向の違いはみられない。

性・年齢別にみると、『見ている』は男性50歳代で6割台半ばと多くなっている。

(図 1-16-6)

(17) 区の『情報提供サービス』の満足度

◇『満足評価』が3割近く

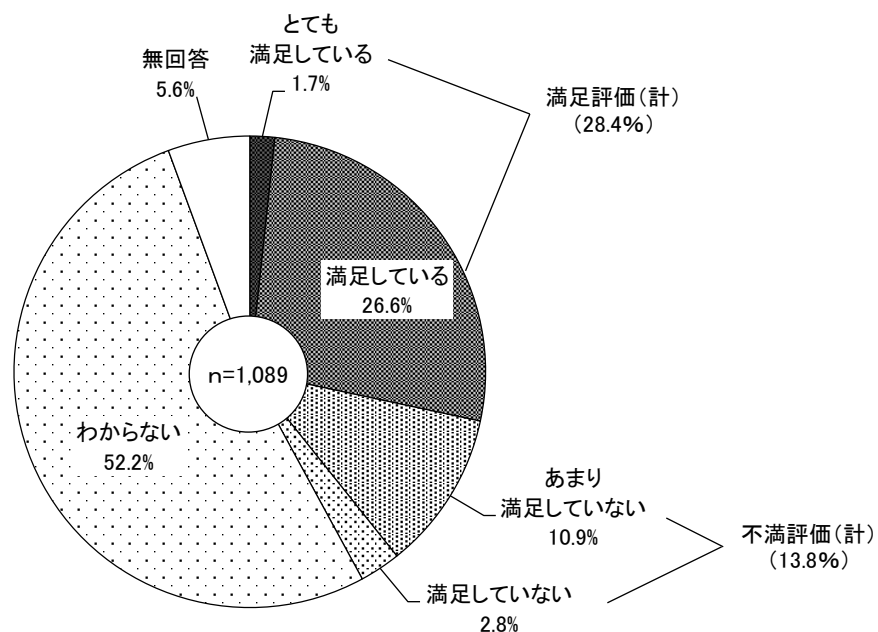
問20 あなたは、区の『情報提供サービス』にどの程度満足していますか。

【情報提供サービスの例】

ホームページ、ねりま情報メール(※1)、SNS(Twitter、Facebook、YouTube等)、ねりま子育てサポートナビ(※2)、ねりまちてくてくサブリ(※3)、練馬区バリアフリーマップ(あんしんおでかけマップ)、学びと文化の情報サイト(※4)、地図情報ねりまっぶ等

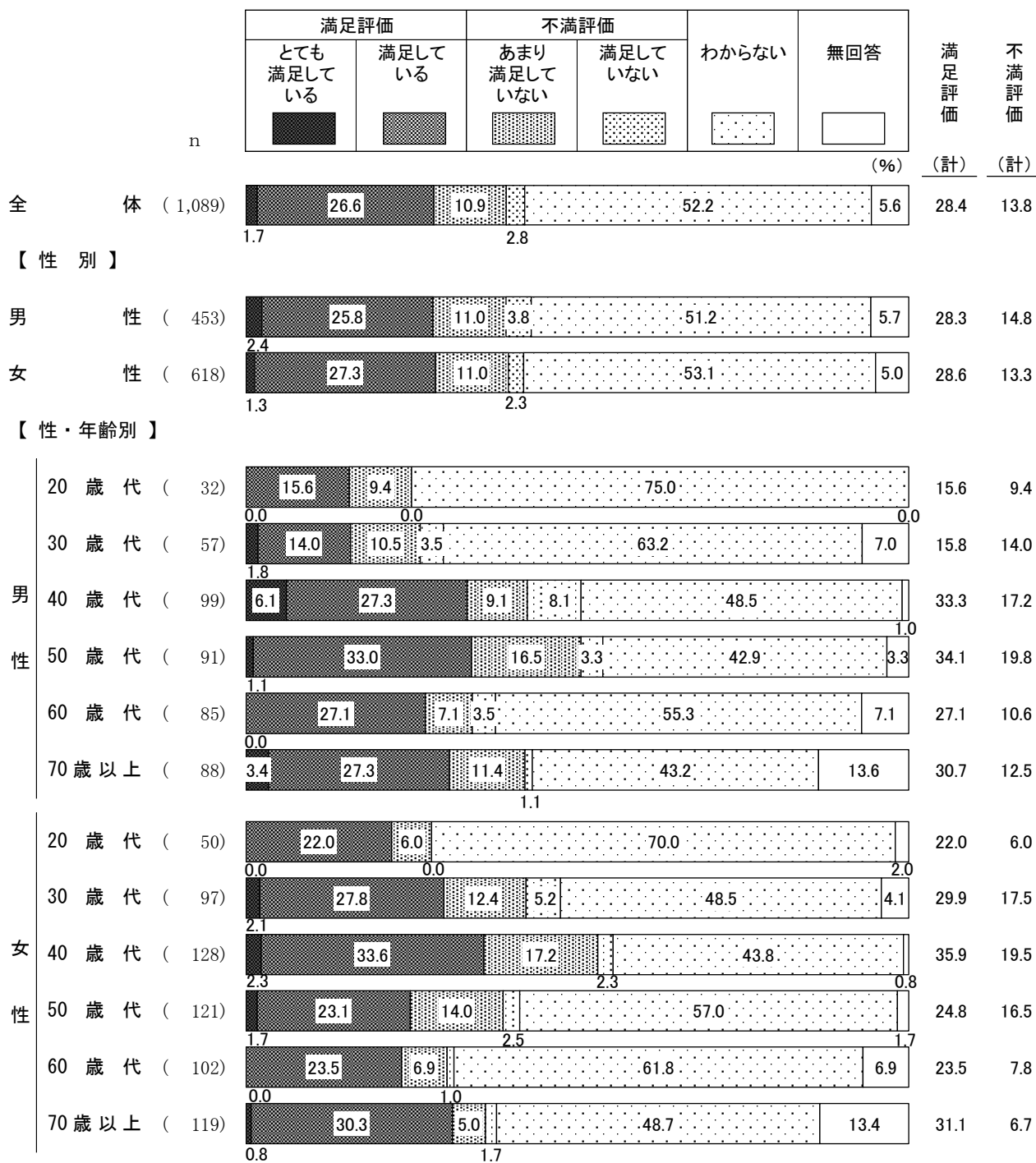
- ※1 ねりま情報メール： 防災気象情報、安全・安心情報、区政情報(イベントや新規事業など)を、登録者のパソコンや携帯電話、スマートフォンなどに電子メールで配信するサービス
- ※2 ねりま子育てサポートナビ： 生年月日(妊娠中の方は出産予定日)やメールアドレス等を登録した方に、妊娠・子育て応援メールや予防接種スケジュールの組立て・管理等の機能を提供するサービス
- ※3 ねりまちてくてくサブリ： 健康に関するお知らせ機能や血圧・体重・歩数等の記録機能等を通じて、普段の歩数を増やすことを基本とした日々の健康づくりを応援する区オリジナルのスマートフォン用アプリ
- ※4 学びと文化の情報サイト： 区内で開催する文化イベントや学びの講座、文化芸術団体などが投稿したイベント情報などを紹介するサイト

図1-17-1 区の『情報提供サービス』の満足度



区の『情報提供サービス』の満足度を聞いたところ、「とても満足している」(1.7%)と「満足している」(26.6%)を合わせた、『満足評価』(28.4%)が3割近くとなっている。一方、「あまり満足していない」(10.9%)と「満足していない」(2.8%)を合わせた、『不満評価』(13.8%)は1割台前半となっている。(図1-17-1)

図1-17-2 区の『情報提供サービス』の満足度－性別／性・年齢別



性別にみると、男女間で大きな傾向の違いはみられない。

性・年齢別にみると、『満足評価』は男性40歳代・50歳代・70歳以上、女性40歳代・70歳以上で3割台となっている。(図1-17-2)

(18) 区の『オンラインサービス』の満足度

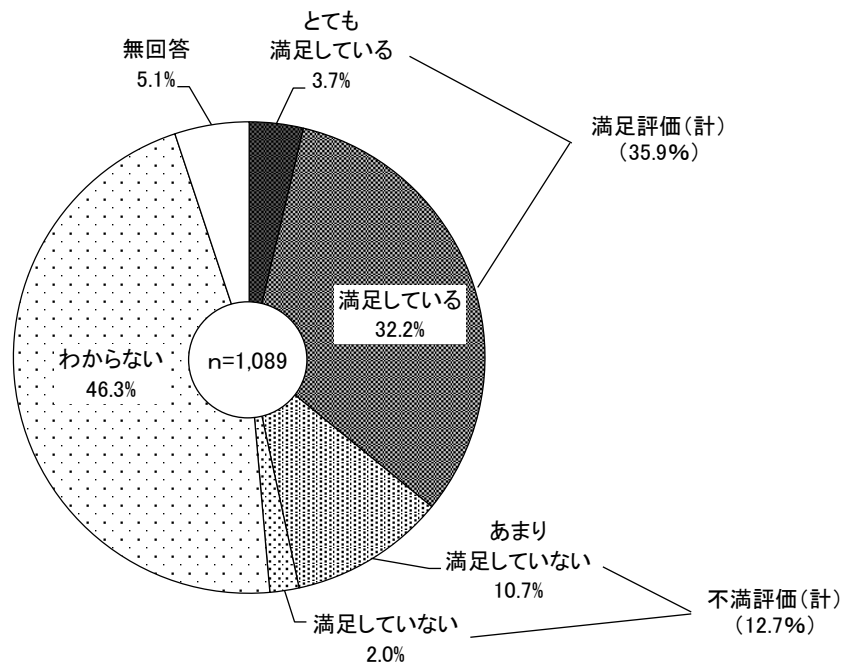
◇『満足評価』が3割台半ば

問21 あなたは、区の『オンラインサービス』にどの程度満足していますか。

【オンラインサービスの例】

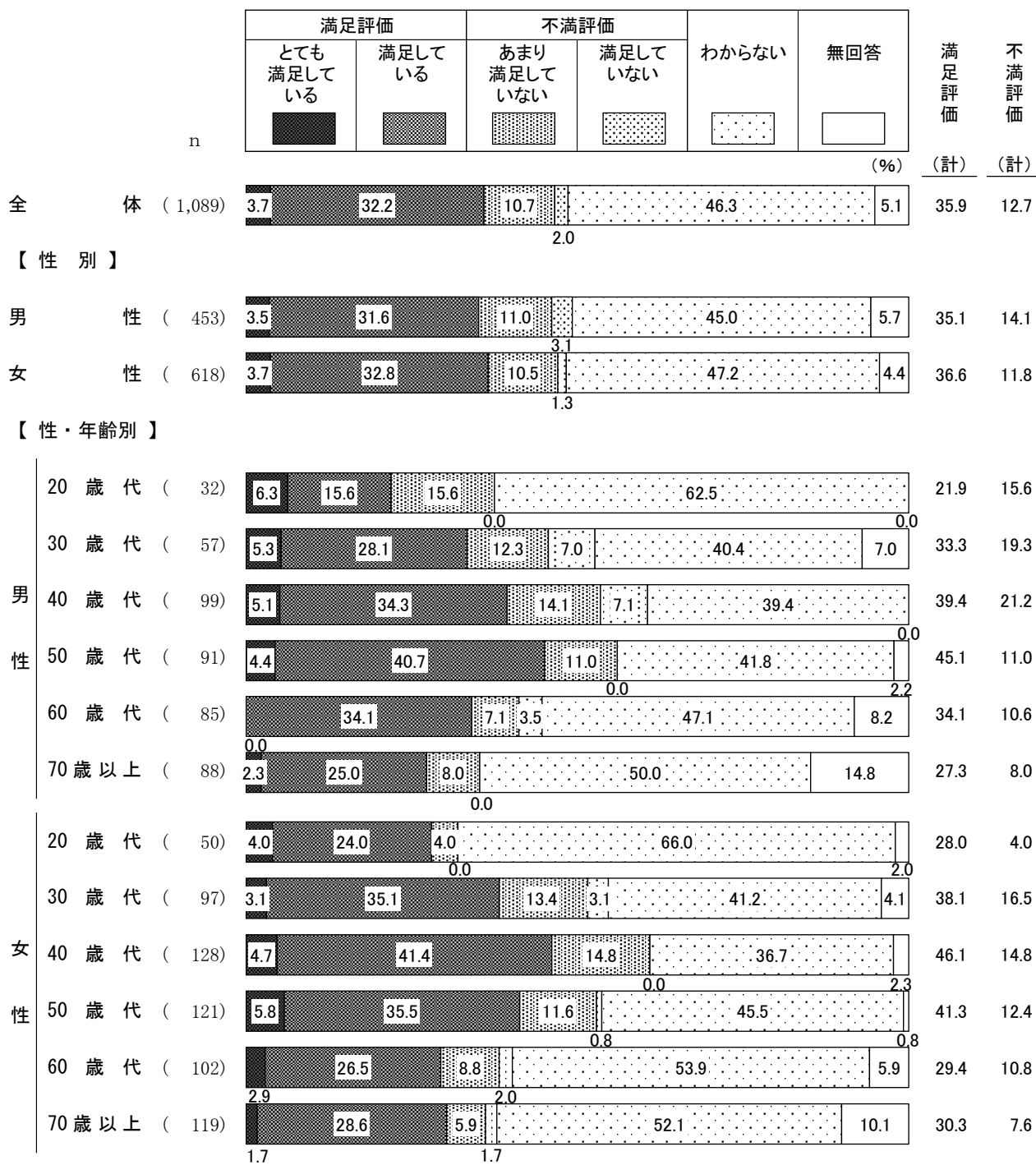
図書館資料検索・予約、粗大ごみの申し込み、公共施設予約システム、地域集会施設予約システム、区民・産業プラザ予約システム、電子決済サービス（クレジットカード、電子マネー、モバイルレジによる税金や保険料の納付等）、証明書のコンビニ交付サービス、電子申請サービス、申請書ダウンロード等

図1-18-1 区の『オンラインサービス』の満足度



区の『オンラインサービス』の満足度を聞いたところ、「とても満足している」（3.7%）と「満足している」（32.2%）を合わせた、『満足評価』（35.9%）が3割台半ばとなっている。一方、「あまり満足していない」（10.7%）と「満足していない」（2.0%）を合わせた、『不満評価』（12.7%）は1割台前半となっている。（図1-18-1）

図1-18-2 区の『オンラインサービス』の満足度－性別／性・年齢別



性別にみると、男女間で大きな傾向の違いはみられない。

性・年齢別にみると、『満足評価』は男性50歳代、女性40歳代で4割台半ばとなっている。

(図1-18-2)